

令和4年度

教職課程

自己点検評価報告書

玉川大学

令和5年4月

## 玉川大学 教職課程認定学部・学科一覧

- ・文学部（国語教育学科、英語教育学科）
- ・農学部（生産農学科）
- ・工学部（情報通信工学科、ソフトウェアサイエンス学科、マネジメントサイエンス学科）
- ・教育学部（教育学科、教育学科通信教育課程、乳幼児発達学科）
- ・芸術学部（音楽学科、アート・デザイン学科）
- ・大学院（文学研究科、農学研究科、工学研究科、教育学研究科、教職大学院）
- ・芸術専攻科

## 大学としての全体評価

玉川大学は「全人教育」を教育理念としています。その教育理念のもと、本学では幼稚園、初等教育、中学校（家庭科を除く）全教科、高等学校全教科の免許取得プログラムを提供しています。本学が教員養成でモットーとしているのが、「子供に慕われ、親たちに敬われ、同僚に愛せられ、校長に信ぜられよ」です。時代が求める教育の在り方は社会の移り変わりと共に変わりますが、理想の教師像は変わりません。

本学教育学部をはじめ、文学部、農学部、工学部そして芸術学部から優れた教員を数多く輩出し、教育委員会や学校長・園長など教育界のリーダーとして幅広く活躍しています。本学の「全人教育」による豊かな人間性を備えた教員は、これまでも高い評価を受けていますが、さらなる“質の高い教員養成”を目指して、平成24年（2012年）に「教師教育リサーチセンター」を開設しました。これにより教職課程の全学体制による組織運営が可能となり、教員養成における単位の実質化に取り組み、さらに四年間を通じた教職課程指導・支援体制を整え、より質の高い教員養成の取り組みに挑戦しています。

これまでの教育活動においては、全学で毎年度点検調査により一年間の振り返りを行い、課題を抽出し、教員養成を含めた各学部、各部署における教育活動の改善に努めてきました。平成26年（2014年）には東京学芸大学教員養成評価開発研究プロジェクトによる、工学部の「教員養成教育認定評価」の審査を受信し認定をいただきました。また、平成30年（2018年）には大学基準協会の大学認証評価において教職課程を含めて受信し認定を受けております。

この度、教育職員免許法施行規則改正により、令和4年4月より教職課程の自己点検・評価が義務化されました。自己点検・評価の観点が明示されたのを受け、一般社団法人 全国私立大学教職課程協会が「『教職課程自己点検評価報告書』作成の手引き」を作成しましたので、本学はこれに沿って、教職課程の自己点検・評価を行うこととしました。教職課程自己点検・評価については、教職課程運営に関する全学的組織である「教師教育リサーチセンター」を中心に、教職課程委員会委員、関係教職員の協力の下、報告書を作成し全学に周知し、広く公開する予定です。

2020年来のコロナ禍、人口減、昨今の生成AIの出現といったことから社会状況が大きく変化しました。それに伴うように、子供たちが学ぶ内容や学び方も変化し、教え方

にも変化が必要となってきました。ある意味で学校教育や教員養成は大きな変革の時代を迎えていると言えましょう。それらの変化を踏まえた教員養成が行えているのか、今後どのような取り組みを行っていくのか、時代の変化に合わせた学びのスタイルも考えながら、教員養成全体の課題を踏まえ、本学の課題を抽出し、その改善策を検討するために本報告書を作成しました。

教職課程の質の向上を図るためには、大学が自らの責任で教職課程の活動について点検・評価し、その結果をもとに改革・改善に努める内部質保証体制が必要です。今年度の教職課程自己点検・評価がさらなる質の高い教員養成に繋がることを期待しています。

令和5年4月  
玉川大学 学長 小原 芳明

令和4年度

教職課程

自己点検評価報告書

令和5年4月

玉川大学教師教育リサーチセンター

## 目次

I	教職課程の現況及び特色	1
II	基準領域ごとの教職課程自己点検評価	4
	基準領域1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な 取り組み	4
	基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援	9
	基準領域3 適切な教職課程カリキュラム	13
III	総合評価	17
IV	「教職課程自己点検評価報告書」作成プロセス	17
V	現況基礎データ一覧	18

## I 教職課程の現況及び特色

### 1 現況

- (1) 大学名：玉川大学
- (2) 所在地：東京都町田市玉川学園 6-1-1
- (3) 学生数及び教員数

(令和4年5月1日現在)

学生数： 大学全体 8,877 名（通学課程 6,727 名、通信教育課程 2,150 名）

教職課程受講学生：3,650 名（通学課程 2,183 名、通信教育課程 1,467 名）

教員数： 1,018 名（専任・嘱託・非常勤を含む）

### 2 特色

本学は「全人教育」を教育理念として掲げ、「真・善・美・聖・健・富」の6つの価値の調和を追求し、単に知識や技術を修得するのではなく、絶えず新しい知識を主体的に求める姿勢、もてる知識を正しく使う倫理観を育み、健やかな社会人となるべく教育活動を展開し、バランスの良い人間形成を行っている。また、本学で得られる学びは多岐にわたっており、それぞれの専門性を深めることができるだけでなく、専門とは異なる分野についても学部を横断した学際的な学びが実現できる柔軟なシステムが採られ、本学の特徴の一つになっている。この恵まれた学習環境のもと、一人の「人」としてしっかりと自立し、かつ自律できる社会人を育成していくことに努めている。

教員養成は、5学部9学科（通信教育課程を含む）、1専攻科、大学院4研究科において行われており、これまでに6,000名以上（通信教育課程を除く）の教員を輩出してきた。全国の教育現場や各自治体の教育行政の現場で、学校長・園長、指導主事等々の役職を担い、教育界のリーダーとして幅広く活躍している。本学の「全人教育」による豊かな人間性を備えた教員は、これまでも高い評価を受けているが、2012年にはさらなる「質の高い教員養成」を目指して、「教師教育リサーチセンター」を開設し、学生を対象とした教員養成にとどまらず、教員を対象とした研究支援にも力を注いでい

る。

教員養成における特徴として、次の3点があげられる。一つは、教員養成における単位の実質化への取り組みとして、本学で定める半期履修上限16単位（CAP制度）の中で全学の教職課程カリキュラムを実施していること。次に、4年間を通して、各段階ごとに目標を定め、教職課程受講者への指導・支援を計画し、教員養成が行われていること。更には、教員養成の質向上に向けた全学体制による組織運営（教師教育リサーチセンターによる全学学生支援と研究活動の推進）がなされていることである。

### 3 本学で取得できる教員免許状

2022年度入学生（学部）

学部	学科	教員免許状の種類
文学部	国語教育学科	中学校教諭一種免許状（国語） 高等学校教諭一種免許状（国語）
	英語教育学科	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）
農学部	生産農学科	中学校教諭一種免許状（理科） 高等学校教諭一種免許状（理科・農業）
工学部	情報通信工学科	中学校教諭一種免許状（数学） 高等学校教諭一種免許状（数学・工業）
	ソフトウェアサイエンス学科	中学校教諭一種免許状（数学） 高等学校教諭一種免許状（数学・情報）
	マネジメントサイエンス学科	中学校教諭一種免許状（数学） 高等学校教諭一種免許状（数学）
教育学部	教育学科	幼稚園一種免許状 小学校一種免許状 中学校教諭一種免許状（社会・保健体育） 高等学校教諭一種免許状（公民・地理歴史・保健体育）
	教育学科 通信教育課程	幼稚園一種免許状 小学校一種免許状 中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（公民・地理歴史）
	乳幼児発達学科	幼稚園一種免許状 （保育士）
芸術学部	芸術教育学科	中学校教諭一種免許状（音楽・美術） 高等学校教諭一種免許状（音楽・美術・工芸）

※ダブル免許プログラム：文学部・農学部・工学部・芸術学部では、中学校・高等学校教諭一種免許状に加え、小学校教諭二種免許取得が可能。教育学部教育学科では、小学校教諭一種免許状に加え、中学校教諭二種免許状（国語・英語・理科・数学）、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得が可能。

2022 年度入学生（大学院・研究科）

研究科	専攻	教員免許状の種類
文学研究科	人間学専攻	中学校教諭専修免許状（社会） 高等学校教諭専修免許状（公民）
	英語教育専攻	中学校教諭専修免許状（英語） 高等学校教諭専修免許状（英語）
農学研究科	資源生物学専攻	中学校教諭専修免許状（理科） 高等学校教諭専修免許状（理科・農業）
工学研究科	機械工学専攻	高等学校教諭専修免許状（工業）
	電子情報工学専攻	中学校教諭専修免許状（数学） 高等学校教諭専修免許状（数学・工業）
教育学研究科	教育学専攻	幼稚園専修免許状 小学校専修免許状
	教職専攻 【教職大学院】	小学校専修免許状 中学校教諭専修免許状 （国語、社会、数学、理科、音楽、美術、 保健体育、保健、技術、家庭、英語） 高等学校教諭専修免許状 （国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、 美術、工芸、保健体育、保健、家庭、情報、 農業、工業、英語）
芸術専攻科	芸術専攻	中学校教諭専修免許状（音楽・美術） 高等学校教諭専修免許状（音楽・美術）

#### 4 教師教育リサーチセンターの組織について

組織名	教師教育リサーチセンター
目的	教職に関する専門的研究（以下「本研究」という。）を行い、国内外の諸研究・教育機関等と連携を密にし、玉川大学における教員養成等の充実を図ることを目的とする。さらに研究活動の成果を生かして、玉川大学に共通する教育職員免許状・資格の取得支援、教職に係る就職支援を推進す

	ることを目的とする。
責任者	教師教育リサーチセンター長（専任職員）
構成員	センター長、次長 各 1 名、 リサーチフェロー（兼任教員）1 名 専任教員 1 名、 専任事務職員 14 名、派遣職員 3 名、パートタイマー 6 名 客員教授（週 3 日出校）32 名、客員教授（出校なし）5 名、 研究員（出校なし）1 名
運営等	本研究・支援の目的を達成するために、教員研修室及び教職課程支援室を置き、次の事業を行う。 (1) 教職の専門的・総合的研究に関する事項 (2) 教職のFD・SD研修に関する事項 (3) 教職課程（教育実習、保育実習、介護等体験、ボランティア等）に関する事項 (4) 教育職員免許状・保育士等の資格取得に関する事項 (5) 教員免許の許認可（大学院を含む。）に関する事項 (6) 教員・保育士希望者の就職支援及びキャリアデザイン支援に関する事項 (7) 教職課程委員会に関する事項 (8) 教員免許状更新講習に関する事項 (9) その他本センターに関する事項

- ・資料①：玉川大学 HP：[玉川大学トップ 玉川学園の総合大学 公式サイト\(tamagawa.jp\)](http://tamagawa.jp)
- ・資料②：学校法人玉川学園組織機構図（令和 4 年 4 月 1 日施行）
- ・資料③：玉川大学教師教育リサーチセンター規程
- ・資料④：令和 4 年度在籍者数（05.01 現在）
- ・資料⑤：令和 4 年度教職課程受講者数（通学課程）

## II 基準領域ごとの教職課程自己点検評価

### 基準領域1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み

#### 基準項目1-1 教職課程教育の目的・目標を共有

##### 〔現状説明〕

本学の教員養成の目標は、創立者・小原國芳の精神を継承した教師像を追求することである。その精神は「玉川教師訓」として現在も継承され、「子供に慕われ、親たちに敬われ、同僚に愛せられ、校長に信ぜられよ」を実践できる教師の育成が、全学の教員養成の目標として掲げられている。

この教員養成の目標は、全学の教員養成の支援組織である教師教育リサーチセンターの入口にも掲示されており、学生、教職員が常に目にしている。また、『教育実習日誌』の表紙裏をはじめ、教職員の参加する教職関連の会議体や、学生の出席するガイダンス、講座等の資料にも多く掲載され、教職員・学生に周知されている。

さらに、各学部学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーにも教員養成に関する目的・目標が明確に示されている。

##### 〔長所・特色〕

- ・本学が目指す教師像による目標の明確化

本学の教員養成の目的・目標である「教師像」を「玉川教師訓」として示し、「玉川教師訓」を実践できる教員を養成している。さらに具体的な力量を次のように示している。

1. 確かな学力と健やかな体を育てる「学習指導力」
2. 豊かな心を育て自己実現を図る「幼児・児童・生徒指導力」
3. とともに高めあうクラスをつくる「学級経営力」
4. 新たな学校づくりを推進する「協働力」

##### 〔取り組み上の課題〕

目的・目標について、様々な会議や、学生への提供資料の中に掲載しているが周知の状況を確認したことはない。特にこの数年は新型コロナウイルス感染症による登校制限に

より、教師教育リサーチセンターの施設を利用する機会が減少し、入口に掲げられた「玉川教師訓」を目にする機会も大幅に減少した。教職課程ガイダンスの時間的制約もあり、目指す「教師像」について詳細な内容まで踏み込むことができない状況にある。この課題についての今後の方向性として、教職員、教職課程履修学生ともに確実な共有・理解を図るため、常に持つことができる本学における教員養成の目的・目標を詳細に示した教職課程ハンドブックのようなものを作成し、関係者全員に配布することも検討したい。

#### <根拠となる資料・データ等>

- ・資料1-1-1：2022履修ガイド [玉川大学 2022 履修ガイド \(tamagawa.ac.jp\)](https://tamagawa.ac.jp)
- ・資料1-1-2：2022 教職課程受講ガイド [玉川大学 2022 教職課程受講ガイド \(tamagawa.ac.jp\)](https://tamagawa.ac.jp)
- ・資料1-1-3：2022年度教師教育リサーチセンター
- ・資料1-1-4：教育実習日誌（表紙裏）
- ・資料1-1-5：令和4年度教職課程受講ガイダンス資料
- ・資料1-1-6：教員養成の現状と課題、今後の方策

## 基準項目1-2 教職課程に関する組織的工夫

### 〔現状説明〕

本学では、平成18年（2006年）4月、教職に関する総合センターとして「教職センター」を設置したが、さらなる“質の高い教員養成”と“教師教育学の研究活動推進”のために改組し、平成24年（2012年）4月に「教師教育リサーチセンター」（資料1-1-2）を新設した。

教師教育リサーチセンターは教職課程履修学生のサポートをする教職課程支援室と教師教育にかかわる研究活動を支援する教員研修室から成る。教師教育リサーチセンターでは、これまでの教職課程支援事務並びに学修支援、キャリア支援のみならず、教師教育（教員養成・採用・研修）に関する研究・調査を行う研究機関的要素、さらには教育委員会、小・中・高等学校、幼稚園、保育所との連携を推進する機能を持つ全学の教員養成を包括するセンターとして位置づけられている。

全学組織として、高等教育附置機関として位置づけられており、教員、事務職員をもって構成することとなっている（組織規程第6条参照）。したがって、事務的支援に留まらず、本学の教員養成に必要な教員を採用し、学生指導・支援、研究活動を行うことが可能となっている。

### 〔長所・特色〕

- ・教師教育リサーチセンターが各学部学科と連携を図り、各学部学科の特性を生かしながら、大学の目標・目的との精査も行いながら、学部間を横断した全学体制での学生支援を実現している（資料1-2-1）。また、教師教育リサーチセンターに教職に関する窓口を一本化することで、教員養成に関する事項を掌握し、課題の抽出とその改善を迅速に行うことが可能である。教職課程教育に関しては教師教育リサーチセンター、教職課程以外の学士課程教育に関しては教学部と明確に業務を区分することによって、学生情報、学校現場からの連絡事項、教員からの情報も集約されており、教職課程を有する全学部学科に統一的に対応できることは大きな特徴といえる。
- ・教職サポートルームの機能（組織と環境）（資料1-1-3）

教師教育リサーチセンターでは、教員を目指す学生のキャリア形成支援、教職指導の一翼を担うため、小学校・中学校・高等学校の校長、幼稚園長・保育所長、教育行政経験者を教職サポートルーム客員教員として採用し、学生の相談・支援にあたっている。教職サポートルーム教員は教師教育リサーチセンターや各学科の教職担当教員と連携・調整しながら、学生相談、教育実習に関する指導、教員採用試験候補者選考試験対策の企画・講師等を担当している。また、教科書・指導書、教職に関する最新の参考資料等を取りそろえ、自由に閲覧しながら、自学自修ができる自主学修スペースや、模擬授業や共同討議などができる教室も備え、更には電子黒板、デジタル教科書などの ICT 関連の教材、教具も備え、教職サポートルーム教員の指導を受けながら、実践的指導力を身につけられる環境を整えている。

- ・教職課程委員会における教員養成に関する審議と情報の共有（資料1-2-2）

教師教育リサーチセンター長が委員長となり、事務局は教師教育リサーチセンターが担っている。教職課程を置く学科では、必ず教職担当教員が任命され教職課程委員会委員となっている。委員会は月1回実施し、教職に関連する諸々の事項について検討・審議し全学での決定事項としている。さらに教職課程に関連する情報の共有が図られている。また、審議内容や報告事項によっては、それぞれの学科の会議、学部の教授会等、また全学の教務委員会にも情報を提供し、教職課程に関する情報の共有を図っている。教師教育リサーチセンターの担う業務のほとんどは、教職課程委員会にて審議・報告がなされており、研究活動や教員免許状更新講習等の状況についても情報共有がなされている。

- ・教育研究活動等点検調査委員会と教員養成部会（教職課程員会の事項を報告をする会の名称）の機能（資料1-2-3）

大学全体では各学部・学科において年度ごとの自己点検・評価を行い、教育研究活動等点検調査委員会に提出している。教員養成に関する事項も例外ではなく、教職課程委員会での審議内容を中心とした自己点検・評価を行い、年度の振り返りとともに、課題の抽出も行っている。この内容は、教育研究活動等点検調査委員会において教員養成部

会より全学に報告されている。

・教職課程FD・SD研修会の実施（資料1-2-4）

全学で行うFD・SD研修会に加え、教職課程運営に必要な情報、最新の教育事情や情報に関する内容について、有識者による講演を教師教育リサーチセンターが主催し、年に1回実施している。その内容は、全学的なFD委員会の報告書としてまとめられ、教職員に配布している。出席者は、教職担当教員、教職に関する事項を取り扱う部署の職員のみならず、学部長、教務主任の出席も義務付けている。また、教師教育リサーチセンターでは、年に1回公開研修会の「教師教育フォーラム」も実施しており、これも教職課程FD・SD研修の一環として位置づけられている。

〔取り組み上の課題〕

近年、文部科学省からの答申や通知が多く、提供すべき情報が多くなっている。その内容も多岐にわたり、情報を集約している教師教育リサーチセンターでも、すべてを理解し把握できているのか疑問でもある。そのような状況の中で、関係する教職員にも、教職課程委員会や教職課程FD・SD研修会等を通じて情報の共有を行っているものの、すべての教職員に深く理解してもらうためには、通常の研修とは別に勉強会を開催する等も考えたいが、教育・研究に多くの時間が必要な教員については、より効果的に行うことができる対策の検討が必要であると考えている。

また、ここ数年は新型コロナウイルス感染症対策として、研修会やフォーラムは主にオンラインで実施することとなった。このことは、遠方の方々に受講の機会を提供し、多くの参加があったが、一方でワークショップ形式での研修や今後、対面での受講とオンラインでの受講が混在した時の効果的な研修の仕組みなども構築する必要がある。対面とオンラインそれぞれの利点を活かした研修方法については今後の課題である。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料1-2-1：玉川大学における教員養成への取り組み
- ・資料1-2-2：玉川大学教授会等運営規程（教職課程委員会部分抜粋）

- ・資料1-2-3：2022年度教育研究活動等点検調査委員会 自己点検・評価結果・改善計画 報告書
- ・資料1-2-4：2022年度教育研究活動等点検調査委員会 分科会部会開催状況
- ・資料1-2-5：令和3年度ファカルティ・ディベロップメント活動報告書（抜粋）
- ・資料1-2-6：2022年度教師教育フォーラムチラシ

## 基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援

### 基準項目2-1 教職を担うべき適切な学生の確保・育成

#### 〔現状説明〕

本学では、オープンキャンパスや入試説明会において、教員志望の入学希望者とその保護者等に対して、教師教育リサーチセンターが本学の教員養成の取り組みや実績等について説明する機会を設けている。配布資料の中にも、「先生になろう！スタートブック」（入試広報部作成：資料2-1-1）があり、教職に興味、関心のある入学希望者に本学の教職課程への取り組みを紹介し、教員志望者の確保につとめている。また、教職を目指す学生に対して、教職課程に特化した入試制度もある。

教職課程受講希望者については、1年生の春学期にガイダンスを実施し、登録をしたうえで教職課程履修が開始される（資料1-1-5）。毎年650名～700名が希望し、最終的に教員免許状を取得する学生は、500名～550名程となる。教職課程受講については、最初のガイダンスへの出席以外は特別な条件は設けておらず、人数の制限もしていないが、受講を継続するための条件を学部学科ごとに定め、その内容を『教職課程受講ガイド』に記載している。受講継続条件には、累積GPAのクリアする基準が示されており、各学部学科の特性により多少の違いはあるが、修得済みである科目や、取得しておく資格や検定が明確に示されている。それらの条件について、各学部学科の会議により一人一人の学生について特定の期末や年度末に確認が行われ、教職課程の受講継続について厳密に可否判定が行われる。

#### 〔長所・特色〕

- ・教職課程受講希望者の入試制度（資料2-1-2）

東京・千葉・埼玉・神奈川（1都3県）の高等学校または中等教育学校を卒業見込みで、教員を目指す受験生を対象にした『首都圏教員養成総合型入学審査』と先の1都3県以外の高等学校または中等教育学校を卒業見込みで、教員を目指す受験生を対象にした『地域創生推薦入学試験（公募型教員養成推薦）』の2つの教員志望者に特化した選抜制度がある。また、教育学部教育学科はもとより、文学部の国語教育学科、英語教

育学科といった学科名称は、教員志望の受験生にとってもわかりやすい学部学科組織になっている。農学部、工学部には、それぞれ、理科教員養成プログラム、数学教員養成プログラムを設置し、教員志望者はこの区分で受験をすることになっている。ただし、このプログラムで入学しなかった場合でも、申し出により教職課程を受講することも可能である。

・ 4年間を通した教職課程指導・支援体制（資料1-2-1）

教職課程を受講するほとんどの学生が、高等学校での進路決定時に「教師になりたい」と強い意志を持って大学を選択している。そのため、教職に就きたいという大学入学時のモチベーションを持続させるためには、1年生からの教職課程支援が必要不可欠であり、そこから大学4年間を通した教職課程受講支援プログラム（資料1-1-3）が重要であるにとらえ、一貫した学生指導・支援を行っている。各学年の目標は、1年生：教職の意義と基礎理論を学ぶ、2年生：指導法の基礎を学ぶ、3年生：教科・教職の専門性と実践力を養う、4年生：実践と応用、総まとめ、としており、それぞれの学年の目標に応じたプログラムとなっている。

〔取り組み上の課題〕

教職課程履修学生の25%程度の教員免許の取得のみを希望する学生に対する指導については、常に課題としてとらえている。また、現在のところ教職課程における受講人数の制限について、特に検討してはいないが、本学における適正な人数について検討してみたい。

入試制度と教員採用試験名簿登載率の関係についても、今後詳細に分析していきたい。

<根拠となる資料・データ等>

- ・ 資料2-1-1：先生になろう！スタートブック
- ・ 資料2-1-2：玉川大学2023年度 入試ガイド（抜粋）

基準項目2-2 教職へのキャリア支援

### 〔現状説明〕

本学のキャリア支援（資料2-2-1）は、一般企業・公務員についてはキャリアセンターが担い、教員・保育士就職については教師教育リサーチセンターが担っている。学生の中には当初は教員就職を目指していたが、途中から進路変更をする場合もある（またその逆の場合もある）が、その場合には、教師教育リサーチセンターとキャリアセンターが連携を図りながら、学生指導に当たっている。

教員就職支援については、前述の教職課程受講支援プログラムに基づき大学のカリキュラムとの関連も踏まえながら、各種ガイダンス、学外実習（ボランティア、インターシップ等）、教員採用試験対策等を行っている。

### 〔長所・特色〕

- ・教職課程受講支援プログラム（資料1-1-3、資料1-2-1）

本プログラムは教職課程を受講している学生の、資質と能力の向上に向けたプログラムの要素と、教員就職支援のための講座等の支援プログラムの要素を持っている。キャリア支援における教員採用試験対策では、ガイダンス、教員採用模擬試験、面接・論作文対策等が行われている。指導に当たっては、教職サポートルーム教員が中心となっておこない、学科の教員とも連携している。また、学生指導に際しては、学生の取得見込みの免許種や就職を希望する自治体により、教職サポートルーム教員の専門教科や元勤務していた地域（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、横浜市、川崎市、相模原市）をふまえて、最も適切な指導ができるよう、担当学生の割り振りを行っている。

- ・教師教育リサーチセンター編「論作文&面接対策」（資料2-2-2）

採用試験対策において重要となる、論作文指導や面接指導（含む模擬授業、実技指導、集団討議等）については、長きにわたり教職サポートルーム教員が工夫しながら対応してきた。その集大成として、『論作文&面接対策（時事通信出版局 ISBN978-4-7887-1848-7）』、初版は2018年度版、現在は2024年度版出版済み）を出版した。当テキストは最新の教育事情とデータを差し替え、教員採用試験の出題傾向を調査して

毎年内容を精査して改訂を行い、学生指導の際のテキストとして使用している。教職課程受講者2年生全員に配布し、3年時には、最新のものを再配布している。

・大学院への進学

進路の一つとして、大学院への進学も考えられる。本学には、教育学研究科、教職大学院、文・農・工学研究科があり、各研究科で専修免許の取得も可能となっている。教育学研究科には、「教師教育学コース」もあり、教員養成を行う課程を担当できる大学教員の養成も行っている。

〔取り組み上の課題〕

学生指導に当たって、意欲や適性を欠く学生への指導は大きな課題といえる。特に、指導の内容が進路変更を伴う場合、その指導の方法や事後支援については最重要課題といえる。

教職課程受講支援プログラムにおけるキャリア支援については、学部生を中心に組み立てられているため、通信教育課程の学生および大学院生への教員採用試験対策は、時期、回数等が限定されたものとなっており、全学体制での教職へのキャリア支援上の課題としてとらえている。このことについては、教職課程受講支援プログラム見直しの際の課題としており、通学課程、通信教育課程、大学院を含めたプログラムの検討を行うこととしている。

また、大学院への進学者は多くないが、高い専門性を備えた教員の養成を考えると、大学院進学を含めたキャリア支援を検討する必要がある。

さらに、卒業生との連携も一部限られたものとなっており、課題としてとらえている。教員採用試験に不合格であった卒業生の就職支援や、教員として働く卒業生の組織を構築することも必要ととらえている。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料2-2-1：令和3年度就職状況のまとめ（抜粋）
- ・資料2-2-2：教師教育リサーチセンター編「論作文&面接対策」（表紙）

### 基準領域3 適切な教職課程カリキュラム

#### 基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施

##### 〔現状説明〕

本学では全学的に2013（平成25）年度入学生より、半期に履修できる単位数を16単位に制限している。教職課程の全科目もその例外ではない。こうしたことから教職の科目も全てその学部・学科の卒業単位に含まれている。半期に履修できる上限単位を設定することで、予習や復習に充てる時間を確保し、教員養成における単位の実質化に取り組んでいる。

授業内容については、教職課程コアカリキュラムに対応した教職課程カリキュラムを提供し、教員免許取得に必要な科目はすべて、教師教育リサーチセンターがシラバスのチェックを行い、課程認定との整合性を精査し、問題がないか等について確認している。

また、教員免許取得に必要な科目において、やむを得ず担当教員が変更になる場合も、該当教員の研究業績に関して、教師教育リサーチセンターが確認し、相応の業績がないと認められる場合には、担当教員を変更するようにしている。

さらに、学校現場で異なる校種の免許を複数取得していることが求められていることから、本学では、主たる免許状に加えて小学校教諭二種免許状、中学校教諭二種免許状を卒業時に取得できるプログラムを実施している。

##### 〔長所・特色〕

###### ・カリキュラムの特徴（資料1-2-1）

本学のカリキュラムは、教養豊かな幅広い知識を持ち、基礎学力の堅固な基盤と高度な専門能力を持った有為な人材を育成するために、ユニバーシティ・スタンダード科目と学科科目群で構成されている。ユニバーシティ・スタンダード科目は、学士課程教育において基礎、基盤をつくるとともに、より高次の専門教育に移行するための重要な役割を果たしている。教員免許状取得に必要な科目は、この中の教職関連科目群として開設されている。学科科目群は、導入科目群、発展科目群、専攻科目群に区分され、学修進度に合わせて順に履修できるように開設されている。学生にとっては所属する学科の

専門の学修を行い、さらには、教師としての資質能力を身に付けていくために、教職に関する専門の学修を両立して進めている。

・教員養成の質保証に向けた学科の設置と教員養成プログラムの開設（資料②）

教育学部はもとより、それ以外の学部の中に、教員養成を主とした学科を設置した。このことにより、教職科目と教科科目が相互補完されて学修することができる。

文学部国語教育学科

文学部英語教育学科

教員養成プログラムにより、教員に必要な基礎科目の学修や、専門教科に応じた科目の学修に取り組み、教員になるための基盤を創り上げる。

農学部生産農学科 理科教員養成プログラム

工学部情報通信工学科、ソフトウェアサイエンス学科、マネジメントサイエンス学科  
数学教員養成プログラム

・ダブル免許プログラム（資料1-1-2）

教育学部以外の学部・学科でも、それぞれの専門性を生かした各教科の中学校・高等学校教諭一種免許状が取得できるが、通常学期ではない長期休業期間に設けられた特別学期（サマーセッション、ウインターセッション）に科目を開講し、卒業と同時に小学校教諭二種免許状を取得することができるプログラムがある。また、教育学部においては、小学校教諭一種免許状に加え、教育学部では課程認定を受けていない教科の免許状を、別の学科で中学校教諭二種免許状を取得できるプログラムを有している。

このプログラムにより、複数免許状を取得することが可能となり、高度な専門性を有する小学校教員や、隣接し接続する小学校教育を理解する中学校教員の養成も行っている。

・大学院での教職課程の充実

教育学研究科以外の研究科においても、専修免許状が取得できるが、教科における専門性の修得だけでなく、教職の専門性を高める科目として「教育内容・方法学研究」、「教育制度学研究」、「教育実践学研究」の3科目を導入し、専修免許状の質の保

証を図っている。これらの科目は、各研究科での修士の学位の授与条件として、必修科目と位置づけている。

また、教育学研究科においては、「教師教育学研究コース」を設置し、大学・大学院教職課程専任教員、教職大学院専任教員、教師教育学研究者の養成にも取り組んでいる。

#### 〔取り組み上の課題〕

半期履修単位 16 単位（CAP 制）の運用において、もう少し多くの専門科目を学修したいとの希望がある。また、4 年生でも多くの科目を履修することになり、空き時間が少なく学校体験活動など学外での活動が制約されていると感じている学生も存在する。このことを含めて、理論と実践の往還を重視した取り組みについて検討することも課題としており、具体的には「教育実習」等の在り方を見直し、学校体験活動の積極的な活用を次年度に検討することとしている。

ICT を活用した授業方法について、またその指導力の修得と向上について、大学としてどのように取り組んでいくのかは、重要課題と捉えている。授業以外にも ICT 関係の講座を準備したが、その効果を検証することとしたい。

## 基準項目 3-2 実践的指導力の養成と地域との連携

### 〔現状説明〕

実践的指導力を養成するための取り組みの第一歩として、教職課程受講の1年生全員に参観実習を実施している。今までは児童・生徒の視点で学校活動を経験し、教師の仕事を見て、教師になろうと考えてきたが、この参観実習では、教える立場、教師の視点で学校の1日を体験し、学生の教育現場への理解を深め、教職に対する自覚を促し、進路選択の機会を与えることを目的として実施している。さらに、教育ボランティア、教育インターンシップ、3年次の教育実習事前指導、4年次の教育実習に生かしていくことも期待している。

また、本学においては教育実践の質的充実を図り、地域との連携も踏まえて、各地域の教育委員会・校長会と密接な連携のもと、教育実習協議会を実施し、意見交換や情報交換を行っている。本学の学生の状況や、教育現場が求める教師像を軸とした教育実習生への大学と実習校双方の指導の在り方等について協議を行い、情報を共有し、教員養成における学生指導の充実に努めている。

### 〔長所・特色〕

#### ・参観実習の実施（資料3-2-1）

近隣の教育委員会や校長会にお願いし、その管轄下の公立小学校・中学校で受け入れ校を決めていたうえで、1校あたり5名程度の学生が登校時から下校までの終日参観を行う。なお、それに際し、複数回の事前指導とガイダンスを行い、また受入れ校との連絡、確認なども全て学生が行う。時期は10月下旬（教育学部は6月下旬）で、当日は教員1名が引率する。参観実習受け入れ校は、幼稚園・保育園 17園、小学校 31校、中学校 59校（春：16校、秋：43校）にのぼる。参観実習の実際の流れの概略は、

事前指導 ⇒ プロフィール文書作成 ⇒ 参観実習受け入れ校との事前打ち合わせ ⇒ 参観実習当日 ⇒ 報告書の作成 となっている。

#### ・教育実習協議会の実施（資料3-2-2）

横浜市、川崎市、相模原市、町田市において、教育実習を受け入れていただいた学校に、教育実習に関するアンケートを実施している。内容としては、教育実習生に対する大学の指導について、教育実習に臨む学生の態度・姿勢について、大学への要望について確認している。アンケート内容を市ごとにまとめ、その資料を基に、校長会の代表者との協議会を実施している。アンケートの内容のみならず、教育実習生の最近の特徴や、養成大学に臨むこと等について意見交換を行い、必要に応じて翌年の事前指導に反映させるなどの対応を行っている。また、幼稚園や保育所との実習協議会については、実習園、実習保育所を中心に、免許・資格の認定を持つ教育学部を中心に開催している。なお、介護等体験の協議会も受け入れ施設や学校と同様に開催しているが、2022年度はコロナ禍により、現場での介護等体験を代替措置で対応したため、協議会も行わなかった。

#### 〔取り組み上の課題〕

教育実習において、遠方の実習校への訪問指導を割愛する場合がある。そうした地域での教育実習指導を充実させるために、教員経験者の卒業生等に協力を依頼するなど、組織的な対応を検討することが必要となっている。卒業生のみならず、遠方地域においても校長を経験した教育実習の指導に適した方を客員教授として採用し対応することも検討している。

学生には、学校体験活動に積極的に参加するよう、常に指導をしているが、参加する意思はあっても、授業との関係から依頼校の要望とマッチしないケースがみられる。この対応として今後の教育実習の在り方について、実施方法・期間等の見直しを予定している。

#### <根拠となる資料・データ等>

- ・資料3-2-1：私立大学の特色ある教職課程事例集Ⅴ（抜粋）
- ・資料3-2-2：私立大学の特色ある教職課程事例集Ⅲ（抜粋）

### Ⅲ. 総合評価

令和4年度は年度当初に計画した事業については、おおむね予定通りに実行することができた。学生への指導・支援については、教師教育リサーチセンターを中心に各学部・学科の教員と連携を取りながら、また、教育委員会、学校現場との連携の強化も図りながら、より質の高い教員養成に向けて、より多くの教員就職ができるよう対応した。教員採用試験結果において、過去最高の名簿登載率となったことを見ても、学生への指導・支援が適切に行われたと判断できる。

しかしながら、基準領域それぞれに課題はあり、今後も一つ一つの課題に対して、具体的な検討をしながら、より質の高い教員養成に向けて取り組んでいきたいと考えている。また、文部科学省答申、通知等について、本学の教員養成の現状を踏まえながらその内容を精査し、改革・改善できるものから対応していきたいと考えている。

教師教育リサーチセンターの実施する事業については、令和4年度事業報告書（教師教育リサーチセンター）として理事長（学長）の承認を得ている。教職課程運営については、教職課程委員会での審議事項を中心としてまとめ、2022年度自己点検・評価結果・改善計画 報告書および2022年度分科会部会開催状況として教育研究活動等点検調査委員会に提出し理事長（学長）の承認を得ている。本報告書については、上記の内容をもとに教師教育リサーチセンターが点検を行い、報告書として取りまとめたものである。

#### IV 「教職課程自己点検評価報告書」作成プロセス

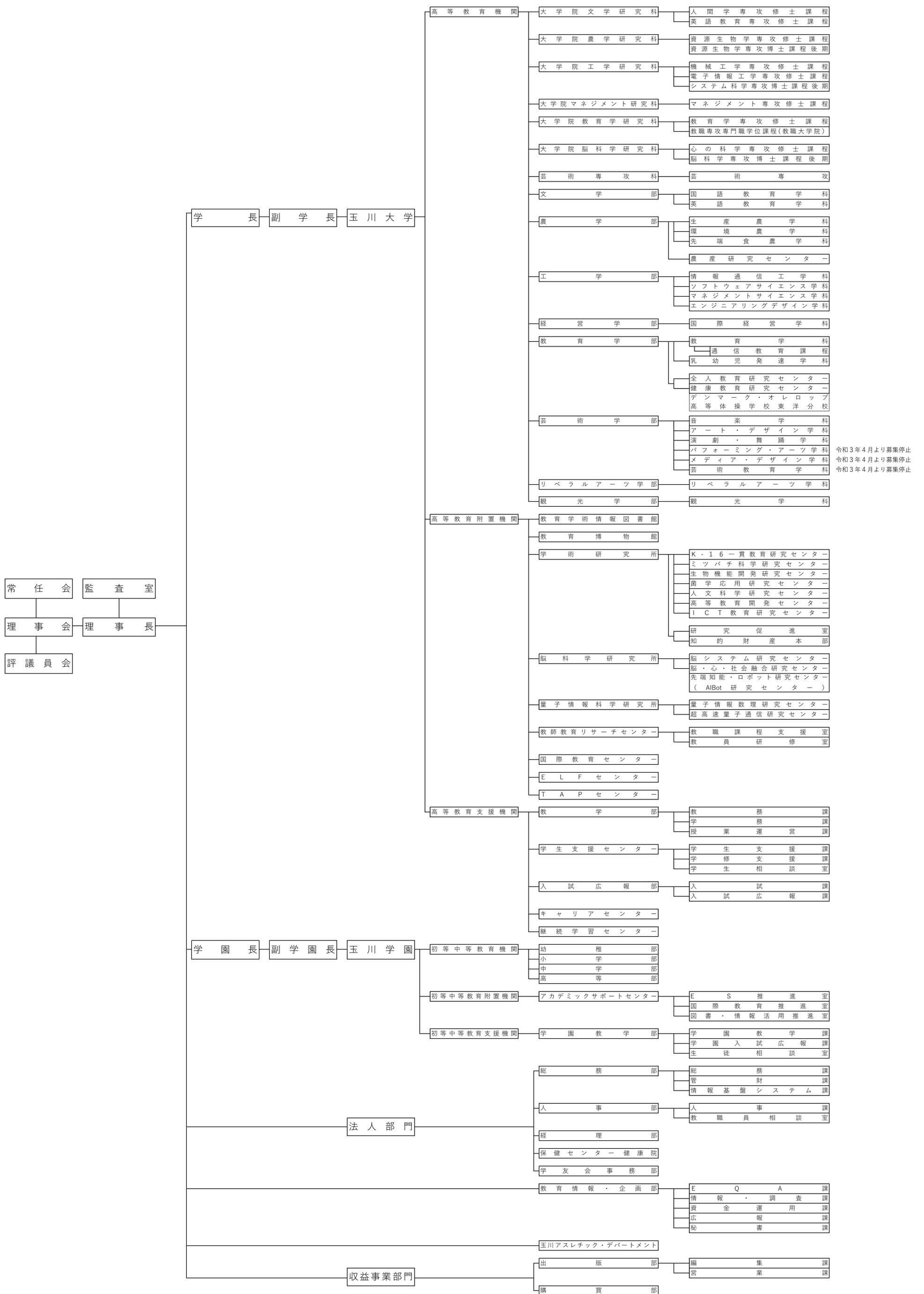
教師教育リサーチセンターの実施する事業については、令和4年度事業報告書（教師教育リサーチセンター）として理事長（学長）の承認を得ている。教職課程運営については、教職課程委員会での審議事項を中心としてまとめ、2022年度自己点検・評価結果・改善計画 報告書および2022年度分科会部会開催状況として教育研究活動等点検調査委員会に提出し理事長（学長）の承認を得ている。本報告書については、上記の内容をもとに、全私教協「教職課程自己点検評価報告書」作成の手引き 令和4年度版（改訂版）に基づき、教師教育リサーチセンターが点検を行い、報告書として取りまとめたものである。

V 現況基礎データ一覧

令和5年5月1日現在

法人名					
学校法人 玉川学園					
大学・学部名					
玉川大学					
学科・コース名（必要な場合）					
1 卒業者数、教員免許取得者数、教員採用者数等（大学通学課程を集計）					
① 昨年度卒業者数					1,657
② ①のうち、就職者数 (企業、公務員等を含む)					1,345
③ ①のうち、教員免許取得者の実数 (複数免許取得者も1と数える)					491
④ ②のうち、教職に就いた者の数 (正規採用+臨時的任用の合計数)					327
⑤ のうち、正規採用者数					240
⑥ のうち、臨時的任用者数					87
2 教員組織（令和5年3月1日現在）					(令和5年3月30日現在)
	教授	准教授	講師	助教	その他（非常勤講師）
教員数	187	77	33	3	827
相談員・支援員など専門職員数			26		

学校法人玉川学園組織機構図（令和4年4月1日施行）



令和3年4月より募集停止  
令和3年4月より募集停止

○玉川大学教師教育リサーチセンター規程

平成18年4月1日制定

改正

平成21年4月1日

平成24年4月1日

平成27年4月1日

玉川大学教師教育リサーチセンター規程

(趣旨)

第1条 玉川大学学則第61条に基づき、玉川大学教師教育リサーチセンター（以下「本センター」という。）の運営について、本規程を定める。

(目的)

第2条 本センターは、教職に関する専門的研究（以下「本研究」という。）を行い、国内外の諸研究・教育機関等と連携を密にし、玉川大学における教員養成等の充実を図ることを目的とする。さらに研究活動の成果を生かして、玉川大学に共通する教育職員免許状・資格の取得支援、教職に係る就職支援を推進することを目的とする。

(事業)

第3条 本センターは、本研究・支援の目的を達成するために、教員研修室及び教職課程支援室を置き、次の事業を行う。

- (1) 教職の専門的・総合的研究に関する事項
- (2) 教職のFD・SD研修に関する事項
- (3) 教職課程（教育実習、保育実習、介護等体験、ボランティア等）に関する事項
- (4) 教育職員免許状・保育士等の資格取得に関する事項
- (5) 教員免許の許認可（大学院を含む。）に関する事項
- (6) 教員・保育士希望者の就職支援及びキャリアデザイン支援に関する事項
- (7) 教職課程委員会に関する事項
- (8) 教員免許状更新講習に関する事項
- (9) その他本センターに関する事項

(重要事項)

第4条 本センターの基本方針、事業計画の改正等に係る重要事項は、大学部長会の議を経て、学長の承認を受けなければならない。

(組織)

第5条 本センターは、次の教職員をもって構成する。

センター長、教授、准教授、助教、講師、研究員、事務職員

- 2 教職員は専任、兼任及び兼任（非常勤）とする。
- 3 本センターは、必要に応じて、国内外の諸研究・教育機関等からの推薦のあった者、本センターが招聘する者等を客員教員として受け入れることができる。

(センター長)

第6条 センター長は、本センターの教育研究活動及び諸事業を統括する。

- 2 本センターは、必要に応じて副センター長を置くことができる。副センター長は、センター長を補佐し、センター長の命を受けた業務を代行する。
- 3 センター長の任期は2か年とし、再任を妨げない。

(研究費)

第7条 本センターの研究費は、本センター予算及び受託研究費等によるものとする。

(委員会)

第8条 本センターに、玉川大学教授会等運営規程第4条に基づき教職課程委員会を置く。

- 2 教職課程委員会に関する事項は、別に定める玉川大学教授会等運営規程による。
- 3 本センターに、教員免許状更新講習委員会を置く。
- 4 教員免許状更新講習委員会に関する事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成21年4月1日）

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成24年4月1日）

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成27年4月1日）

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

## 玉川学園 在籍者数 総括表

令和4年5月1日現在

部署等別 \ 性別	男	女	計
大学院	94	50	144
芸術専攻科 芸術専攻	0	1	1
大 学	3,281	3,446	6,727
大 学 (教育学部教育学科通信教育課程)	679	982	1,661
幼稚部	45	59	104
小学部	363	417	780
中学部	256	283	539
高等部	302	354	656
合 計	5,020	5,592	10,612

科目等履修生	11	14	25
科目等履修生 (通信教育課程)	208	281	489
聴講生	2	0	2
研究生	1	0	1
単位互換履修生	0	0	0

総合計	11,129		
-----	--------	--	--

## 大学院・芸術専攻科 在籍者数

令和4年5月1日現在

学年			1年	2年	3年	4年	合計	令和3年度 修了者数
修士課程・専門職学位課程								
文学 研究科	人間学専攻	男	0	1	-	-	1	0
		女	0	0	-	-	0	0
		計	0	1	-	-	1	0
	英語教育専攻	男	3	0	-	-	3	2
女		1	3	-	-	4	0	
計		4	3	-	-	7	2	
研農 研科学	資源生物学専攻	男	12	8	-	-	20	12
		女	5	5	-	-	10	0
		計	17	13	-	-	30	12
工学 研究科	機械工学専攻	男	1	0	-	-	1	4
		女	1	0	-	-	1	0
		計	2	0	-	-	2	4
	電子情報工学専攻	男	8	11	-	-	19	2
女		1	1	-	-	2	1	
計		9	12	-	-	21	3	
マ ネ ジ メ ン ト 研 究 科	マネジメント専攻	男	3	2	-	-	5	0
		女	2	3	-	-	5	3
		計	5	5	-	-	10	3
研教 研科学	教育学専攻	男	12	3	-	-	15	6
		女	11	8	-	-	19	7
		計	23	11	-	-	34	13
	教職専攻	男	17	3	-	-	20	9
女		6	1	-	-	7	5	
計		23	4	-	-	27	14	
研脳 研科学	心の科学専攻	男	1	0	-	-	1	1
		女	0	0	-	-	0	0
		計	1	0	-	-	1	1
修士課程・専門職学位課程 合計			男 57 女 27 計 84	28 21 49	- - -	- - -	85 48 133	36 16 52
博士課程後期								
研農 研科学	資源生物学専攻	男	3	1	2	-	6	0
		女	0	1	0	-	1	0
		計	3	2	2	-	7	0
研工 研科学	システム科学専攻	男	0	0	1	-	1	1
		女	0	0	0	-	0	0
		計	0	0	1	-	1	1
研脳 研科学	脳科学専攻	男	1	0	1	-	2	0
		女	0	0	1	-	1	0
		計	1	0	2	-	3	0
博士課程後期 合計			男 4 女 0 計 4	1 1 2	4 1 5	- - -	9 2 11	1 0 1
芸術専攻科 芸術専攻			男 0 女 1 計 1	- - -	- - -	- - -	0 1 1	0 1 1

注：修士課程長期履修学生3年・4年コースの学生は2年次を含む。

## 大学 在籍者数 1-1

令和4年5月1日現在

部別		学年		1年	2年	3年	4年	合計	令和3年度 卒業者数
		男	女						
文学部	国語教育学科	男		40 ( 0 )	22	32	42	136	33
		女		43 ( 2 )	32	29	26	130	23
		計		83 ( 2 )	54	61	68	266	56
	英語教育学科	男		45 ( 0 )	26	52	35	158	38
		女		45 ( 1 )	47	35	44	171	41
		計		90 ( 1 )	73	87	79	329	79
	文学部計	男		85 ( 0 )	48	84	77	294	71
		女		88 ( 3 )	79	64	70	301	64
		計		173 ( 3 )	127	148	147	595	135
農学部	生産農学科	男		76 ( 2 )	85	85	120	366	99
		女		34 ( 0 )	44	48	55	181	40
		計		110 ( 2 )	129	133	175	547	139
	環境農学科	男		27 ( 0 )	17	25	52	121	41
		女		15 ( 0 )	11	13	23	62	24
		計		42 ( 0 )	28	38	75	183	65
	先端食農学科	男		55 ( 4 )	41	30	40	166	36
		女		31 ( 4 )	30	40	33	134	35
	計		86 ( 8 )	71	70	73	300	71	
	農学部計	男		158 ( 6 )	143	140	212	653	176
		女		80 ( 4 )	85	101	111	377	99
		計		238 ( 10 )	228	241	323	1,030	275
工学部	情報通信工学科	男		73 ( 0 )	55	57	58	243	45
		女		12 ( 0 )	2	4	8	26	7
		計		85 ( 0 )	57	61	66	269	52
	ソフトウェアサイエンス学科	男		70 ( 1 )	59	55	63	247	46
		女		12 ( 0 )	12	10	15	49	11
		計		82 ( 1 )	71	65	78	296	57
	マネジメントサイエンス学科	男		52 ( 3 )	41	54	51	198	46
		女		25 ( 1 )	11	25	18	79	14
	計		77 ( 4 )	52	79	69	277	60	
エンジニアリングデザイン学科	男		40 ( 1 )	28	33	44	145	37	
	女		12 ( 0 )	5	5	4	26	12	
	計		52 ( 1 )	33	38	48	171	49	
	工学部計	男		235 ( 5 )	183	199	216	833	174
		女		61 ( 1 )	30	44	45	180	44
		計		296 ( 6 )	213	243	261	1,013	218

注 : ( ) 内数値は本学園高等部からの入学者数を示す。

## 大学 在籍者数 1 - 2

令和4年5月1日現在

部別		学年		1年	2年	3年	4年	合計	令和3年度 卒業者数
		男	女						
経営学部	国際経営学科	男		116 ( 5 )	81	86	75	358	71
		女		51 ( 1 )	39	41	49	180	44
		計		167 ( 6 )	120	127	124	538	115
教育学部	教育学科	男		93 ( 3 )	104	114	137	448	140
		女		149 ( 7 )	139	137	148	573	147
		計		242 ( 10 )	243	251	285	1,021	287
	教育学科 通信教育課程 (1-3に記載)								
	乳幼児発達学科	男		1 ( 0 )	1	2	2	6	6
	女		83 ( 6 )	83	79	84	329	79	
	計		84 ( 6 )	84	81	86	335	85	
	教育学部計 (通信教育課程を除く)	男		94 ( 3 )	105	116	139	454	146
		女		232 ( 13 )	222	216	232	902	226
		計		326 ( 16 )	327	332	371	1,356	372
芸術学部	パフォーマンス・アーツ学科	男		- ( - )	-	12	20	32	21
		女		- ( - )	-	88	118	206	93
		計		- ( - )	-	100	138	238	114
	メディア・デザイン学科	男		- ( - )	-	34	40	74	39
		女		- ( - )	-	73	58	131	51
		計		- ( - )	-	107	98	205	90
	芸術教育学科	男		- ( - )	-	14	13	27	8
		女		- ( - )	-	38	27	65	32
		計		- ( - )	-	52	40	92	40
	音楽学科	男		15 ( 0 )	11	-	-	26	-
女			27 ( 0 )	31	-	-	58	-	
	計		42 ( 0 )	42	-	-	84	-	
アート・デザイン学科	男		39 ( 2 )	44	-	-	83	-	
	女		87 ( 8 )	74	-	-	161	-	
	計		126 ( 10 )	118	-	-	244	-	
演劇・舞踊学科	男		20 ( 2 )	14	-	-	34	-	
	女		95 ( 0 )	88	-	-	183	-	
	計		115 ( 2 )	102	-	-	217	-	
	芸術学部計	男		74 ( 4 )	69	60	73	276	68
		女		209 ( 8 )	193	199	203	804	176
		計		283 ( 12 )	262	259	276	1,080	244
アーツ学部	リベラルアーツ学部計	男		90 ( 1 )	63	77	94	324	82
		女		104 ( 3 )	104	78	113	399	97
計			194 ( 4 )	167	155	207	723	179	
観光学部	観光学部計	男		22 ( 1 )	18	16	33	89	21
		女		47 ( 2 )	68	76	112	303	66
		計		69 ( 3 )	86	92	145	392	87
合 計		男		874 ( 25 )	710	778	919	3,281	809
		女		872 ( 35 )	820	819	935	3,446	816
		計		1,746 ( 60 )	1,530	1,597	1,854	6,727	1,625

注 : ( ) 内数値は本学園高等部からの入学者数を示す。

大学 在籍者数 1 - 3

令和4年5月1日現在

部別		在籍種別		正科生	科目等履修生	合計	令和3年度 卒業者数
		男	女				
教育学部	教育学科通信教育課程計	男		679	208	887	13
		女		982	281	1,263	28
		計		1,661	489	2,150	41

## 幼稚部 在籍者数

令和4年5月1日現在

性別 \ 年齢	3歳児	4歳児	5歳児				合計	令和3年度 卒園者数
男子	15	11	19				45	22
女子	15	23	21				59	28
計	30	34	40				104	50

## 小学部 在籍者数

令和4年5月1日現在

性別 \ 学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	令和3年度 卒業生数
男子	65 ( 22 )	62	72	61	65	38	363	50
女子	69 ( 27 )	72	66	73	66	71	417	73
計	134 ( 49 )	134	138	134	131	109	780	123

## 中学部 在籍者数

令和4年5月1日現在

性別 \ 学年	7年	8年	9年				合計	令和3年度 卒業生数
男子	87 ( 44 )	90	79				256	89
女子	109 ( 64 )	99	75				283	104
計	196 ( 108 )	189	154				539	193

## 高等部 在籍者数

令和4年5月1日現在

性別 \ 学年	10年	11年	12年	専攻科			合計	令和3年度 卒業生数
男子	101 ( 77 )	95	106	0			302	97
女子	119 ( 89 )	117	118	0			354	124
計	220 ( 166 )	212	224	0			656	221

注：（ ）内数値は本学園の各学校からの進学者数を示す。

注：初等中等教育機関は、寄附行為第4条に規定する学校表記とする。

注：初等中等教育機関の学年は、中学部は7～9年、高等部は10～12年と表記する。

### 科目等履修生 在籍者数

令和4年5月1日現在

部別			科目等履修生
文学部	国語教育学科	男	1
		女	0
	英語教育学科	男	0
		女	4
教育学部	教育学科	男	5
		女	1
芸術学部	演劇・舞踊学科	男	0
		女	1
教育学研究科	教育学専攻	男	5
		女	8
合 計		男	11
		女	14
		計	25

教育学部	教育学科（通信教育課程）	男	208
		女	281
合 計		計	489

### 聴講生 在籍者数

令和4年5月1日現在

部別		聴講生	
合 計		男	2
		女	0
		計	2

### 研究生 在籍者数

令和4年5月1日現在

部別		研究生	
合 計		男	1
		女	0
		計	1

### 単位互換履修生 在籍者数

令和4年5月1日現在

部別		単位互換履修生	
合 計		男	0
		女	0
		計	0

教職員在籍者数

(所属別)  
令和4年5月1日現在

		教職員					教員					職員				
		合計	専任	嘱託	非常勤	パート	合計	専任	嘱託	非常勤	パート	合計	専任	嘱託	非常勤	パート
玉川大学																
文学研究科	男	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
農学研究科	男	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	計	3	0	0	3	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0
工学研究科	男	4	0	0	4	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
	計	5	0	0	5	0	4	0	0	4	0	1	0	0	1	0
マネジメント研究科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育学研究科	男	5	3	0	2	0	5	3	0	2	0	0	0	0	0	0
	女	4	1	0	3	0	4	1	0	3	0	0	0	0	0	0
	計	9	4	0	5	0	9	4	0	5	0	0	0	0	0	0
教職専攻専門職学位課程 (教職大学院)	男	7	7	0	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	6	3	0	3	0	6	3	0	3	0	0	0	0	0	0
	計	13	10	0	3	0	13	10	0	3	0	0	0	0	0	0
脳科学研究科	男	7	0	0	7	0	7	0	0	7	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	7	0	0	7	0	7	0	0	7	0	0	0	0	0	0
大学院	男	26	10	0	16	0	26	10	0	16	0	0	0	0	0	0
	女	12	4	0	8	0	11	4	0	7	0	1	0	0	1	0
	計	38	14	0	24	0	37	14	0	23	0	1	0	0	1	0
国語教育学科	男	10	6	0	4	0	10	6	0	4	0	0	0	0	0	0
	女	7	4	0	3	0	7	4	0	3	0	0	0	0	0	0
	計	17	10	0	7	0	17	10	0	7	0	0	0	0	0	0
英語教育学科	男	10	8	0	2	0	10	8	0	2	0	0	0	0	0	0
	女	11	4	0	7	0	11	4	0	7	0	0	0	0	0	0
	計	21	12	0	9	0	21	12	0	9	0	0	0	0	0	0
文学部	男	20	14	0	6	0	20	14	0	6	0	0	0	0	0	0
	女	18	8	0	10	0	18	8	0	10	0	0	0	0	0	0
	計	38	22	0	16	0	38	22	0	16	0	0	0	0	0	0
生産農学科	男	38	21	0	17	0	34	18	0	16	0	4	3	0	1	0
	女	13	9	1	3	0	12	9	0	3	0	1	0	1	0	0
	計	51	30	1	20	0	46	27	0	19	0	5	3	1	1	0
環境農学科	男	18	11	0	7	0	15	8	0	7	0	3	3	0	0	0
	女	3	3	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	21	14	0	7	0	18	11	0	7	0	3	3	0	0	0
先端食農学科	男	10	7	0	3	0	10	7	0	3	0	0	0	0	0	0
	女	6	5	1	0	0	5	4	1	0	0	1	1	0	0	0
	計	16	12	1	3	0	15	11	1	3	0	1	1	0	0	0
農学部	男	66	39	0	27	0	59	33	0	26	0	7	6	0	1	0
	女	22	17	2	3	0	20	16	1	3	0	2	1	1	0	0
	計	88	56	2	30	0	79	49	1	29	0	9	7	1	1	0
情報通信工学科	男	22	10	0	12	0	20	10	0	10	0	2	0	0	2	0
	女	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	計	23	10	0	13	0	21	10	0	11	0	2	0	0	2	0
ソフトウェアサイエンス学科	男	14	10	0	4	0	14	10	0	4	0	0	0	0	0	0
	女	13	0	0	13	0	4	0	0	4	0	9	0	0	9	0
	計	27	10	0	17	0	18	10	0	8	0	9	0	0	9	0
マネジメントサイエンス学科	男	18	8	0	10	0	18	8	0	10	0	0	0	0	0	0
	女	3	1	0	2	0	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0
	計	21	9	0	12	0	21	9	0	12	0	0	0	0	0	0
エンジニアリングデザイン学科	男	26	10	2	14	0	22	10	0	12	0	4	0	2	2	0
	女	3	0	0	3	0	1	0	0	1	0	2	0	0	2	0
	計	29	10	2	17	0	23	10	0	13	0	6	0	2	4	0
工学部	男	80	38	2	40	0	74	38	0	36	0	6	0	2	4	0
	女	20	1	0	19	0	9	1	0	8	0	11	0	0	11	0
	計	100	39	2	59	0	83	39	0	44	0	17	0	2	15	0
国際経営学科	男	30	13	0	17	0	30	13	0	17	0	0	0	0	0	0
	女	9	3	0	6	0	9	3	0	6	0	0	0	0	0	0
	計	39	16	0	23	0	39	16	0	23	0	0	0	0	0	0
経営学部	男	30	13	0	17	0	30	13	0	17	0	0	0	0	0	0
	女	9	3	0	6	0	9	3	0	6	0	0	0	0	0	0
	計	39	16	0	23	0	39	16	0	23	0	0	0	0	0	0

教職員在籍者数

(所属別)  
令和4年5月1日現在

		教職員					教員					職員				
		合計	専任	嘱託	非常勤	パート	合計	専任	嘱託	非常勤	パート	合計	専任	嘱託	非常勤	パート
教育学科	男	126	29	0	97	0	125	29	0	96	0	1	0	0	1	0
	女	96	13	0	83	0	94	13	0	81	0	2	0	0	2	0
	計	222	42	0	180	0	219	42	0	177	0	3	0	0	3	0
乳幼児発達学科	男	16	5	0	11	0	15	5	0	10	0	1	0	0	1	0
	女	22	5	0	17	0	21	5	0	16	0	1	0	0	1	0
	計	38	10	0	28	0	36	10	0	26	0	2	0	0	2	0
教育学部	男	142	34	0	108	0	140	34	0	106	0	2	0	0	2	0
	女	118	18	0	100	0	115	18	0	97	0	3	0	0	3	0
	計	260	52	0	208	0	255	52	0	203	0	5	0	0	5	0
音楽学科	男	12	10	0	2	0	12	10	0	2	0	0	0	0	0	0
	女	7	2	0	5	0	6	2	0	4	0	1	0	0	1	0
	計	19	12	0	7	0	18	12	0	6	0	1	0	0	1	0
アート・デザイン学科	男	12	6	1	5	0	11	6	0	5	0	1	0	1	0	0
	女	22	12	0	10	0	20	10	0	10	0	2	2	0	0	0
	計	34	18	1	15	0	31	16	0	15	0	3	2	1	0	0
演劇・舞踊学科	男	14	8	0	6	0	11	7	0	4	0	3	1	0	2	0
	女	10	2	0	8	0	9	2	0	7	0	1	0	0	1	0
	計	24	10	0	14	0	20	9	0	11	0	4	1	0	3	0
パフォーマンス・アーツ学科	男	37	1	0	36	0	35	1	0	34	0	2	0	0	2	0
	女	36	1	0	35	0	30	1	0	29	0	6	0	0	6	0
	計	73	2	0	71	0	65	2	0	63	0	8	0	0	8	0
メディア・デザイン学科	男	17	2	0	15	0	17	2	0	15	0	0	0	0	0	0
	女	14	0	0	14	0	14	0	0	14	0	0	0	0	0	0
	計	31	2	0	29	0	31	2	0	29	0	0	0	0	0	0
芸術教育学科	男	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	女	12	0	0	12	0	12	0	0	12	0	0	0	0	0	0
	計	14	0	0	14	0	14	0	0	14	0	0	0	0	0	0
芸術学部	男	94	27	1	66	0	88	26	0	62	0	6	1	1	4	0
	女	101	17	0	84	0	91	15	0	76	0	10	2	0	8	0
	計	195	44	1	150	0	179	41	0	138	0	16	3	1	12	0
リベラルアーツ学科	男	27	14	0	13	0	27	14	0	13	0	0	0	0	0	0
	女	24	11	0	13	0	22	11	0	11	0	2	0	0	2	0
	計	51	25	0	26	0	49	25	0	24	0	2	0	0	2	0
リベラルアーツ学部	男	27	14	0	13	0	27	14	0	13	0	0	0	0	0	0
	女	24	11	0	13	0	22	11	0	11	0	2	0	0	2	0
	計	51	25	0	26	0	49	25	0	24	0	2	0	0	2	0
観光学科	男	14	12	0	2	0	14	12	0	2	0	0	0	0	0	0
	女	4	2	0	2	0	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0
	計	18	14	0	4	0	18	14	0	4	0	0	0	0	0	0
観光学部	男	14	12	0	2	0	14	12	0	2	0	0	0	0	0	0
	女	4	2	0	2	0	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0
	計	18	14	0	4	0	18	14	0	4	0	0	0	0	0	0
教育学術情報図書館	男	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	3	1	0	0
	女	9	5	1	0	3	0	0	0	0	0	9	5	1	0	3
	計	13	8	2	0	3	0	0	0	0	0	13	8	2	0	3
教育博物館	男	7	6	0	1	0	5	4	0	1	0	2	2	0	0	0
	女	6	3	0	2	1	2	1	0	1	0	4	2	0	1	1
	計	13	9	0	3	1	7	5	0	2	0	6	4	0	1	1
学術研究所	男	31	11	0	20	0	31	11	0	20	0	0	0	0	0	0
	女	7	3	0	4	0	6	3	0	3	0	1	0	0	1	0
	計	38	14	0	24	0	37	14	0	23	0	1	0	0	1	0
研究促進室	男	6	3	2	1	0	0	0	0	0	0	6	3	2	1	0
	女	19	4	7	0	8	0	0	0	0	0	19	4	7	0	8
	計	25	7	9	1	8	0	0	0	0	0	25	7	9	1	8
知的財産本部	男	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3	2	0	1	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3	2	0	1	0
学術研究所	男	40	16	2	22	0	31	11	0	20	0	9	5	2	2	0
	女	26	7	7	4	8	6	3	0	3	0	20	4	7	1	8
	計	66	23	9	26	8	37	14	0	23	0	29	9	9	3	8
脳科学研究所	男	76	11	5	60	0	76	11	5	60	0	0	0	0	0	0
	女	15	1	0	14	0	14	1	0	13	0	1	0	0	1	0
	計	91	12	5	74	0	90	12	5	73	0	1	0	0	1	0
量子情報科学研究所	男	10	5	0	5	0	10	5	0	5	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	10	5	0	5	0	10	5	0	5	0	0	0	0	0	0

教職員在籍者数

(所属別)  
令和4年5月1日現在

		教職員					教員					職員				
		合計	専任	嘱託	非常勤	パート	合計	専任	嘱託	非常勤	パート	合計	専任	嘱託	非常勤	パート
教職課程支援室	男	42	9	0	33	0	34	1	0	33	0	8	8	0	0	0
	女	22	6	0	11	5	11	0	0	11	0	11	6	0	0	5
	計	64	15	0	44	5	45	1	0	44	0	19	14	0	0	5
教員研修室	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	4	2	0	1	1	1	0	0	1	0	3	2	0	0	1
	計	4	2	0	1	1	1	0	0	1	0	3	2	0	0	1
教師教育リサーチセンター	男	42	9	0	33	0	34	1	0	33	0	8	8	0	0	0
	女	26	8	0	12	6	12	0	0	12	0	14	8	0	0	6
	計	68	17	0	45	6	46	1	0	45	0	22	16	0	0	6
国際教育センター	男	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	女	5	3	0	0	2	0	0	0	0	0	5	3	0	0	2
	計	6	4	0	0	2	0	0	0	0	0	6	4	0	0	2
ELFセンター	男	28	6	0	22	0	28	6	0	22	0	0	0	0	0	0
	女	25	10	0	15	0	21	6	0	15	0	4	4	0	0	0
	計	53	16	0	37	0	49	12	0	37	0	4	4	0	0	0
TAPセンター	男	5	3	1	1	0	2	2	0	0	0	3	1	1	1	0
	女	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0	4	3	0	0	1
	計	9	6	1	1	1	2	2	0	0	0	7	4	1	1	1
教務課	男	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0
	女	8	7	0	0	1	0	0	0	0	0	8	7	0	0	1
	計	12	11	0	0	1	0	0	0	0	0	12	11	0	0	1
学務課	男	7	4	0	0	3	0	0	0	0	0	7	4	0	0	3
	女	39	6	1	0	32	0	0	0	0	0	39	6	1	0	32
	計	46	10	1	0	35	0	0	0	0	0	46	10	1	0	35
授業運営課	男	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	11	0	0	0
	女	27	18	0	0	9	0	0	0	0	0	27	18	0	0	9
	計	38	29	0	0	9	0	0	0	0	0	38	29	0	0	9
教学部	男	22	19	0	0	3	0	0	0	0	0	22	19	0	0	3
	女	74	31	1	0	42	0	0	0	0	0	74	31	1	0	42
	計	96	50	1	0	45	0	0	0	0	0	96	50	1	0	45
学生支援課	男	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0
	女	7	4	0	0	3	0	0	0	0	0	7	4	0	0	3
	計	12	9	0	0	3	0	0	0	0	0	12	9	0	0	3
学修支援課	男	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4	3	0	1	0
	女	10	2	0	2	6	0	0	0	0	0	10	2	0	2	6
	計	14	5	0	3	6	0	0	0	0	0	14	5	0	3	6
学生支援センター	男	9	8	0	1	0	0	0	0	0	0	9	8	0	1	0
	女	17	6	0	2	9	0	0	0	0	0	17	6	0	2	9
	計	26	14	0	3	9	0	0	0	0	0	26	14	0	3	9
入試課	男	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	0
	女	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3	2	0	0	1
	計	9	8	0	0	1	0	0	0	0	0	9	8	0	0	1
入試広報課	男	6	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	4	2	0	0
	女	5	3	1	0	1	0	0	0	0	0	5	3	1	0	1
	計	11	7	3	0	1	0	0	0	0	0	11	7	3	0	1
入試広報部	男	12	10	2	0	0	0	0	0	0	0	12	10	2	0	0
	女	8	5	1	0	2	0	0	0	0	0	8	5	1	0	2
	計	20	15	3	0	2	0	0	0	0	0	20	15	3	0	2
キャリアセンター	男	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0
	女	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
	計	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	0	0	0
継続学習センター	男	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
	女	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	3	1	0	0
	計	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	5	1	0	0
玉川大学	男	762	305	14	440	3	664	234	5	425	0	98	71	9	15	3
	女	550	169	13	294	74	354	89	1	264	0	196	80	12	30	74
	計	1312	474	27	734	77	1018	323	6	689	0	294	151	21	45	77

教職員在籍者数

(所属別)  
令和4年5月1日現在

		教職員					教員					職員				
		合計	専任	嘱託	非常勤	パート	合計	専任	嘱託	非常勤	パート	合計	専任	嘱託	非常勤	パート
玉川学園																
幼稚部	男	2	1	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	女	19	3	6	10	0	17	3	4	10	0	2	0	2	0	0
	計	21	4	7	10	0	19	4	5	10	0	2	0	2	0	0
小学部	男	33	22	11	0	0	26	22	4	0	0	7	0	7	0	0
	女	33	14	15	4	0	27	14	9	4	0	6	0	6	0	0
	計	66	36	26	4	0	53	36	13	4	0	13	0	13	0	0
中学部	男	32	25	6	1	0	32	25	6	1	0	0	0	0	0	0
	女	25	10	7	8	0	24	10	6	8	0	1	0	1	0	0
	計	57	35	13	9	0	56	35	12	9	0	1	0	1	0	0
高等部	男	47	34	7	6	0	46	34	6	6	0	1	0	1	0	0
	女	32	14	9	9	0	29	14	8	7	0	3	0	1	2	0
	計	79	48	16	15	0	75	48	14	13	0	4	0	2	2	0
ES推進室	男	4	2	1	1	0	1	0	0	1	0	3	2	1	0	0
	女	5	2	1	1	1	1	0	0	1	0	4	2	1	0	1
	計	9	4	2	2	1	2	0	0	2	0	7	4	2	0	1
国際教育推進室	男	9	1	8	0	0	0	0	0	0	0	9	1	8	0	0
	女	5	2	3	0	0	0	0	0	0	0	5	2	3	0	0
	計	14	3	11	0	0	0	0	0	0	0	14	3	11	0	0
図書・情報活用推進室	男	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0
	女	5	1	0	1	3	1	0	0	1	0	4	1	0	0	3
	計	7	2	1	1	3	1	0	0	1	0	6	2	1	0	3
アカデミックサポートセンター	男	15	4	10	1	0	1	0	1	0	14	4	10	0	0	0
	女	15	5	4	2	4	2	0	0	2	0	13	5	4	0	4
	計	30	9	14	3	4	3	0	0	3	0	27	9	14	0	4
学園教学課	男	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0
	女	30	13	4	4	9	0	0	0	0	30	13	4	4	9	
	計	34	17	4	4	9	0	0	0	0	34	17	4	4	9	
学園入試広報課	男	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
	女	4	3	0	0	1	0	0	0	0	4	3	0	0	1	
	計	6	5	0	0	1	0	0	0	0	6	5	0	0	1	
学園教学部	男	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	0
	女	34	16	4	4	10	0	0	0	0	34	16	4	4	10	
	計	40	22	4	4	10	0	0	0	0	40	22	4	4	10	
玉川学園	男	135	92	35	8	0	107	82	17	8	0	28	10	18	0	0
	女	158	62	45	37	14	99	41	27	31	0	59	21	18	6	14
	計	293	154	80	45	14	206	123	44	39	0	87	31	36	6	14

教職員在籍者数

(所属別)  
令和4年5月1日現在

		教職員					教員					職員				
		合計	専任	嘱託	非常勤	パート	合計	専任	嘱託	非常勤	パート	合計	専任	嘱託	非常勤	パート
法人部門																
総務課	男	14	11	1	2	0	0	0	0	0	0	14	11	1	2	0
	女	7	3	2	1	1	0	0	0	0	0	7	3	2	1	1
	計	21	14	3	3	1	0	0	0	0	0	21	14	3	3	1
管財課	男	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	5	1	0	0
	女	4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	4	1	1	1	1
	計	10	6	2	1	1	0	0	0	0	0	10	6	2	1	1
情報基盤システム課	男	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0
	女	4	2	1	0	1	0	0	0	0	0	4	2	1	0	1
	計	9	7	1	0	1	0	0	0	0	0	9	7	1	0	1
総務部	男	25	21	2	2	0	0	0	0	0	0	25	21	2	2	0
	女	15	6	4	2	3	0	0	0	0	0	15	6	4	2	3
	計	40	27	6	4	3	0	0	0	0	0	40	27	6	4	3
人事課	男	7	5	0	2	0	1	1	0	0	0	6	4	0	2	0
	女	11	9	2	0	0	0	0	0	0	0	11	9	2	0	0
	計	18	14	2	2	0	1	1	0	0	0	17	13	2	2	0
人事部	男	7	5	0	2	0	1	1	0	0	0	6	4	0	2	0
	女	11	9	2	0	0	0	0	0	0	0	11	9	2	0	0
	計	18	14	2	2	0	1	1	0	0	0	17	13	2	2	0
経理部	男	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	5	1	0	0
	女	6	4	0	0	2	0	0	0	0	0	6	4	0	0	2
	計	12	9	1	0	2	0	0	0	0	0	12	9	1	0	2
保健センター 健康院	男	5	1	0	4	0	0	0	0	0	0	5	1	0	4	0
	女	10	2	3	5	0	0	0	0	0	0	10	2	3	5	0
	計	15	3	3	9	0	0	0	0	0	0	15	3	3	9	0
学友会事務部	男	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0
	女	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0	0
	計	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5	3	2	0	0
法人部門	男	45	33	4	8	0	1	1	0	0	0	44	32	4	8	0
	女	45	23	10	7	5	0	0	0	0	0	45	23	10	7	5
	計	90	56	14	15	5	1	1	0	0	0	89	55	14	15	5
監査室																
監査室	男	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
教育情報・企画部																
EQA課	男	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
	女	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0
	計	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	0
情報・調査課	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
	計	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
資金運用課	男	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0
	女	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	計	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1	0
広報課	男	6	4	0	2	0	0	0	0	0	0	6	4	0	2	0
	女	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	3	1	0	0
	計	10	7	1	2	0	0	0	0	0	0	10	7	1	2	0
秘書課	男	6	3	0	3	0	0	0	0	0	0	6	3	0	3	0
	女	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3	2	0	1	0
	計	9	5	0	4	0	0	0	0	0	0	9	5	0	4	0
教育情報・企画部	男	16	10	0	6	0	0	0	0	0	0	16	10	0	6	0
	女	14	11	2	1	0	0	0	0	0	0	14	11	2	1	0
	計	30	21	2	7	0	0	0	0	0	0	30	21	2	7	0
玉川アスレチック・デパートメント																
玉川アスレチック・デパートメント	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3	1	1	0	1
	計	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3	1	1	0	1

教職員在籍者数

(所属別)  
令和4年5月1日現在

		教職員					教員					職員				
		合計	専任	嘱託	非常勤	パート	合計	専任	嘱託	非常勤	パート	合計	専任	嘱託	非常勤	パート
収益事業部門																
編集課	男	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0
営業課	男	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
出版部	男	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	4	1	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	4	1	0	0
購買部	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	計	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
収益事業部門	男	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	4	1	0	0
	女	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	計	6	4	1	0	1	0	0	0	0	0	6	4	1	0	1
総合計																
	男	964	444	55	462	3	772	317	22	433	0	192	127	33	29	3
	女	771	266	71	339	95	453	130	28	295	0	318	136	43	44	95
	計	1735	710	126	801	98	1225	447	50	728	0	510	263	76	73	98

注1:教員は、教授、准教授、助教、講師、助手、研究員、教諭、養護教諭、常勤講師をいう。

注2:職員は、事務職員、技術職員、技術指導員、指導員、実習助手、英語ティーチングスタッフ、

IB担当教員 (IB教諭3名、IB嘱託教諭2名、IB嘱託教員17名除く) 及びBLES担当教員 (BLES教諭1名、BLES嘱託教員3名を除く)をいう。

注3:教職員数に非常勤の理事及び監事は含まない。

注4:出向者は出向元のみでカウントし、出向先の数には含まない。

令和4年度 教職課程受講者数(通学課程)

令和4年5月1日現在

学部名	学科名	人数				計
		1年生	2年生	3年生	4年生	
文学部	英語教育学科	71	57	60	42	230
	国語教育学科	77	46	44	41	208
	計	148	103	104	83	438
農学部	生産農学科	19	32	26	42	119
	計	19	32	26	42	119
工学部	ソフトウェアサイエンス学科	18	8	12	3	41
	マネジメントサイエンス学科	57	26	29	27	139
	情報通信工学科	5	3	3	0	11
	計	80	37	44	30	191
教育学部	教育学科(幼稚園)	7	9	12	10	38
	教育学科(小学校)	142	155	142	168	607
	教育学科(社会・公民・地歴)	50	27	30	19	126
	教育学科(保健体育)	43	50	54	50	197
	乳幼児発達学科	84	83	81	85	333
	計	326	324	319	332	1301
芸術学部	芸術教育学科(音楽)	-	-	31	13	44
	芸術教育学科(美術)	-	-	6	7	13
	音楽学科	27	26	-	-	53
	アート・デザイン学科	14	10	-	-	24
	計	41	36	37	20	134
	合計	614	532	530	507	2183



2022年度

# 教師教育 リサーチセンター

玉川大学  
玉川大学 大学院

文学部	国語教育学科 英語教育学科
農学部	生産農学科 環境農学科 先端食農学科
工学部	情報通信工学科 ソフトウェアサイエンス学科 マネジメントサイエンス学科 エンジニアリングデザイン学科
教育学部	教育学科 教育学科 通信教育課程 乳幼児発達学科
芸術学部	音楽学科 アート・デザイン学科 演劇・舞踊学科
経営学部	国際経営学科
リベラルアーツ学部	リベラルアーツ学科
観光学部	観光学科
大学院教育学研究科	教職大学院

# 「教員養成の玉川」

## 「教員養成の玉川」の特徴

特徴  
1

### 教育学部は長い伝統の中で数多くの教員を輩出

**優**れた教育学者で、教育実践家だった小原國芳の精神を色濃く受け継いでいるのが教育学部です。「自ら考え、自ら体験し、自ら試み、創り、行うことによってこそ、真の知育、徳育が成就する」と考え、「知行合一の強固なる意志と実践力を持った人間形成」を目指す「労作」教育や、「一級品にふれる」本物体験を重視した小原の理念は、教員としての実践力を養成する教育学部の体験教育に発展的に活かされています。1949年に前身である文学部教育学科として開設されて以来、長い伝統を誇る教育学部ではこれまで、確かな実践力を持つ、数多くの教員を全国に送り出しています。

卒業生教員数(現職)  
(2022年2月現在)



特徴  
2

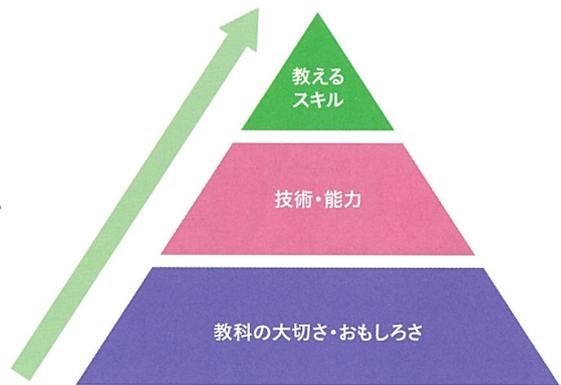
### 複数の免許を持った人材を輩出するダブル免許プログラム

**教**育学部では小学校教諭1種免許に加え、中学校「英語」「国語」「数学」「理科」「音楽」「美術」2種、高等学校「情報」1種の免許取得が可能となっています。

また、教育学部以外の学部でも教員免許を取得することができ、免許取得希望者は、専門科目に教職課程を加えることなく、すでに教職課程が組み込まれたカリキュラムを履修できることが大きな特徴です。

文学部、農学部、工学部、芸術学部では、中学校・高等学校の教員免許に加えて小学校教諭免許(2種)を取得できる制度を用意。各学部の専門分野の深い学びを通して得た知識と経験を活かし、教育現場で活躍できる教員を輩出しています。

※上記プログラムの利用には条件があります。



【専門教科を教えるスペシャリストへ】

## 「教員養成の玉川」の歴史

### 創業者・小原國芳の精神を継承した教師像を追究

**玉**川大学の創設者・小原國芳は青年時代、理想に燃える学校教員でした。小原は自分が理想とする「ゆめの学校」を実現するため、玉川学園を創設。豊かな人間性と人格を涵養する「全人教育」を理念とした独自の教育を始めました。その創業者の精神は「玉川教師訓」として現在も継承され、「子供に慕われ、親たちに敬われ、同僚に愛せられ、校長に信ぜられよ」を実践できる教師の育成が、全学の教員養成の目標として掲げられています。



ゆめの学校

#### 本学が目指す「教師像」

本学は、玉川教師訓「子供に慕われ、親たちに敬われ、同僚に愛せられ、校長に信ぜられよ」を実践できる教師の育成を目指します。そのために、次の力量を備えた教師を養成します。

1. 確かな学力と健やかな体を育てる  
「学習指導力」
2. 豊かな心を育て自己実現を図る  
「幼児・児童・生徒指導力」
3. ともに高めあうクラスをつくる  
「学級経営力」
4. 新たな学校づくりを推進する「協働力」

子供に慕われ  
親たちに敬われ  
同僚に愛せられ  
校長に信ぜられよ

玉川教師訓

# 人格優れた教員を育て、教員になってからもサポート

玉川大学では、伝統ある教育学部を中心に他学部からも優れた教員を数多く輩出し、全国の教育現場をはじめ、教育委員会や学校長・園長など教育界のリーダーとして幅広く活躍しています。玉川の「全人教育」による豊かな人間性を備えた教員は、これまでも高い評価を受けていますが、2012年には、さらなる“質の高い教員養成”を目指して「教師教育リサーチセンター」を開設。学生を対象とした教員養成にとどまらず、教員を対象とした教師教育にも力を注いでいます。

## 「教員養成」の学修環境

## 教育に関する最先端の実践や研究を展開する

**キ**ャンパスの中に幼稚部、小学部、中学部、高等部を併設し、日常的に子どもたちに接することができます。ここでは「K-12」一貫教育という先進的な取り組みのもと、学生の教育インターンシップも行われています。また、大学の脳科学研究所では心の発達やコミュニ

ケーション知能の研究、「赤ちゃんラボ」での乳児から幼児までの調査・研究など、「教育」に関わる独自の研究が行われています。このような最先端の教育実践や研究活動も、教員を目指す学生の教育に還元され、活用されています。

### CLOSE UP 大学教育棟 2014

## 対話を軸に学びを深めるアクティブな学修環境

2015年4月に開館した「大学教育棟 2014」は、地上7階建ての建物に図書館、ラーニング・commons、講義室などの最新設備を収容した、これまでにない新しい知の空間です。ICTを活用した最新鋭の「教育学術情報図書館」に隣接して、カンファレンス・ルーム、ワークショップ・ルーム、ラウンド・テーブル、フリースペースなど、多彩な部屋やスペースを用意。講義後や図書館での情報収集後、このスペースを活用した議論や対話などのアクティブ・ラーニングで、豊かな発想や表現を生み出し、主体的な学びを深めることができます。またラーニング・commonsには、学修をサポートする大学院生がTA（ティーチング・アシスタント）として常駐するほか、教員に学修上の相談ができる学修支援サポート・デスクもあります。



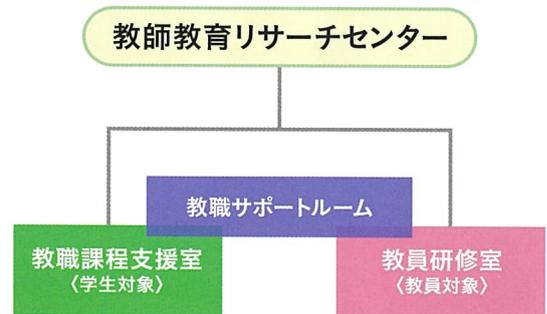
## サポート 教師教育リサーチセンター

### MESSAGE

**玉**川大学では、2006年4月、教職に関する総合センターとして「教職センター」を設置していましたが、さらなる“質の高い教員養成”と“教師教育学の研究活動推進”のために改組し、2012年4月に「教師教育リサーチセンター」を新設しました。

教師教育リサーチセンターは、教職課程履修学生のサポートをする『教職課程支援室』、そして教師教育に関わる研究活動を推進する『教員研修室』の2つの部門から成り立っています。当センターは、これまでの教職課程支援事務のみならず、教師教育(教員養成・採用・研修)に関する研究・調査を行う研究機関的要素、さらには教育委員会、小・中・高等学校、幼稚園、保育所との連携を推進する機能をもつ全学教員養成の全体を包括する組織として位置付けられています。

### 構成図



## 大学TOPICS 2014年4月に、日本初となる2コースを大学院 教育学研究科 (修士課程) に設置!

### IB 研究コース

#### IB 教員ならびに IB 研究者の資格が取得できる

IBとは、国際的に通用する大学入学資格を付与するための国際基準によるプログラムで、知識の修得だけでなく、社会から求められている問題解決力や論理力などを身につけることを目的としたもの。玉川大学大学院 教育学研究科「IB 研究」コースでは、国際バカロレア機構より認定を得てIB教員養成とその教育・研究を行っています。これまでの教師主導の学校教育と異なり、「教師は生徒の学習を支援する立場」と考えるIBの基本理念だからこそ、創立以来「全人教育」を掲げる玉川学園・玉川大学と自然に深い関わりを持つことができます。併設する高等部・中学部にもIBクラス(MYP, DP)を設置。教員養成と現場教育の往還が可能になっています。

### 教師教育学コース

#### 教員養成を行う課程を担当できる大学教員を育成する

教員養成制度の改革が急がれる中、大学の教員養成機関では、指導力ならびに指導者としてふさわしい教育研究実績を有する実務経験者の登用など、実践的指導力を育成できる教員が求められています。しかし、そのためには採用に値する教員の養成が必要です。こうした社会からの要請に応え、玉川大学大学院 教育学研究科「教師教育学」コースでは、教師教育学の研究と教育を目的として2014年4月に本コースを開設。この分野を深く専門的に教授・研究することで必要な人材の育成を図ります。校長・教育長・幹部教員などの職にあつて、その豊富な経験を活かし、将来、大学で教員養成を担う大学教員を目指す人たちも入学の対象としています。

# 玉川独自の教員養成プログラムで、 教員を目指す学生をサポート

学生対象

## 教職課程支援室 *Teacher Education Support*

「教職課程支援室」では、教育実習、教職専門実習、保育実習、介護等の体験などの手続きを始め、教員免許状の一括申請等の申請業務のほか、教員(保育士)就職支援や採用試験対策講座等の学生支援を行っています。また小・中・高等学校長、幼稚園長、保育所長経験者など、現場経験豊富なスタッフを擁する教職サポートルームを併設し、学生の指導や相談に応じています。



## 教員養成の取り組み

**本**学では、5学部10学科(2022年度入学生)・通信教育課程において、それぞれの学部学科の専門領域を活かした教員免許の取得が可能です。教職に就くという大学入学時のモチベーションを持続させ質の高い教員を養成するために、1年次から教職課程受講支援を実施し、大学4年間を通じた教職課程受講支援プログラムを構築することで、一貫した学生支援を行っています。

現在、本学では、全学年合わせて約3,700名(大学院、通信教育課

程を含む)を超える学生が教員免許の取得を目指して学修しています。

通学課程においては、下記のような教職キャリアプランに沿って4年間を通して一貫した教職課程受講支援プログラムを展開しています。さらに大学院では、学部で学んだ専門領域を深め、より高い能力を備えた教員職等を目指す学生のために大学院6つの研究科のうち、文学研究科、農学研究科、工学研究科、教育学研究科・教職大学院で専修免許取得が可能となっています。

### 玉川大学の教職課程受講支援プログラム

	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
ステップ	教職の意義と基礎理論を学ぶ		指導法の基礎を学ぶ		教科・教職の専門性と実践力を養う		実践と応用	総まとめ	
大学の カリキュラム (授業)	教科の基礎を学ぶ		各教科の指導法に関する学修		教職の専門的な学修		教育実習	教職実践演習	
			領域・教科に関する専門的事項・教育の基礎的理解に関する科目の学修		教育実習事前指導			教育実習事後指導	
学外実習など	学校体験活動(教育ボランティア・教育インターンシップなど学校現場(他)における活動)								
	参観実習		介護等体験(事前指導含む) <sup>※</sup>		教育実習先開拓、事前指導、現場実習、事後指導				
採用試験対策	ガイダンス 模擬試験	筆記・面接・論作文等試験対策 模擬試験・対策講座・自主学修会等			筆記・面接・論作文等試験対策、総まとめ 模擬試験・対策講座・自主学修会等			教員採用試験 直前対策等	

※芸術学部の場合。その他の学部は第5～6セメスターに実施

PICK UP

### 参観実習

特徴的な取り組みの1つとして参観実習があります。参観実習は、教職課程を履修中の1年生(約500名)を対象に、教育ボランティア、3年次の教育実習事前指導、4年次の教育実習に先立ち、教える立場、教師の目線から、学校の1日を体験することで、学生の教育現場への理解を深め、教職に対する自覚を促すとともに、進路選択の機会を与えることを目的として実施しています。

**[実施先]** 町田市立小・中学校、稲城市立小・中学校、川崎市立小・中学校、横浜市立小・中学校、相模原市立小・中学校、藤沢市立中学校、世田谷区立中学校等



### ココもポイント

教員(保育士)就職対策として、各種ガイダンス、対策講座、模擬試験の実施や日本語検定の導入も行っています。

# 通学課程・通信教育課程

## 教育実習・保育実習

**教**育実習は、学校現場での教育実践を通じて、また保育実習は保育現場での実践を通じて、学生自らが教員・保育士への実践的指導力を身につけるとともに、適性や進路を考える貴重な機会です。

本学では、教員・保育士を志す者としてふさわしい学生を、責任を持って実習校に送り出すべく、教育実習・保育実習事前指導の充実をはかっています。



### 「教育実習・保育実習」事前指導の概要

- ・現場実習に向けての心構え
- ・全人教育の実践的理解
- ・学校教育(公立学校の現状と課題、教育実践への理解、教員職務、実習生への期待など)
- ・学級経営と特別活動(特別支援、教育行事等を含め現場の視点からの実践的・具体的理解)
- ・授業演習(領域別の授業計画、指導案作成、学習指導の実際、教師としての基礎能力の充実) など

## 介護等の体験

**介**護等の体験は、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点から、高齢者等に対する介護、介護等の交流体験を行うことで、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることを目的として、特別支援学校(盲・聾・養護学校)または社会福祉施設において行われています。

本学では、現職の特別支援学校長、社会福祉施設長より、体験を行う上での心構えや、体験の意義等を事前指導でお話頂くことで、学生に対し目的意識を持って体験に臨むことなど、体験を有意義なものにするための指導を丁寧に行っています。



## 教員・保育士採用試験対策講座

**本**学では、教員・保育士を目指す学生のためにさまざまな支援プログラムを実施しています。年間を通して、各対象学年向けの対策講座、採用試験の時期に応じた対策講座の実施をはじめ、筆記試験対策、模擬試験の実施、また各教育委員会の学内説明会も積極的に実施

しています。

さらに、教員採用に伴う学生の指導体制を整えるため、教職サポートルームを設置し、専門教員、担当職員が常駐し、学生に対する個別指導、キャリアカウンセリングにも対応しています。

## ガイダンス・採用試験対策等の一例

- ・卒業生を招いての採用試験の概要解説
- ・全国教育委員会採用担当者による学内説明会
- ・面接や論文・作文の個別指導
- ・一次試験(一般教養・教職教養、専門教養)対策
- ・二次試験(実技を含む)対策
- ・模擬試験 など



学習相談会



教育委員会採用担当者による学内説明会

## 教職サポートルームについて

教員、保育士を目指す学生に対するキャリア形成支援、教職指導の一翼を担うため、小学校・中学校・高等学校の校長、幼稚園長・保育所長、教育行政経験者を教職サポートルーム客員教授として迎え、教職・保育職を目指す学生たちの夢を叶えるための相談、支援にあたっています。

教職サポートルーム教員は、教師教育リサーチセンターや各学部・学科の教職担当教員と連絡、調整しながら、教育実習に関する指導、教員・保育士採用候補者選考試験対策の企画・講師等を担当しています。

また、取り揃えた教科書・指導書や教職に関する参考書なども自由に閲覧できたり、模擬授業や共同討議などができるスペースを利用して、教職サポートルーム教員の指導を受けながら実践的指導力を身につけることができます。



### 教職サポートルーム客員教授

氏名	校種	専門分野	氏名	校種	専門分野	氏名	校種	専門分野
有馬 武裕	小	理科教育	西川 克行	小	社会科教育/特別活動	篠生 恵美子	中・高	国語科教育
飯島 将仁	小	生活科教育/特別活動	波田 寿一	小	体育科教育/特別活動	永松 由次	中・高	保健体育科教育
今城 徹	小	体育科教育	宮谷 映美子	小	国語科教育	林 孝之	中・高	美術科教育
上野 和彦	小	算数科教育	八嶋 真理子	小	理科教育/生活科教育	福井 正仁	中・高	英語科教育
宇田 陽一	小	体育科教育/生徒指導	山口 祐一	小	特別活動	堀井 仁	中・高	国語科教育
小川 俊哉	小	理科教育	山重 ふみ子	小	算数科教育/生徒指導	佐藤 博子	幼	幼児教育
神田 しげみ	小	国語科教育	余郷 和敏	小	国語科教育	鳥塚 恵子	幼	幼児教育
小林 巧	小	社会科教育	秋元 みさ子	中・高	音楽科教育	明田 貴和子	保	幼児教育
芹澤 成司	小・中	生徒指導・教育相談	大串 一彦	中・高	数学科教育	小野塚 正枝	保	幼児教育
瀧澤 優子	小	図画工作科教育	大嶋 一夫	中・高	理科教育			
常見 昌弘	小	道德教育	門倉 松雄	中・高	理科教育/化学科教育			

校種別50音順

### 客員教授・フェロー・教授・研究員

客員教授	千葉大学 名誉教授	天笠 茂	フェロー	玉川大学教育学部・大学院教育学研究科 教授	森山 賢一
	広島文化学園大学 学長・教授/広島大学 名誉教授	坂越 正樹	教授	教師教育リサーチセンター	柳瀬 泰
	東京薬科大学 教授	田子 健	研究員	立命館大学 教授	森田 真樹
	九州大学 名誉教授	八尾坂 修	客員教授	独立行政法人教職員支援機構 玉川大学センター	笠原 陽子
	教師教育リサーチセンター	平井 広			

### 2021年度 教員採用者数一覧（通学課程）

公立学校教員		私立学校教員等		公立・私立保育士等		
校種	採用者数	校種	採用者数	区分		
幼稚園教員	2	幼稚園教員	28	公立	私立	計
小学校教員	152	小学校教員	8	12	33*	45
中学校教員	77	中学校教員	2	※ 支援員（免許保持者）等を含む		
高等学校教員	11	高等学校教員等	11	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>教員・保育士就職者数</b>                      計 <b>336</b> </div>		
計	242	大学講師等	—			
計		計	49			

### 2021年度 教員採用者数一覧（通信教育課程）

学校教員	校種	幼稚園教員	小学校教員（全科）	中学校教員（社会）	高等学校教員（公民）
	採用者数				
		3(3)	97	2	—

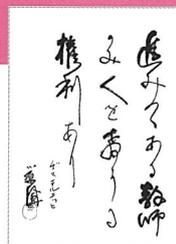
在学生在アンケート調査を行い、回答のあったデータ数。正規・非常勤等含む  
カッコ内は私立学校教員数で内数

# 講習会や研究活動などを通して、 現職の教員を多様に支援

教員対象

## 教員研修室 *Teacher Development*

「教員研修室」では、教師教育、教員養成に関する研究活動の支援として、文部科学省委託調査研究事業や科学研究費助成事業に関する支援業務を行っています。また、研究活動支援だけでなく「教師教育フォーラム」、教職課程FD・SD研修の実施、日米教員養成協議会（JUSTEC）に係る業務（日本における事務局校）も担当しています。紀要・年報の発行など教員養成大学の主要部署として「教師教育研究」を主体的に行い、近隣の教育委員会や学校などと連携し、現職の教員を対象にした研修会の開催や会場提供なども行っています。



「進みつつある人のみ  
人を教ふる 権利あり」※  
小原園芳  
※ドイツの教育学者  
ディーステルヴェークの言葉

## 教育委員会との連携

平成24年8月の中教審答申「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」の中で、教職生活全体を通じて教員を継続的に支援するためには、教育委員会と大学との連携・協働による一体的改革が不可欠であると示されています。

本学でも近隣教育委員会と連携協定を結び、教育ボランティア・インターンシップをはじめ、参観実習、教育実習等で学生がお世話になることも多くある一方で、大学教員が学校現場へ出向き授業や講演を行う、教育委員会等での研修に大学として協力・支援させていただく場面も多々あります。

また、本学では、独立行政法人教職員支援機構(NITS)の協力を得て、現職教員研修[校長][中堅教員(指導主事含)]を主催しています。学校経営や組織マネジメントを推進する指導者の養成など、学校が直面する課題に組織的に対応し、特色ある教育活動を推進するマネジメント力と教職員の専門性向上も牽引する人材育成・研修推進力を育成する研修を行っています。

今後は学び続ける教師の支援のため、大学の知を活用した現職研修の充実を図る必要があり、継続的に教員の資質能力向上を実現する仕組みを構築することが重要となっています。本学では、教育委員会とのさらなる連携・協働を深めていきたいと考えています。

### 令和3年度 研修

- 校長研修：学校改善を図るマネジメント能力の育成
- 中堅教員(指導主事含)研修：働き方改革と学び方改革



## 教師教育フォーラムの開催

教員養成の現状と今後の課題について理解を深めるためのフォーラムを毎年10月に主催しています。各界でご活躍されている方々をお招きし、教員養成に関する講演やシンポジウムを行い、教育界だけでなく、広く一般に向けても提言を行っています。



## 教職課程FD・SD研修の実施

本学の教員・職員に向けて教員養成に伴う最新の動向等を共有すべく、教職課程FD・SD研修を行っています。



### 令和3年度 研修

- 「令和の日本型学校教育」における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けて

### 令和3年度 研修

- 実践的な指導におけるICTの活用について

## 紀要・年報・教員養成研究の刊行

最新の教師教育や、教員養成に関する研究を推進し、その研究成果を広く公表するために『紀要』、『年報』と『教員養成研究』を発行しています。

『紀要』は、より高度な教師教育研究について原著論文のみ掲載し、世界を視野に入れた研究を行う目的で、『年報』は、特別寄稿をはじめ論説、原著論文、実践報告、各種データ等を掲載し、本学の教師教育研究におけるさまざまな取り組みやデータを公表する目的で発刊しています。『教員養成研究』は、教職サポートルーム教員による教職課程科目に関わる事例研究や報告を掲載しています。



## 研究助成金事業

文部科学省委託調査研究事業	
平成26年度	(1)「総合的な教師力向上のための調査研究事業」 (2)「免許更新制高度化のための調査研究事業」
平成27年度	「現職教員の新たな免許状取得を促進する講習等開発事業」
平成28年度	(1)「免許更新制高度化のための調査研究事業」 (2)「現職教員の新たな免許状取得を促進する講習等開発事業」 (3)「総合的な教師力向上のための調査研究事業」
科学研究費助成事業	
平成25年度 ～27年度	「教員養成制度の移行に関する総合的研究」
平成28年度 ～30年度	「教員育成」に関わる大学・教育委員会間関係の構築に関する研究

学部で取得できる教員免許・資格一覧 (2022年度入学生)

- = 自学科開設科目受講により免許・資格取得
- = 「ダブル免許プログラム」の受講により免許取得
- ◎ = 他教科の中学校、高等学校専修免許状・1種または2種免許状を所有していることが必要。(単位修得後、授与権者の検定により中学2種も取得可)

学部・学科		幼稚園教諭				小学校教諭										中学校教諭										高等学校教諭										保育士
		1種		2種		1種					2種					1種					2種															
		1種	2種	1種	2種	国語	英語	社会	音楽	美術	保健体育	数学	理科	国語	社会	保健体育	数学	理科	音楽	美術	英語	国語	英語	地理歴史	公民	音楽	美術	工芸	保健体育	数学	理科	農業	情報	工業		
文学部	国語教育学科				○	●																●														
	英語教育学科				○		●																●													
農学部	生産農学科				○							●																								
	理科教員養成プログラム				○							●																								
工学部	情報通信工学科				○						●																									●
	ソフトウェアサイエンス学科				○						●																									●
	マネジメントサイエンス学科				○						●																									●
	数学教員養成プログラム				○						●																									●
教育学部	教育学科	●	●	●	●		●		●			○	●	●	○	○	○	○	○	○	○		●	●					●					○		
	通信教育課程	●	●	●	●		●			◎			●		◎								●	●					◎							
	乳幼児発達学科	●																																	●	
芸術学部	音楽学科				○			●																		●										
	アート・デザイン学科				○				●																		●	●								

※上記一覧以外に取得可能な資格として、学校図書館司書教諭、図書館司書、社会教育主事(任用資格)・社会教育士、学芸員などがあります。その他の資格については下記方法でご確認ください。  
 本学で取得可能な免許・資格一覧参考 [玉川大学 教員免許・資格一覧](#)

大学院・専攻科で取得できる専修免許一覧

研究科	専攻	取得可能免許	研究科	専攻	取得可能免許
文学研究科	人間学専攻	中学校教諭専修免許状(社会)	工学研究科	機械工学専攻	高等学校教諭専修免許状(工業)
		高等学校教諭専修免許状(公民)		電子情報工学専攻	中学校教諭専修免許状(数学)
	英語教育専攻	中学校教諭専修免許状(英語)			高等学校教諭専修免許状(数学、工業)
		高等学校教諭専修免許状(英語)		教育学研究科	教育学専攻
農学研究科	資源生物学専攻	中学校教諭専修免許状(理科)	小学校教諭専修免許状		
		高等学校教諭専修免許状(理科、農業)	教職専攻 【教職大学院】		小学校教諭専修免許状
専攻科	芸術専攻	中学校教諭専修免許状(音楽、美術)			中学校教諭専修免許状 <sup>※1</sup>
		高等学校教諭専修免許状(音楽、美術)		高等学校教諭専修免許状 <sup>※2</sup>	

※1 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語  
 ※2 国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、保健体育、保健、家庭、情報、農業、工業、英語



独立行政法人教職員支援機構「玉川大学センター」の開設

平成27年5月の教育再生実行会議第7次提言を発端として「養成・採用・研修の一体的改革」は教育の重要課題とされています。こうした中、玉川大学は、令和元年3月、独立行政法人教職員支援機構(NITS)と「連携・協力に関する協定書」を締結し、令和元年10月には「独立行政法人教職員支援機構玉川大学センター」を開設し、令和2年度より「養成・採用・研修の一体的改革」を踏まえた研修拠点として、全国で6番目のNITS地域センターの活動をスタートしました。

玉川大学 教師教育リサーチセンター 〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

教職課程支援室	◆ 通学課程 042-739-8806	◆ 通信教育課程 042-739-8848	教員研修室	042-739-7097
	◆ 教員・保育士就職 042-739-8161	◆ 教職大学院 042-739-8340		<a href="mailto:t-kenshu@tamagawa.ac.jp">mail t-kenshu@tamagawa.ac.jp</a>
<a href="mailto:t-box@tamagawa.ac.jp">mail t-box@tamagawa.ac.jp</a> (求人関係)				

玉川大学

教育実習日誌

自 令和 年 月 日

至 令和 年 月 日

( 週間)

実習校

実習教科

大学指導教員

学部 学科 年	氏 名	
---------------	--------	--

本学のモットー

くまの鼻孔 苦しい  
いかなの 辛に 扱な  
場面と 真の 先せん  
微笑を以て 担当せよ

玉川  
教師訓

玉川教師訓

子供に 慕われ  
親たちに 敬われ  
同僚に 愛せられ  
校長に 信ぜられよ

玉川  
教師訓

玉川  
教師訓

本学が目指す「教師像」

本学は、

玉川教師訓「子供に慕われ、親たちに敬われ、同僚に愛せられ、校長に信ぜられよ」を  
実践できる教師の育成を目指します。

そのために、次の力量を備えた教師を養成します。

- ① 確かな学力と健やかな体を育てる「学習指導力」
- ② 豊かな心を育て自己実現を図る「幼児・児童・生徒指導力」
- ③ とともに高めあうクラスをつくる「学級経営力」
- ④ 新たな学校づくりを推進する「協働力」

# 令和4年度 教職課程受講ガイダンス

教師教育リサーチセンター

1

## 教員になるには

2

### 教員になるにあたって必要な条件

#### ▶ 教員免許状を取得する

※教職課程を受講し、免許状取得に必要な単位を修得する。  
→併せて教員になるための力量を身につける

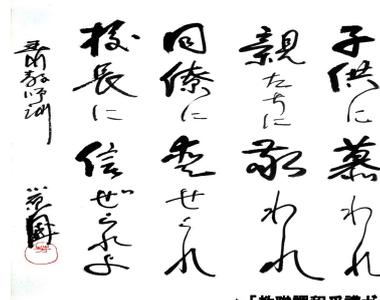
#### ▶ 採用試験に合格する

※教職課程の受講者対象の対策講座等に出席し、試験合格の対策を行う。

3

### 玉川大学が目指す教師像①

玉川大学が目指す教師像＝玉川教師訓



▶「教職課程受講ガイド」p4参照 4

### 玉川大学が目指す教師像②

玉川教師訓を実践できる教師の育成を本学は目指します。そのために必要な次の4つの力量を備えた教師を養成します。

- ①確かな学力と健やかな体を育てる「学習指導力」
- ②豊かな心を育て自己実現を図る「幼児・児童・生徒指導力」
- ③ともに高めあうクラスをつくる「学級経営力」
- ④新たな学校づくりを推進する「協働力」

▶「教職課程受講ガイド」p4参照 5

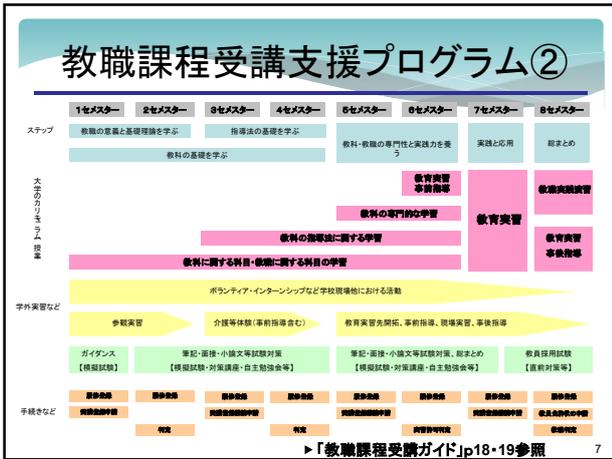
### 教職課程受講支援プログラム①

玉川大学では**教職課程受講支援プログラム** (次ページ)を設定しています。



4年間での長期間において、免許状に必要な単位数を修得し、採用試験の対策しつつ、4つの力量をしっかり身につけられるよう設定しています。

6

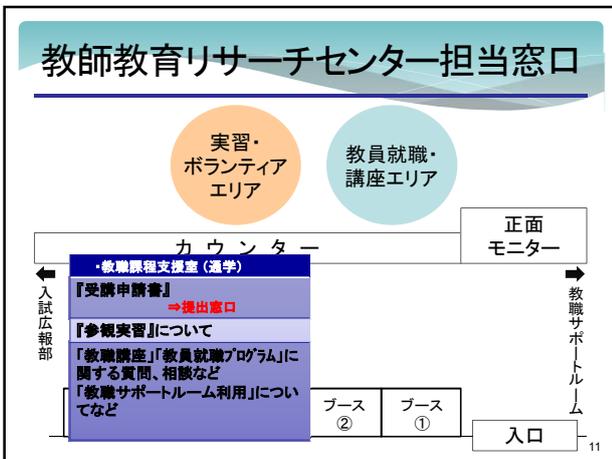
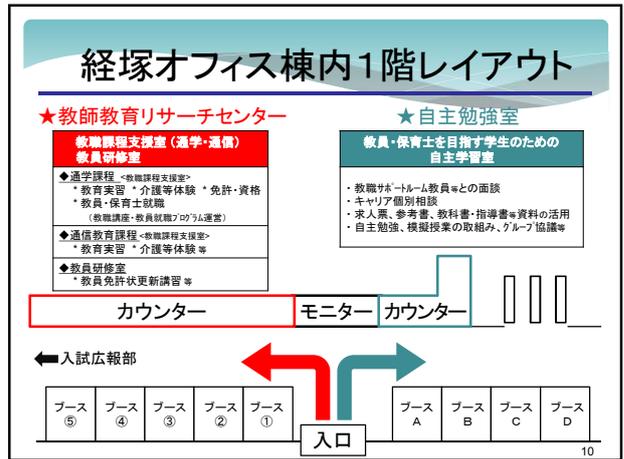


## 教師教育リサーチセンターについて

## 教師教育リサーチセンターについて

- ・ 教員・保育士を目指す皆さんの総合窓口
- ・ 経塚オフィス棟1階。
- ・ 教育・保育実習、介護等体験、学校ボランティア、教員免許状の申請、教員就職支援等
- ・ 教職サポートルーム(所属される先生方の研究室と自学習のための支援室)

<問い合わせメールアドレス>  
kyoshoku@tamagawa.ac.jp



## 教師教育リサーチセンターからの連絡について

## 教師教育リサーチセンターからの連絡について

### 基本的にUNITAMAの掲示で行います



※場合によっては大学より付与しているメールアドレスに連絡することもあります。  
※見逃して欠席にならないようしっかりと確認を怠らないようにしてください。

13

## 取得可能な免許状について

14

## 取得できる免許状について①

➤ 学部・学科により取得できる免許状が異なります。

▶「教職課程受講ガイド」p5参照

15

## 取得できる免許状について② 教育学部 教育学科

- 複数の免許状を取得することが可能になります。
  - ▶ 複数免許の組み合わせについては「教職課程受講ガイド」p54参照
- 複数免許状の場合、**ピーク免・サブ免**を設定します。基本的には教育実習に行く回数によっての設定となります。

	ピーク免	サブ免
複数免許の場合	小学校1種のみ	
	幼稚園1種のみ	
	幼稚園・小学校1種	
	中学校・高等学校1種のみ	
	小学校1種	中学校2種
	中学校・高等学校1種	小学校2種

16

## 取得できる免許状について③ 教育学部 教育学科

- 複数の免許状を取得する場合にはそれぞれの免許状において必要な科目が異なることがあるため、**履修に気をつける**必要があります。  
※学部の履修ガイダンスや教職・教務担当に確認しながら進めてください。
- 免許状取得するために、**免許状必要単位数を修得**する以外にも**教職課程受講条件**や**教育実習受講条件**があります。**条件を充足**できるよう学修を進めてください。

▶「教職課程受講ガイド」p54参照

17

## ダブル免許プログラムについて① 教育学部 教育学科

- 文・農・工・芸術学部で認定されている**中学校2種免許**(英語・国語・数学・理科・音楽・美術)および**高等学校1種免許(情報)**の取得が可能(申請手続きが必要)です。
- ただし、取得にあたっては**基準を満たす**必要があり、かつ**人数制限**があります(5名程度)。
- 受講を希望する学生は、6月中旬に開催予定です。詳細はUNITAMA掲示(予定)で案内します。

▶「教職課程受講ガイド」p14・54・85～88、92～103参照

18

## ダブル免許プログラムについて② 文・農・工・芸術学部

- 中学校・高等学校1種免許だけでなく**小学校2種免許**の取得が可能(申請手続きが必要)です。
- 受講を希望する学生は、6月中旬の「ダブル免許プログラムガイダンス」に出席してください。詳細はUNITAMA掲示(予定)で案内します。

▶「教職課程受講ガイド」p14・54・80～84、90～91参照 19

## 教職履修カルテについて

20

## 教職履修カルテとは

- **本学が目指す教師像(=玉川教師訓)**を踏まえ、教員免許状を取得するために履修した科目全て(F評価の科目含む)に対して、

- ★どのような成果を得ることができたのか
- ★今後、何をやらなければいけないと感じたのか

を本学が目指す教師像の視点から振り返り、まとめたものが**教職履修カルテ**です。

21

## 教職履修カルテの対象

1. 希望する教員免許状を修得するために必要な科目すべて
  - ※ 具体的な科目名は希望する免許状ごとに異なるので、各自教職課程受講ガイドを参照して確認をすること。  
学校体験活動(教育ボランティア・教育インターシップ等)
2. 教育ボランティアやインターンシップ等の教育現場や地域での社会的活動
3. 教育実習の振り返り
4. 年度の振り返り

22

## 教職履修カルテの入力

【入力システム】 UNITAMA「教職カルテ」

【入力時期】 各セメスター終了時

4年生の秋学期に履修する「教職実践演習」は最後の総まとめ的な授業となります。その際に必要となりますのでセメスター毎にしっかり作成をしてください。

- 入力方法等については改めてUNITAMA掲示にて指示しますので確認の上、対応してください。

23

## 教職課程を受講するにあたっての注意事項

24

## 注意事項①

### ➤ 教職課程受講登録をする#教職以外に進めない

- 進路選択の1つ
- 1年次でやめても問題ありません
- 2年次からの参加でも構いません  
【教育学部・農学部・芸術学部を除く】

※ **先生を目指すなら早い方が良いです**

25

## 注意事項②

### ➤ 教職課程受講登録をする#4年間教職課程の受講許可



4年生まで教職課程を続けるには、**学部・学科毎に定められた条件を充足する必要があります。**

※教職課程の受講にあたっては**学部・学科毎に条件等が異なる**ので、「**教職課程受講ガイド**」をよく読んで内容を確認してください。

26

## 注意事項③

教職課程の受講にあたって諸々の事項(教職受講条件・免許状取得に必要な科目・教育実習に行くための条件・W免許プログラムに関する事、教職課程履修規則など)については、**「教職課程受講ガイド」**をよく読んで内容を確認してください。

※不明な点があれば、わからないままにせず、相談してください。

<問い合わせ先>

- 教職に関する件 教師教育リサーチセンター
- 履修に関する件 学部学科の教務担当または学級担任

27

## 今後の手続きについて

28

## 書類提出について

- UNITAMAのアンケートにより必要事項を回答してください。  
アンケートはUNITAMAの上部メニューの「アンケート」から回答ができます。  
「アンケート回答一覧」より【令和4年度 教職課程受講登録について(●●学部対象)(教師教育リサーチセンター)】を選択し、回答してください。  
**回答完了をもって教職課程受講者として登録**します。

### ➤ アンケート回答期限:

**4月6日(水)10:00~4月15日(金)23:59**

- アンケート回答期限までに未回答の場合には教職課程の**受講をしない**とみなしますので注意してください。

29

## 教職課程受講料について①

### ➤ **金額 15,700円(1年次分)**

※UNITAMAのアンケートにて必要事項を回答した方の保証人宛に納付書を送付(5月上旬に発送予定)します。

※**期日までに納入しなかった**場合には、教職課程履修規則の第6項②により**受講中止**となりますので注意してください。

※一旦納入された受講料は基本的には返金しません。

▶「教職課程受講ガイド」p102-103参照 30

## 教職課程受講料について②

※文・農・工・芸術・教育学部でダブル免の履修をする場合、追加の費用が必要です。  
( 詳細は「ダブル免許プログラムガイダンス」にて案内します )

31

## ガイダンス内容についての質問

ガイダンス資料で質問がある場合には、登録手続きを行うためのアンケートの最後に質問項目がありますので、そこに記入してください。  
後日、Q&Aを作成し、UNITAMAにて掲示を行います。

32

最後に

33

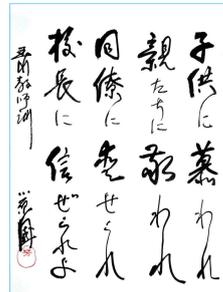
全学園連絡会  
令和5年1月10日(火)

## 教員養成の現状と課題、今後の方策



教師教育リサーチセンター

### 玉川大学の教員養成 「玉川教師訓」



2

### 本学が目指す教師像

玉川教師訓「子供に慕われ、親たちに敬われ、同僚に愛せられ、校長に信ぜられよ」を実践できる教師の育成を本学は目指します。

そのために、次の力量を備えた教師を養成します。

- ① 確かな学力と健やかな体を育てる「学習指導力」
- ② 豊かな心を育て自己実現を図る「幼児・児童・生徒指導力」
- ③ ともに高めあうクラスをつくる「学級経営力」
- ④ 新たな学校づくりを推進する「協働力」

3

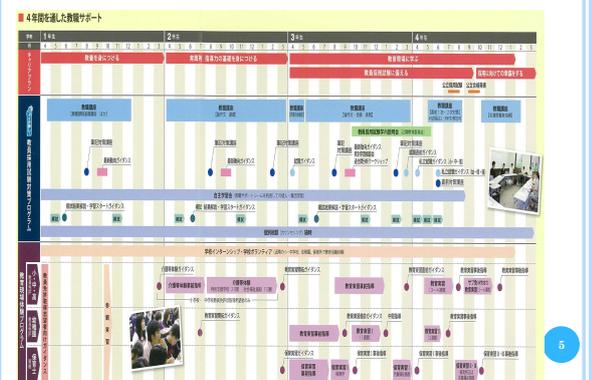
### 教師教育リサーチセンターによる支援体制

- 教職課程支援室  
「質の高い教員養成」をテーマに、教職課程の履修、介護等体験や教育実習、免許状の申請業務、教員・保育士希望の学生への就職支援ならびにキャリアデザイン支援を担当
- 教職サポートルーム  
公立保育所長、公立幼稚園長、公立小・中・高等学校長経験者により構成。実習や体験活動の相談や指導、採用試験の対策や就職に関わる支援を担当

また、自学自習のためのテキストやスペースも確保。

4

### 4年一貫した教職課程受講支援プログラム(通学課程)



5

### 令和4年度教職課程受講者数(通学課程) 2022/12/20現在

学部	学科	人数				計
		1年	2年	3年	4年	
文学部	英語教育学科	70	57	52	42	221
	国語教育学科	76	46	42	41	205
	学部計	146	103	94	83	426
農学部	生産農学科	18	32	26	42	118
	学部計	18	32	26	42	118
工学部	ソフトウエア工学学科	18	5	12	3	38
	マテリアル工学学科	56	18	29	27	130
	情報通信工学科	4	3	3	0	10
	学部計	78	26	44	30	178
教育学部	教育学科(幼稚園)	6	8	12	10	36
	教育学科(小学校)	144	155	140	168	607
	教育学科(社会)	49	27	29	19	124
	教育学科(福祉)	41	50	53	50	194
	乳幼児発達学科	84	82	80	85	331
	学部計	324	322	314	332	1,292
芸術学部	芸術教育学科(音楽)	27	26	31	13	97
	芸術教育学科(美術)	12	8	6	7	33
	学部計	39	34	37	20	130
	合計	606	617	616	607	2,144

6

令和4年度教職課程受講者数（通信教育課程）

2022/12/20日現在

入学区分	幼稚園	小学校	中学校	高校	計
正科生	219	729	64	17	1,029
科目等履修生	40	317	60	37	454
計	259	1,046	124	54	1,483

通学（2,144名） 通信（1,483名）  
合計3,627名

参考）令和3年度  
通学課程（2,165名）＋通信教育課程（1,048名）  
合計3,213名

7

## コロナ禍での教育実習等の状況(令和4年度)

### （１）教育実習

#### 【状況】

「教育職員免許法施行規則等の一部を改正する省令（令和2年文部科学省令第28号）」（令和2年8月11日から施行）の継続

#### 【大学の対応と結果】

・新型コロナウイルス感染症を事由に、実習不可、期間短縮になった学生について、不足の一部、または全部を学校体験活動、または大学が用意したプログラムで補完し、所定の教育実習を受講したとみなす。

・学生に対して、実習開始2週間前からの健康観察と可能な限り直前に**PCR検査を実施**。

・通学課程・通信教育課程合わせ、延べ約1,100名の学生が、**計画していた実習校で教育実習を行う**。

\*保育実習については一部、1～3月に実施予定（計画通り）

8

### （２）介護等体験

#### 【状況】

「介護等体験施設に係る大臣決定」（令和2年8月11日）の継続

#### 【大学の対応と結果】

- ・現場での体験活動を中止
- ・事前指導は通常通り行い、特別支援学校ならびに社会福祉施設での体験に替え、(独)国立特別支援教育総合研究所が開設する免許法認定通信教育の科目に関わる印刷教材の成果を確認することで対応。
- ・通学課程430名 通信課程94名を代替措置で対応。

### （３）参観実習

参観日2週間前からの健康観察とPCR検査を行い、少人数(例年の半数ほど)で可能な限り、居住地に近い学校で実施。

昨年度は午前中のみ活動であったが、今年度は通常通り給食も含んだ終日の活動で実施した。→ 592名が実施

9

### （４）教職関連ガイダンス・採用試験対策講座

・ガイダンス、教職講座、個別面談は**対面実施を再開**。ただし、状況により一部オンライン対応

・論作文指導は郵送をやめ、**対面による添削指導**

・模擬試験はBb配信による自宅受験から、**学内受験を再開**

→延べ約7,000名が受講

### （５）学校体験活動

事前に示された大学の方針に基づき実施

10

## 教師教育リサーチセンターによる支援体制

### ○教員研修室

学び続ける教員を継続的に支援するための教師教育・教員養成に関する研究活動支援を担当

- ・文部科学省委託調査研究事業支援
- ・教員免許状更新講習⇒発展的解消により閉講
- ・教師教育フォーラムの開催  
→遠方からの参加を踏まえ、オンライン型で開催
- ・紀要・年報の発行
- ・『教員養成研究』（年4回発行）

11

## 独立行政法人教職員支援機構（NITS） 玉川大学センター

「教員の養成・採用・研修の一体的改革」（教育再生実行会議第7次提言 H27.5）を受け、現職教員の研修を担当

- ・校長研修の実施（2回）
- ・中堅・指導主事研修（2回）

→対面と離島参加者対応としてオンラインで開催

12

### 教員養成における社会の変化

- (1) 新教職課程の推進と検証
  - \*ICTを活用した授業実践に関する科目の設置
  - \*教育実習の改編(分散化、学校体験活動の流用)検討
- (2) 養成・採用・研修の一体改革による教員の質保証
  - \*教員免許状更新講習に替わる新たな研修の検討
  - \*教員採用試験の早期化、複線化の検討
- (3) 教職課程の質保証評価(自己点検評価)
- (4) 複数免許取得の推進
  - \*学科間・大学間の共同による教職課程の実施
  - \*小・中免許共通開設科目の拡大

13

### 今後の課題

- (1) 教職課程受講生に対する支援プログラムの効果と有効性の検証並びに再構築
  - \*教員採用試験の早期化、複線化、教育実習の改編をふまえ
  - \*地方公務員法の一部を改正する法律(定年延長)をふまえ
- (2) 組織体制や活動内容に関する課題の抽出と課題解決に向けた対策案の策定
  - \*教職課程の自己点検評価の活用
- (3) 研究活動成果の学生支援への活用方法

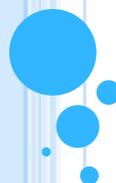
14

### 今後の課題

- (4) 教員の養成・採用・研修の一体改革を踏まえた現職教員(特に卒業生)を対象とした研修プログラムの構築。教員免許状更新講習に替わる研修、教職員支援機構との連携もふまえ
- (5) 工学部改組に伴う新たな教職課程の検証
- (6) ICT活用指導力を備えた教員の養成と環境整備

15

### 教員採用選考試験結果



### 2022年度実施公立学校教員採用選考試験結果

2023年1月6日現在(昨年度)

課程	学校種	受験数	1次試験合格数	名簿登録数	合格率(%)
通学	小学校	202(195)	187(155)	146(111)	72.3(56.9)
	中学・高校	175(162)	122( 80)	65( 44)	37.1(27.2)
	通学計	377(357)	309(235)	211(155)	56.0(43.4)
通信	小学校	161(161)	—	106( 95)	65.8(59.0)
	中学・高校	5( 3)	—	0( 2)	0.0(66.6)
	通信計	166(164)	—	106( 97)	63.9(59.1)
合計		543(521)	—	317(252)	58.3(48.3)

課程	合格者数
公立幼稚園 通学	4(5)
公立保育所 通学	8(11)

17

全学園連絡会  
令和5年1月10日(火)

ご清聴ありがとうございました。



教師教育リサーチセンター

# 玉川大学における 教員養成への取り組み



文部科学教育通信  
No,351~353 より抜粋

玉川大学教師教育リサーチセンター  
平成27年3月

ここに掲載したものは、『文部科学省教育通信』No. 351～No. 353 「連載 学修支援の教育方法」第34回～第36回に掲載された文書を抜粋したものです。

◆第34回

教員養成における単位の実質化への取り組み . . . . .

―16単位CAP制度の導入と全学教職課程カリキュラム―

◆第35回

四年間を通じた教職課程指導・支援体制の試み . . . . .

―キャリアプランを明確にしたプログラムの開発―

◆第36回

教員養成の質向上に向けた教職課程の全学体制による組織の運営 . . . . .

―教師教育リサーチセンターによる全学学生支援と研究活動の推進―

# 教員養成における単位の実質化への取り組み — 16単位CAP制度の導入と全学教職課程カリキュラム —

玉川大学教育学研究科教職専攻・教育学部教授  
玉川大学教師教育リサーチセンター長  
森山 賢一

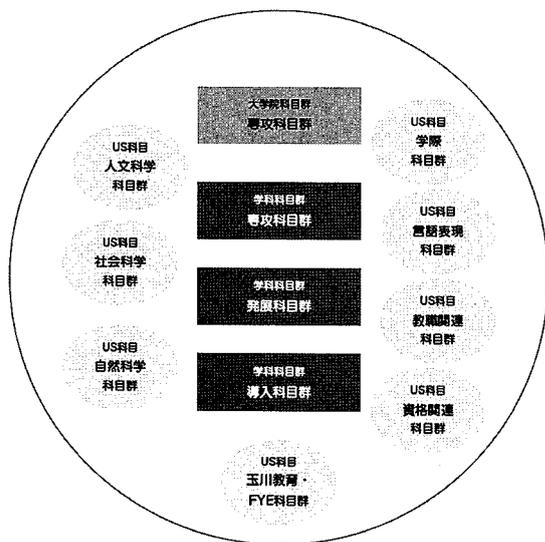
玉川大学は、全学体制における教員養成の充実に向けて、「教師教育リサーチセンター」を設置し、「質の高い教員養成」の実施に向けて具体的な対応に取り組んでいる。本学では、全学として二〇一三（平成二十五）年度入学生から、半年間に履修できる単位数を一六単位に制限しており、教職課程全科目もその例外ではなく、その学部・学科の卒業単位に含まれ、教員養成における単位の実質化に取り組んでいる。本稿では、本学での一六単位CAP制度における全学体制教職課程の指導支援について紹介する。

## 本学カリキュラムの特徴

本学のカリキュラムは、教養豊かな幅広い知識を持ち、基礎学力の堅固な基盤と高度な専門能力を持った有為な人材を育成するために、ユニバーシティ・スタンダード科目と学科科目群で構成されている。

ユニバーシティ・スタンダード科目は、学士課程教育において重要な役割を果たす教養

図1 ユニバーシティ・スタンダード科目（US科目）の位置付け

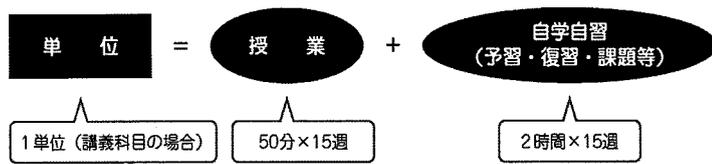


教育と、専門教育との連動を目指して構成されている。広い教養の世界に旅立つ学生の原点となる科目は、所属学科で専攻する領域と並行して学ぶことで、様々な学問分野にふれると同時に、自らの専門領域の学問的・社会的役割と関連づけて理解できるようにしている。教員免許状を取得するために必要な教職に関する科目は、この中の「教職関連科目群」として開設されている。学科科目群は、導入科目群、発展科目群、専攻科目群に区分され、学修進度に合わせて順に履修するように開設されている。各学科で取得することができる免許種により、その教科の専門性を高めるための科目は、学科科目群の中に開設されている。このカリキュラム構成により、学生は四年間を通して学修をすすめる、「学士」にふさわしい力、「学士力」を身につけていくことが可能になっている。

## 16単位CAP制度と教職課程科目

一方、大学での学修は授業とその予習・復

図2 授業と予習・復習で成り立つ大学での学修



教職課程科目の履修はこのルールの中で行っていくが、「教職に関する科目」や「教科に関する科目」など、より効果的な履修ができるよう、学士課程全体のカリキュラムの中に、各学科で教職課程の履修カリキュラムが構築されている。各学科には教職担当の教員が配置されており、教職課程を履修している学生は、この先生方の指導を受けながら所定の単位を修得している。

本学での教職課程受講は、上記のカリキュラムに基づいた学士課程教育

習で成り立っており、一週間に授業を受講して学修するには、その量においておのずと限界がある。

このため、本学では、それぞれの科目について深い理解を促すため、履修登録の上限単位を半期(各セメスター)一六単位とするC A P制度を導入している。したがって、四年間で履修できる総単位数は一八八単位までとなる。本学では単位の実質化が課題となっている高等教育において、教職課程も同様に上記の考え方を踏襲することが責務であると捉えている。このため、全学部の教職課程科目全科目がその学部・学科の卒業単位に含まれ、「教育実習」の単位であっても例外なく卒業単位に含まれている。

の学修が展開され、その中で教員免許取得に必要な科目も履修することとなっているため、卒業単位の中に教職課程のカリキュラムを組み入れることは、当然のことといえる。これは、やみくもに多くの単位を履修し、資格取得の一つとして教員免許状を捉えるのではなく、教職課程に関する科目も含めて、履修した科目の内容を確実に理解し、確かな学士力を身につけたうえで、教員免許の取得をしなければ、社会が求める教員として送り出すことができないのではないかと捉えているためである。このために、各学部・学科においては履修モデルの十分な検討がなされている。

### 教職課程の質保証

学生にとってはそれぞれ所属する学科において専門の学修を行い、さらには、教師としての資質能力を身につけていくために、教職に関する専門の学修を両立して進めていくことが必要である。どちらが大事ではなくどちらも大事なわけである。

教員養成においては、これらの二つの立場を「あれかこれか」(Entweder-Oder)の二者択一的な対象と捉えるのではなく、教職科目と教科科目を中心とした、その学科の専門科目のそれぞれの内容が、本来の意味において統合される立場を求めるということにある。このような見解においては単位の実質化とも関連して、学士課程教育と教職課程の教育は相互に同様な枠組の中で位置づけられ、展開されなければならない。

### 教員養成の質保証に向けた新たな学科の設置

具体的な展開例として、本学の芸術学部芸

術教育学科ならびに文学部英語教育学科(二〇一五年四月よりスタート)の教員養成カリキュラムを紹介してみる。

芸術教育学科の教員養成プログラムにおいては、音楽教育コースと美術・工芸教育コースの二つの教員養成プログラムが、英語教育学科においては、英語教員養成コースのプログラムが展開され、その全体の特色として中学校、高等学校教諭の一種免許状と小学校教諭二種免許状が取得可能であること、小・中・高等学校の現場と大学での学びをつなぎ、実践的な学修を重視していること、本学の特色を生かし、総合学園として同一キャンパスにある幼・小・中・高校の多くの学習活動を通して、子どもたちの活動や発達を実感しながら学修を進めることができることがあげられる。特に小学校二種免許取得プログラムにおいては、単位の实質化に即して、春学期、秋学期には科目の開講を行わず、サマーセッション、ウインターセッションでの開講とした。学びを深化させる学修システムの工夫として、自らの目的に合わせてU S科目を選択すること、芸術教育または英語教育を学ぶ上での導入科目(必修、選択必修の専門科目)から発展科目(選択必修の専門科目)へ深まっていくこと、「教育方法学」や「教育心理学」などの教職に関する科目と、各学科で開講されている教科に関する科目(専門科目)ができる限り相互に対応して学修できること、一年次から参観実習をはじめとした教員養成プログラムがスタートし、四年一貫して学修できることなどがあげられる。まさに教職科目と教科科目が相互補完されて学修されることになっている。

# 四年間を通じた教職課程指導・支援体制の試み ―キャリアプランを明確にしたプログラムの開発―

玉川大学教育学研究科教職専攻・教育学部教授  
玉川大学教師教育リサーチセンター長

森山 賢一

## 玉川大学における 教職課程受講学生の現状

平成二十六年度入学生における本学の学部組織においては、六学部（文学部、農学部、工学部、教育学部、芸術学部、リベラルアーツ学部）一二学科で教職課程認定を受けている。平成二十六年五月の教職課程受講者は、一年生・七一六名、二年生・五五五名、三年生・五二一名、四年生・五九三名の合計二二八五名であった。本学は通信教育課程も有しており、通信教育の学生は約四〇〇〇名で、そのほとんどが教員免許取得希望者である。このように大変多くの教職課程受講学生が教員免許取得に向けた学習を展開している。

取得できる免許状は、教育学部においては幼稚園、小学校教諭免許状と保育士資格（乳幼児発達学科のみ）、その他に中学校・高等学校教諭の社会・公民、保健体育の免許状を

取得することができる。その他の学部においては、学部教育の特徴を生かした中学校・高等学校教諭免許状を取得することが可能となっている。

また、教育学部を除く学部で教職課程（中学校・高等学校教諭免許状）を履修している学生が、本学の通信教育課程を利用することで、卒業と同時に小学校教諭二種免許状を取得できるプログラムを実施している。このプログラムにより、「理科や数学に強い小学校教諭」「英語に強い小学校教諭」など専門的知識を持った小学校教諭、あるいは「小学校教育を知る中・高等学校教諭」を社会に輩出している。

## 一年次からの教員養成と 教職課程受講支援プログラム

教職課程を履修する学生は、大多数が高等学校での進路決定時に「教師になりたい」

「ぜひ免許状を取得したい」と強い意志を持って大学の選択をしている。具体的には入学時の志望動機に教員希望と書いて入学する学生が多い。しかし、教育学部および芸術学部芸術教育学科以外の学部・学科においては、教職課程の受講が二年次からはじまることから、入学後一年間教職課程としては空白の時間を過ごすこととなる。このため当然のことながら入学時の「教職課程を履修したい」「教員になりたい」との意欲は低下するわけである。

教職に就こうという大学入学時のモチベーションを持続させるには、一年次の教職課程支援が必要不可欠であり、大学四年間でのトータル的な教職課程受講支援プログラムの構築、実践が重要である。

現在本学では七〇〇名を超える学生が一年次から教職課程受講支援プログラムのもとで学んでおり、教育現場体験プログラムと教員採用試験対策プログラムとが展開されている。

各学年における教職課程受講支援プログラムの概要については次の通りである。

- (1) 一年次
  - ・教職の意義と基礎理論を学び、教養を身につける
  - ・教職課程の受講に関する四年間の流れを理解して教員になるための動機づけを行う
  - ・教職課程ガイダンスの実施、模擬試験（一般教養を中心に）
  - ・一日参観実習
- (2) 二年次
  - ・読売新聞社教職課程特別講座
  - ・教科指導法の基礎を学び、実践的指導力の基礎を身につける
  - ・ガイダンスの実施、模擬試験（一般教養、教職教養、教職専門）、論文文の基礎
  - ・介護等体験（義務教育免許のみ）への参加
  - ・教育ボランティア、インターンシップへの積極的参加
- (3) 三年次
  - ・教職、教科の専門性と実践力を養い、教育現場に学ぶ
  - ・教員採用試験に備える
  - ・教員としての資質能力を理解し、自らの資質能力の再確認を行い、教員採用試験に向けた学修を強化する
  - ・ガイダンスの実施、模擬試験（一般教養、教職教養、教職専門）論文文、面接対策
  - ・教育ボランティア、インターンシップへの積極的参加
  - ・教育、保育実習

#### (4) 四年次

- ・三年間の学習成果の確認とそれを踏まえての補完と総まとめ
- ・教員採用試験受験に向けた直前対策と教員就職までの準備
- ・教育ボランティア、インターンシップ
- ・教育、保育実習

#### 一年次の主な

#### 教職課程支援講座の内容

- ・教職課程受講に関するガイダンス
- 『教職を目指す学生に向けて―教員に求められる資質能力』の講話
- 『文章力・言語表現力を身につける―日本語検定の活用等―』の講話
- この講座の趣旨は、教員になる以上、正しい日本語を使う必要性を学生に理解してもらうための機会としている。この講話から、日本語検定（主催：日本語検定委員会）の受験につなげ、各自が日本語検定過去問題集等を利用して自主学習をもらうことをねらっているものである。
- ・教職課程基礎講座―センター長講話―
- 教師教育リサーチセンター長より、全学教職課程履修希望学生に対して、教職課程を受講する心構えや今日の学校教育を巡る課題、教員とは何かについてなど基本的な内容について講話を実施する。
- ・教員採用模擬試験（五月実施）
- 一年次生にとっては、はじめての模擬試験である。

一般教養分野の教員採用模擬試験を受験し、現在の時点での一般教養に関する理解度の確認を行う。

・『日本語検定』の導入  
教員としての基本的な能力として、日本語能力について理解を深め、その能力の確認を行う。

・教員採用最新動向、学習スタートガイダンス  
五月に実施した教員採用模擬試験（一般教養）の結果をもとに問題の解説を行う。さらに教員採用試験の最新動向や、今後の教員採用試験対策講座に関してのガイダンスを実施する。ここでは時事通信社に協力を求め、全国的なデータをもとに学生への理解を促す。

・夏休み課題の実施

夏期休暇中に、新聞の記事の中から関心を持った教育問題について調査・研究し、レポート（二四〇〇字程度）として提出する。あるいは、補習教室や水泳教室の補助等の体験結果を、レポート（二二〇〇字程度）にまとめて提出する。

・教養基礎力向上講座（理科・数学）

一般教養の中でも、理科・数学が苦手な学生を対象に実施しているが、特に高等学校で「物理」「化学」を履修していない学生も対象としている。演習問題を実際に解きながら、基本的事項から徹底的に取り組む講座である。これらの他、筆記試験対策講座（一般教養）、小学校講座、トリアル模擬試験などを実施している。

## 一年次生への参観実習の導入

参観実習は、一年次生教職課程受講者七〇名を対象に、教育ボランティア、三年次の教育実習事前指導、四年次の教育実習に先立ち、教える立場、教師の目線から、学校の一日を体験することで、学生の教育現場への理解を深め、教職に対する自覚を促すとともに、進路選択の機会を与えることを目的に実施している。

近隣の市教育委員会にお願いし、その管轄下の公立小学校・中学校で受け入れさせていただき、一校あたり、五〜一〇名の学生が配当され、十一月中旬（教育学部は七月）に行われる。

参観実習の実際の流れについての概略は次の通りである。

- ・事前指導
  - 各受け入れ先の校長先生に本学に来校いただき、地域の特徴、教育内容、学校の特徴などに参観実習にあたって注意すべき点について講話を行う。
  - プロフィール文書作成
    - 学生各自で自己紹介、教職への志望動機、参観実習での課題、さらには、受け入れ校への質問内容を作成する。このプロフィール文書は引率教員の添削後に教師教育リサーチセンターより参観実習受け入れ校へまとめて送付する形をとっている。
  - 参観実習受け入れ校との事前打ち合わせ
    - 学生の代表者（班長）が受け入れ校を事前

に訪問し、参観実習の事前打ち合わせを行う。なお、班長は受け入れ校との打ち合わせの内容をもとにして、参観実習計画書を作成し、引率教員ならびに班員に配布する。

### ・参観実習当日

参観学生は、八時に実習校に集合し、校長先生、教頭先生による学校紹介および講話終了後、児童、生徒への紹介を行い、午前中は授業参観、昼食（給食）、昼休み、午後は総括指導（質疑応答を含む）という流れで各学校において進められる。

### ・報告書の作成

実際の教育活動、教師の任務、児童・生徒の様子、学校の雰囲気、環境、今後この参観実習をどう生かすかなどについて記載し、プロフィールの文書作成と同様に、引率教員の添削後、教師教育リサーチセンターより受け入れ校にまとめて送付する。

このような一日参観実習は、実習校、教育委員会との連携によって実現するが、四年一貫した教職課程の試みとしては、重要な要素となっている。受け入れ校からも、実習校と学生が継続したかかわりをもつきっかけとなっているとか、一年次から教職に目的をもって取り組めるよい機会であるといった非常に良い評価を得ている。

今後の課題としては、事前指導における指導内容のさらなる検討、実習校との連携方法の検討などがあげられる。

## 待望の書籍化!



国立大学法人法制研究会 編著  
A5判/710頁  
定価 4,935円(本体4,700円+税)

大学の自律性を踏まえた国立大学法人の特殊性を中心に、基本的なロジックと国会答弁等のエビデンスを端的かつ骨太に解説。「文部科学教育通信」誌に平成二十年八月号から平成二十三年一月号まで計五回連載されたものを、今回改めて全体的に見直し、新たに概説や参考資料等を加え、資料としての充実と便宜を図った。

### 特色GPPのすべて 大学教育改革の起動 (JUA選書第14巻)

編川正吉 小笠原正明編/財団法人大学基準協会 監修  
A5判/464頁 4,300円(税込)

### 質保証時代の高等教育(上) 経営・政策編

山本眞一 著  
B6判/332頁 2,415円(税込)

### 質保証時代の高等教育(下) 教育・研究編

山本眞一 著  
B6判/364頁 2,415円(税込)

### データで見る 大学財政の基礎知識 3訂版

山田隆史 杉野剛 藤原誠 著  
A5判/188頁 1,890円(税込)

### 障害学生支援入門

— 誰もが輝くキャンパスを —  
鳥山由子 竹田一則 編  
B5判/170頁 1,890円(税込)

### テキスト教育制度・教育法規

霜鳥秋則 著  
A5判/278頁 2,310円(税込)

# 教員養成の質向上に向けた教職課程の全学体制による組織の運営

## ―教師教育リサーチセンターによる全学学生支援と研究活動の推進―

玉川大学教育学研究科教職専攻・教育学部教授

玉川大学教師教育リサーチセンター長

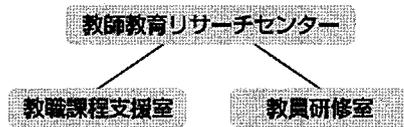
森山 賢一

### 全学教員養成を担う 教師教育リサーチセンター

教員を目指す学生の支援を担うため、二〇〇六年度から設置された教職センターを、全学体制における教員養成の充実に向けて、二〇一二年度より「教師教育リサーチセンター」に改組し、「質の高い教員養成」の実施に向けて具体的な対応に取り組んでいる。

教師教育リサーチセンター（以下、センターと表記）には、大きく分けて二つの機能が ある。一つには、教職課程受講学生に関する学 生支援機能で、教職課程支援室が担当してい る。教育実習や保育実習、介護等体験の手続 き、免許状の申請や、教員採用試験の対策、 情報提供と就職支援等を担当している。

二つ目は、教師教育・教員養成に関する研 究支援機能で、教員研修室が担当している。 教員養成のための「教職カリキュラム研究」 をはじめとし、紀要や年報の作成等の研究活



- ・教職課程支援室は、教育実習、保育実習、介護等体験、ボランティア等や、教員、保育士希望の就職支援及びキャリアデザイン支援に関する業務を担当
- ・教員研修室は免許状更新講習や教員養成のための「教職カリキュラム研究」「教師教育に関する研究」や近隣教育委員会、教育現場との連携による現職教員を対象とした研修会等の業務を担当

動の支援を行っている。教員研修室の主な業 務としては、上記の内容をはじめとして、近 隣教育委員会・学校との連携、教職課程にお けるFD・SD研修、教員免許状更新講習の 実施、センターが主催する「教員養成フォー ラム」の企画・運営等、担当する業務は多岐 にわたっている。

### 教職課程の学生支援

センターにおける支援業務については、教 職課程の履修にかかわる支援、免許状の申請 業務にとどまらず、学校現場、教育委員会と の連携を図りながら、教師になりたいという 強い意志と情熱を持った学生を支援している。 具体的には、教育実習や介護等体験、学外ボ ランティアや教員採用試験対策プログラム、 学校現場体験プログラムの提供等における支 援を行っている。これ以外のことについては、 基本的には各学部・学科の責任のもとに対応 してもらおうという形をとっている。

全学に対応するセンターの開設は、ある面ではリスクを生じることもある。「教職に関してはセンターが全部やってくれるだろう」「センターの仕事だから任せておけば良い」と考えられてしまう懸念があることである。また、どこまでがセンターでどこからが学部・学科かという、責任の所在があいまいになってしまおうという面もある。センターを開設した当初は、学部・学科との間で「押して・引いて」という場面も見られた。

一方、双方で共有する部分というのも当然出てくる。そういった場合、学部・学科の業務を司る学部と、センターが協働して対応していくことになる。例えば課程認定の申請などに関わって、学部とセンターにまたがって問題が生じるといふこともある。そういう時に気を付けるのは、問題が対応されずにそのまま放っておかれてしまうことがないように、まず分掌を明確にしておくことである。それが教員に関わる問題であれば、その責任は学部ということになるため、しかるべき対応を求めるなど、問題の一つ一つが抜け落ちることがないよう、両方で教職課程をサポートしている。そういう意味で、今、学部とセンターの両輪で教職課程を運営しているといえる。

センターと学部・学科の関わりという点では、教育学部も他の学部と同じ。ただ、教育学部は教職課程受講者の数も非常に多く、関わり具合は相応に多いが、大前提として、教員免許を取得するということは同じであると考えている。このことは、どの学部であろうと全く差はない。例えば、教育学部で取る体育の免許と、農学部で取る理科の免許は、教

科は違っても同じ中学・高校の免許で、そこには平等に力を注がなければいけない。教員免許の取得を目指す学生をサポートするということに対して、全学の体制を整えているということは、学部・学科にかかわらず平等に対応していこうとする意思表示であり、また、そのサポートが求められているからこそ、全学の体制を敷いているのだと理解している。

## 教職サポートルームの運営

教員・保育士を目指す学生に対するキャリア形成支援、教職指導の一役を担うため、幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校での園長・校長・教育行政経験者を教員・保育士指導担当教員として迎え、教職サポートルームを構成している。教職サポートルームの教員は、教職・保育職を目指す学生たちの夢をかなえるための相談、支援にあたる。具体的には、センターや各学部・学科の教職担当教員と連絡調整をしながら、教育実習に関する指導、教員・保育士採用候補者選考試験対策の企画・講師等を担当する。

教職課程受講学生は、センターで取り揃えた教科書・指導書や教職に関する参考書等が自由に閲覧できるだけでなく、模擬授業や共同討議等ができるスペース（センターで運営）を利用して、教職サポートルーム教員の指導を受けながら実践的指導力を身につけている。

## センターを中心に全学教職課程を運営

教職課程のカリキュラムは、学部とセンターの協働のもとで検討・構築されている。このため教職や教職課程カリキュラム等に関する事項を審議する「教職課程委員会」構成員

には、双方の教員、職員が含まれている。例えば教職課程に新しい科目が必要ではないか、そういう議論があれば、教職課程委員会あるいは教務委員会で議論がなされたうえで、学則改正を行うという仕組みになっている。最近では教職実践演習が新たに開設されたが、これはセンターが中心となって、全学共通に開設していこうという方向で検討がなされた。全学共通シラバス、授業運営はセンターを中心に動かし、学部が連動して学部・学科専門科目との整合性をはかった。学部・学科から授業内容や教員構成に対して意見がある場合、教職課程委員会で議論されることになっている。

本学では、教職課程の履修カルテも全学共通としている。また、教職に関する科目は授業もシラバスも全学共通のため、そこでの議論や連絡事項は、月一回の教職課程担当者連絡会で、それぞれの学部・学科から意見を持ち寄り、あくまでも共通という形の中で確認が行われるようになってきている。教職実践演習のような新たな課題が出た時は、教職課程委員会の下にワーキンググループを作って、頻繁に意見交換を行い、教職課程担当者連絡会と調整しながら、最終的に教職課程委員会で承認を得るといった仕組みになっている。それぞれの学部・学科の意見はそこで反映されるため、新しい制度が始まったと同時に、それに対して学部・学科側から大きな課題や問題が生じるといったことは少なくなっている。

この体制は今のところ、教職課程委員会の委員の先生方のご協力や、熱心な取り組みのおかげで、非常に円滑に進んでいると判断している。こういった仕組みがうまく機能する

まで何年かかかったが、センターとそれぞれの学部・学科との間で、それなりの合意形成できる仕組みを構築することができたと考えている。

## 学内全体で教職課程の質を担保

教職課程は、教職に関する科目と教科に関する科目で大きく成り立っている。一つ一つの授業の質を担保するとともに、目指す教師像のもとにそれぞれの授業が構成されていないと教職課程の質は向上しない。教職に関する科目は全学共通で、多くは教育学部が開設しているが、教科に関する科目は基本的にそれぞれの学部・学科の開設科目となっている。教職課程の質を維持向上させるため、本学では、教職課程科目については全学でシラバスチェックが行われている。教職に関する科目、教科に関する科目はセンターが確認する。それぞれ最終的な審査を通るまでは、担当教員に書き直しをいただくようお願いをしている。

教職課程の質の担保に、大学としてどうかかわるかということを考えた時、それをどこが確認するということを明確にしておくことは大変重要なこととらえている。

## 教師教育、教員養成に関する研究の推進

センターの特微的な機能である研究活動の推進では、下記のような活動を中心として、教員研修室が教師教育・教員養成に関する研究活動の推進を支援している。

### ・教員免許更新講習

本学では、全人教育を理念とする教員養成の実績と、多くの教員を輩出していることから、二〇〇九年度より教員免許更新講習を実施している。また、今後は教員免許更新制度の改善に係る検討会議が提示した「教員免許更新制度の改善について（報告）」の内容に基づいて、改善すべく検討する予定である。

・年報・紀要の発行  
大学教員の研究実績を高める必要性、また今後の教師教育研究の質向上のため、二〇一一年度より年報を発行している。特別寄稿をはじめ、論説、論文、実践報告、各種データ、ならびに学生からの実習体験記を掲載したものを作成し、教職課程を有する私立大学をはじめ連携教育委員会等の関係教育機関に配布している。

・学内向け「教員養成FD・SD研修」の実施  
教員養成大学として、教員・職員に向けて教員養成に伴う最新の動向等を共有すべく、教員養成FD・SD研修を実施している。

### ・教育委員会との連携

近隣教育委員会と連携協定を結び、教育ボランティア、インターンシップをはじめ、参観実習、教育実習等で学生がお世話になることが多くある一方で、大学教員が学校現場へ出向き、授業や講演を行うこと、教育委員会の研修に大学側が全面的に協力もしている。今後は、学び続ける教員の支援のため、大学の知を活用した現場研修の充実を図る必要がある、本学では、継続的に教員の資質能力向上を実現する仕組みを構築するため、教育委員会とのさらなる連携・協働を深めていきたいと考えている。

### ・文部科学省委託事業

平成二十五年度は、「平成二十五年度教員の資質能力の向上に係る先導的取組事業」

「平成二十五年度免許更新制高度化のための調査研究事業」の二件に採択され、その研究成果を報告書として発行した。平成二十六年度も、「平成二十六年度総合的な教師力向上のための調査研究事業」「平成二十六年度免許更新制高度化のための調査研究事業」の二件が採択された。

### ・「教員養成フォーラム」の企画・運営

二〇一三年度は「期待される教師と今後の教員養成」、二〇一四年度は「これからの教員に求められる資質能力と今後の教員養成」をテーマとし、講演、シンポジウムを実施した。

## 今後の課題

教師教育リサーチセンターは、「質の高い教員養成」の実現に向けた全学的組織として、教職課程を受講する全学の学生支援と、教師教育、教員養成に関する研究活動の推進に取り組んでいる。全体の概要は前述のとおりで、様々な課題も発生しており、一つ一つ学内外の協力体制を整えながら対応している。今後の課題として、

- ①教職課程受講学生に対する支援プログラムや体制の効果・有効性の検証
- ②組織体制や活動内容に関する課題の抽出と課題解決に向けた対策案の策定
- ③研究活動成果の学生支援への活用方法があげられる。

これらの課題を解決していくことが、「質の高い教員養成」の実現のためには、必要不可欠ではないかと考えている。

○玉川大学教授会等運営規程

平成14年4月1日制定

改正

平成15年4月1日

・ ・ ・

令和4年4月1日

玉川大学教授会等運営規程

(目的)

第1条 玉川大学学則（以下「本大学学則」という。）第44条第7項並びに第46条に規定する玉川大学教授会（以下「教授会」という。）の運営について、学校法人玉川学園会議等運営規程のほか、本規程に定める。

(各委員会)

第5条 本大学学則第46条に基づき、教務委員会、教職課程委員会、学生委員会、入学試験運営委員会、課外活動支援委員会、キャリア・就職指導委員会、FD委員会、大学学事運営委員会、国際教育推進委員会、インターンシップ委員会、ELF運営委員会、環境エドゥケーター委員会、アクティブ・ラーニング推進委員会、教育再生加速委員会、及びIR委員会を置く。また、文学部には、中学校英語2種免許認定通信教育プログラム運営委員会、教育学部には、通信教育課程入学選考委員会を置く。

2 各委員会の委員は、毎年度当初、学部長等が各学科主任等の意見を徴し、学長に推薦し、学長が任命する。

3 委員会は、学長の諮問に答え、審議の結果を答申する。また、委員会は、必要な事項を審議し、大学部長会に建議又は学長に上申することができる。

(教職課程委員会)

第7条 教職課程委員会は、教師教育リサーチセンター長を委員長とし、各学部の教職担当及び事務担当をもって構成する。

2 教職課程委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 教職に関する事項
- (2) 教職課程に関する事項
- (3) 教職課程のカリキュラムに関する事項
- (4) 教育職員免許状・保育士資格、その他の資格に関する事項
- (5) その他本委員会に属する事項

3 教職課程委員会は、委員長が招集し開催する。

4 教職課程委員会は、原則として毎月開催する。

5 事務主管は教師教育リサーチセンターとする。

## 2022 年度 教育研究活動等点検調査委員会 自己点検・評価結果 報告書

2022 年度報告・2023 年度計画欄(黄色いセル)に入力してください。

(2020 年度はコロナ禍の負担軽減のため箇条書き程度で可とした)

## I. 第 3 期認証評価において指摘された「改善課題」「是正勧告」の進捗状況【必須】

記載不要 (教員養成部会 指摘事項なし)

## II. 「自己点検・評価報告書 2017」に挙げた「問題点」の改善進捗状況【必須】

記載不要 (教員養成部会 指摘事項なし)

## III. その他各部会での点検・評価によって明らかになった課題、改善計画、進捗状況【必須】

## 2019 年度報告

## 1. 教員採用試験名簿登載率 50%の実現(継続)

教職課程受講支援プログラムにより 1 年生から教員採用試験合格のための支援を行っている。特に 3 年生からの論作文・面接対策においては、「2020 年度版 教員採用試験のための論作文&面接対策(玉川大学教師教育リサーチセンター編)」を刊行し、それを基に最新の出題傾向やテーマを押さえた対策を行っている。また、1 次試験合格者に対する 2 次試験対策も、夏期休暇中に個別指導を中心に行い、2019 年度実施の採用試験については、Vision2020 に目標として設定した「教員採用試験名簿登載率 50%」の数値目標を達成した。

## 2. 教職課程受講支援プログラムの有効性の検証(継続)

- カリキュラムについて、再課程認定による新たな基準での教職課程がスタートした 2019 年度は、カリキュラムが申請内容に準拠していることを確認した。有効性の検証については、完成年度に至っていないため継続して検証していく。・学外実習などについて、実習生の受入れ校との協議会を重ね、教育実習日誌の内容などについて有意義な意見交換を行った。また、『実習の手引き』についても内容を検証し、小中高版と幼保版に分けて改訂を進めている。
- 採用試験対策について、前述①の通り。

## 3. 教員養成における教員適性に関する検討(継続)

通信教育課程の教育実習許可条件に新たに教員適性に関する項目を加えた。これにより、学生処分規程に抵触した学生の教育実習を不可とした。また、適性に疑義が生じた場合、事前に模擬授業などを行う仕組みを構築した。

## 4. 学生の自主性の向上に向けた対策の検討

教職課程受講支援プログラムの中、教員採用試験対策における学生の自主性の向上に向けた対策の検討については、名簿登載率が順調なこともあり、新たな取り組みを検討するに至っていない。学校体験活動(教育インターンシップ)については、学生が自主的に参加し、活動できる仕組みを近隣教育委員会、学校現場との連携のもと構築を進めている。

## 5. 教師教育・教員養成に関する研究活動の推進

- 教員養成における今日的課題である「養成・採用・研修の一体的改革」をテーマに教師教育フォーラムを開催し、近隣教育委員会等で教員研修の中核を担う先生方に講演をいただいた。この内容を基に今後の研究活動のテーマとして取り上げていきたい。
- 教職サポートルーム客員教授の実践報告の発表の場として『教員養成研究』を創刊し、年度内に第4号までを刊行予定である。これにより、延べ 29 名、28 筆の研究を発表した。

## 2020 年度報告

## 1. 教員採用試験名簿登載率 50%の実現(継続)

- 教員採用試験名簿登載率 50%以上(今年度達成。次年度も継続)
- 教員採用 1 次試験合格者を増加させるための学生の自主性を向上させる方策の検討。(継続)
- 「2022 年度版 教員採用試験のための論作文&面接対策」の発行。(済)

## 2. 教職課程受講支援プログラムの有効性の検証(継続)

- 2020 年度開始の新課程の授業のシラバスと担当教員の妥当性の検証。(済)

## 2022 度 教育研究活動等点検調査委員会 自己点検・評価結果 報告書

- ・ 実習校、介護等体験受入れ校との協議会で話題になった事項の検証と方策の検討。(継続)
- ・ 『教育実習の手引き』(仮称)小中高版と幼保版の内容を検証と改訂版の刊行(済)

学校体験活動(教育インターンシップ)の実施と検証(継続)

### 3. 教員養成における教員適性に関する検討(継続)

教員の適性のうち、教科指導力などの学力に起因する適性については、科目単位の充足、検定試験のスコア、GPA などにより、基準を設けることができるが、実践的指導力や協働性、規範意識など学生のパーソナリティに起因する適正については、取り扱いに種々の問題を含み、非常に難しい課題になっている。現場経験が豊富な教師教育リサーチセンター教職サポートルーム客員教授と連携しながら、慎重に取り組んでいきたい。

### 4. 学生の自主性の向上に向けた対策の検討

- ・ 教員採用試験の取り組みについて、学生が自主的にでき方策を検討する。
- ・ 学生が自主的に学校体験活動に参加できるような仕組みを構築する。

### 5. 教師教育・教員養成に関する研究活動の推進

- ・ 教職課程の質保証に向けた教員養成評価の検討
- ・ 教職員支援機構(NITS)との共同事業により教員研修の検討

### 6. 参観実習、教育実習などの学校現場で行う科目等の遠隔授業コンテンツの作成と開設

### 7. 教員採用試験対策講座、各種ガイダンスのオンライン開催

### 8. 教員免許状更新講習のハイブリット型講習の構築と実施

### 9. オンラインによる教師教育フォーラム等研修会の開催

## 2021 年度計画

### 1. 教員採用試験名簿登載率 50%の実現(継続)

- ・ ICT を活用したリモートでの支援プログラムの検証と構築
- ・ 「2023 年度版 教員採用試験のための論作文&面接対策」の発行

### 2. 職課程受講支援プログラムの有効性の検証(継続)

ICT 活用指導力の養成やデータリテラシーの向上を目的とした新たな科目の検討

### 3. 教師教育・教員養成に関する研究活動の推進

ICT 活用指導力の養成やデータリテラシーの向上を目的とした研修の開催

### 4. 卒業生教員を対象とした研修会等の開設

## 2021 年度報告

### 1. 教員採用試験名簿登載率 50%の実現(継続)

教職課程受講支援プログラムにより 1 年生から教員採用試験合格のための支援を行っている。「2023 年度版 教員採用試験のための論作文&面接対策(玉川大学教師教育リサーチセンター編)」を計画通り刊行し、更に例年 3 年生からこれを基に行ってきた論作文・面接対策を2年次12月に早め、最新の出題傾向やテーマを押さえて対策を行っている。ただ、コロナ禍で、種々の指導がリモート対応となり、特に 1 次試験合格者に対する 2 次試験対策の面接や集団討議、模擬授業、実技試験対策など、試験会場や状況の再現性や板書、実技指導などには限界があり、苦労している。2021 年度実施の採用試験の名簿登載率は 47.9%で、目標として設定した 50%には、わずかに及ばなかった。

### 2. 職課程受講支援プログラムの有効性の検証(継続)

プログラムの有効性についてはコロナ禍により、介護等体験の代替え措置、参観実習の短縮実施、各種講座のリモート指導など、正規の方法と異なる運用を継続しているため正確な検証には至っていない。一方でガイダンスや説明会などでは、繰り返し視聴や時間差視聴などリモートで行うことの有効性を実感し、ICT を活用したプログラムの強化を進めている。また、教育実習校(参観実習、教育インターンシップ受け入れ校含む)との協議会を再開し、学校安全や GIGA スクール構想の中での実習指導について有意義な意見交換を行った。

### 3. 教師教育・教員養成に関する研究活動の推進

## 2022 年度 教育研究活動等点検調査委員会 自己点検・評価結果 報告書

研究活動の成果として、『年報（11号）』『紀要（vol.4）』『教員養成研究（第9、10、11、12号）』に加え、幼児教育に特化した『年報（臨時増刊号）』を発行し、「令和の日本型学校教育における個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて」をテーマに教師教育フォーラムをオンラインで開催した。また、教職員支援機構（NITS）の玉川大学センターとして、管理職教員を対象とした研修を対面で開催し、3月には「実践的な指導における ICT の活用について」をテーマに教職課程 FD・SD 研修会を計画している。中央教育審議会の答申を踏まえ、ICT 活動指導力を含めた今日的な教育課題について研究活動を推進した。

#### 4. 卒業生教員を対象とした研修会等の開設

6月と1月に卒業生の現職教員を対象とした「玉川大学教師・保育士の集い」をオンラインで開催した。6月は若手教員を対象に、相談会の内容で行い、教職サポートルーム教員が相談員として参加した。また、1月の会では、在職年数を制限せず、幅広い年代に呼びかけ、講演会、昨今の大学の状況報告、グループディスカッションなどを行い好評を得た。

### 2022 年度計画

1. 教員採用試験名簿登載率 50%の実現(継続)
2. 法令改正を踏まえた教職課程の自己点検評価の実施
3. 教師教育・教員養成に関する研究と研修の推進
4. ICT を活用した指導力養成のための研究と環境整備

### 2022 年度報告

#### 1. 教員採用試験名簿登載率 50%の実現(継続)

教職課程受講支援プログラムにより 1 年生から教員採用試験合格のための支援を行っている。「2024 年度版 教員採用試験のための論作文&面接対策（玉川大学教師教育リサーチセンター編）」を計画通り刊行し、最新の出題傾向やテーマを押さえて対策を行っている。コロナ禍の対策として、リモート対応での指導、支援が主だった 2021 年度に比べ、対面での試験対策もできるようになったが、感染拡大の期間に重なった 2 次試験直前の対策講座は、集団感染、濃厚接触者認定により、受験ができなくなるという重大なリスクを避けるためリモート対応にせざるをえなかったが、2022 年度実施の採用試験の名簿登載率は通学課程で 56.0%、通信教育課程で 63.9%、合算で 58.3% になり、目標として設定した 50%を大きく上回ることができた。

#### 2. 法令改正を踏まえた教職課程の自己点検評価の実施

一般社団法人全国私立大学教職課程協会（全私教協）の評価基準に基づき、自己点検調査を実施し、報告書を作成した。内容の公表の時期と方法については現在検討中である。現行の教職課程ではすぐに改善すべき課題はないが、省令改正や教員採用試験の改編など、刻々と変化する教員養成の課題から、毎年の自己点検調査を実施し、改善に取り組む必要がある。

#### 3. 教師教育・教員養成に関する研究と研修の推進

研究活動の成果として、『年報（12号）』『教員養成研究（第13、14、15、16号）』を発行した。また、『「令和の日本型学校教育」構築のための「新たな教師の学びの姿」の実現に向けて』をテーマに教師教育フォーラムをオンラインで開催した。更に、教職員支援機構（NITS）の玉川大学センターとして、管理職教員を対象とした研修並びに中堅教員・指導主事研修を各 2 回、計 4 回、対面とオンラインの併用で実施し、特に離島の先生方に研修の機会を設けて好評を得た。3月には最新の中央教育審議会の答申を踏まえた今日的なテーマで教職課程 FD・SD 研修会を計画している。

#### 4. ICT を活用した指導力養成のための研究と環境整備

令和4年度より、教育職員免許法の一部を改正する省令に則り、ICT を活用した指導力養成のための科目を教職課程に開設した。また、教職実践演習、各教科の指導法などの既存の科目についてもシラバスを改定し ICT の活用を含む内容を追加し

## 2022 度 教育研究活動等点検調査委員会 自己点検・評価結果 報告書

た。また、学校現場の多くで利用されている Google コンテンツを利用するための環境を整備し、Google の共通アカウントを取得するとともに、ハード面においては、iPad、デジタル教科書を整えた。なお、Google アカウントについては、管理業者のポリシーに則り、個人アカウントの取得について検討し、導入の方向で準備を進めている。

**2023 年度計画****1. 教員採用試験名簿登載率 50%の実現(継続)**

- ・教員採用試験の早期化、複線化を踏まえた対策講座等の構築
- ・「2025 年度版 教員採用試験のための論作文&面接対策」の発行

**2. 教師教育・教員養成に関する研究と研修の推進(継続)**

- ・中央教育審議会答申（令和 4 年 12 月 19 日付）を踏まえた研修の開催

**3. 中央教育審議会答申を踏まえた教職課程、並びに教員養成プログラムの点検と検討**

- ・中央教育審議会答申（令和 4 年 12 月 19 日付）を踏まえて教職課程を点検（教職課程自己点検評価）し、必要に応じて改編を検討する。

**IV.各部会が作成した「2017 自己点検評価シート」のうち、継続すべきと判断したもの【任意】**

なし

## 2022 年度 分科会・部会 開催状況調査

※ 提出日以降に実施の予定(今年度内)がある場合は予定としてご記入ください。

教員養成部会		
第 1 回	4 月 12 日 (火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教職課程受講条件の変更に関する件【文学部英語教育学科】</li> <li>2. 教育学科ダブル免許プログラムに関する件</li> <li>3. 教育実習特例および介護等体験代替措置について</li> <li>4. 参観実習実施について</li> <li>5. 介護等体験 書類添削について</li> <li>6. 教職関連科目担当教員の業績確認について</li> </ol>
第 2 回	5 月 17 日 (火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育学科ダブル免許プログラムに関する件</li> <li>2. 参観実習について</li> <li>3. 教育職員免許法施行規則改正に伴う履修振替表について</li> <li>4. 令和 5 年度 教職実践演習、教育実習事前指導の授業時間割について</li> <li>5. 免許種ごとの単位数確認について</li> </ol>
第 3 回	6 月 21 日 (火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和 5 年度 教職実践演習、教育実習事前指導に関する件</li> <li>2. 参観実習について</li> <li>3. 「教職実践演習」における教職履修カルテの活用について</li> <li>4. 教育インターンシップの実施について</li> <li>5. 夏休みの課題について</li> </ol>
第 4 回	7 月 26 日 (火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 秋学期 教職課程受講継続判定および教育実習受講判定について</li> <li>2. 秋学期 「教育実習事前指導」「教職実践演習」実施計画について</li> <li>3. 介護等体験の実施について</li> <li>4. 秋学期 教育インターンシップについて</li> </ol>
第 5 回	9 月 13 日 (火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和 5 年度入学生対象 66 条の 6 に関する科目「外国語コミュニケーション」変更に関する件</li> <li>2. 令和 5 年度入学生対象 大学が独自に設定する科目 変更に関する件【乳幼児発達学科】</li> <li>3. 秋学期「教育実習事前指導」「教職実践演習」実施計画について</li> <li>4. 令和 5 年度入学生 教職課程受講条件等の検討について</li> <li>5. 春学期 教職継続判定について</li> <li>6. 参観実習について</li> <li>7. 教育実習協議会について</li> </ol>
第 6 回	10 月 18 日 (火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公立学校教員採用候補者選考大学推薦における学内選考制度に関する件</li> <li>2. 文学部英語教育学科令和 5 年度以降入学生の第 2 セメスター終了時教職課程継続判定条件の変更に関する件</li> <li>3. 「教育インターンシップ」令和 5 年度以降の実施方法に関する件</li> <li>4. 令和 5 年度 科目等履修生に対する「教職課程科目受講希望者の留意事項」に関する件</li> <li>5. 「教育インターンシップ」(全学US教職関連科目)の実施について</li> <li>6. 参観実習について</li> <li>7. 教育実習(小・中)に関する協議会の開催について</li> <li>8. 令和 5 年度 「教職実践演習」「教育実習事前指導」実施計画について</li> </ol>
第 7 回	11 月 15 日 (火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教職継続判定に関する件【工学部】</li> <li>2. 令和 5 年度入学生対象 教科及び教科の指導法に関する科目変更に関する件【英語教育学科】</li> <li>3. 令和 5 年度入学生 教職課程受講条件等に関する件【文・農・工・教育学部】</li> <li>4. 令和 5 年度 教職履修規則改訂に関する件</li> <li>5. 令和 5 年度入学生 教育学科ダブル免許プログラム増設に関する件</li> <li>6. 令和 5 年度 参観実習に関する件</li> </ol>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>7. 令和 5 年度 科目等履修生に対する「教職課程科目受講希望者の留意事項」の確認に関する件</li> <li>8. 令和 5 年度以降 通信教育課程における義務教育特例の対応に関する件</li> <li>9. 令和 5 年度以降 通信教育課程における教育実習基礎単位(小学校コース受講条件)に関する件</li> <li>10. 令和 5 年度以降 通信教育課程における教育実習受講に係る事前指導の改定提案に関する件</li> <li>11. 令和 5 年度「教職実践演習」「教育実習事前指導」シラバス作成について</li> <li>12. 令和 5 年度 教職科目共通シラバス入力について</li> <li>13. 令和 5 年度 「教育インターンシップ」実施について</li> </ul>
第 8 回	12 月 13 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 令和 5 年度入学生対象 教科及び教科の指導法に関する科目 変更に関する件【通信教育課程・生産農学科・芸術専攻科】</li> <li>2. 令和 5 年度入学生 教職課程受講条件等に関する件【芸術学部】</li> <li>3. 令和 5 年度「教育実習事前指導」「教職実践演習」計画に関する件</li> <li>4. 令和 5 年度参観実習に関する件</li> <li>5. 令和 5 年度 科目等履修生に対する「教職課程科目受講希望者の留意事項」の確認に関する件</li> <li>6. 公立学校教員採用候補者選考における特別選考「大学推薦」に関する件</li> <li>7. 令和 5 年度開設 教職課程認定申請に伴う新規教職課程の追加について</li> <li>8. 大学設置基準等の改正に伴う教職課程認定基準等の改正について</li> <li>9. 令和 4 年度実施、令和 5 年度 介護等体験事前指導および外来講師招聘計画について</li> <li>10. 令和 4 年度実施、令和 5 年度教職関連始業ガイダンスの実施日程について</li> </ul>
第 9 回	1 月 24 日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 令和 5 年度参観実習に関する件</li> <li>2. 教職課程受講継続判定および教育実習受講判定に関する件</li> <li>3. ダブル免許プログラム履修モデル変更に関する件</li> <li>4. 中央教育審議会 答申の発出(令和 4 年 12 月 19 日付)について</li> <li>5. 令和 5 年度 教育実習実施予定ならびに春学期実習の指導教員選定について</li> <li>6. 令和 5 年度「教育実習事前指導」および「教職実践演習」の計画について</li> <li>7. 令和 5 年度教育インターンシップ(文・農・工・芸)の実施について</li> <li>8. 介護等体験について</li> <li>9. 参観実習に関するアンケートまとめについて</li> <li>10. 採用試験結果・活動状況について</li> <li>11. 令和 5 年度実施 公立学校教員採用候補者選考大学推薦 学内考査の実施について</li> </ul>
第 10 回	3 月 7 日(火) 予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.</li> <li>2.</li> </ul>

令和3年度  
ファカルティ・ディベロップメント活動報告書

玉川大学

大学FD委員会

大学院FD委員会

### 3. 教師教育リサーチセンターの活動

#### 1 教職課程 FD・SD 活動への取組理念・目標

本センターは、大学における教職課程を運営するため、大学附置機関として設置された。主な業務内容としては、教職課程における学生支援と、教職に関する研究活動支援がある。研究活動支援の中には、教員養成における教職課程 FD・SD 研修も含まれており、教員養成の質を向上させることを理念・目標としている。

#### 2 教師教育リサーチセンターにおける教職課程 FD・SD 活動の組織構成と役割

センター長、次長、課長及びリサーチフェローを中心に教職課程 FD・SD 活動を計画し、課長補佐以下職員で研修会開催の実務を担当している。

#### 3 令和3年度の活動内容

##### (1) 教師教育フォーラム

##### ① 概要（目的を含む）

令和3年1月26日、文部科学省中央教育審議会より「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）が示された。この答申では、急激な社会の変化の中での学校の役割や課題を踏まえ、2020年代を通じて実現を目指す学校教育を「令和の日本型学校教育」としている。具体的には、ICTの活用と少人数によるきめ細かな指導体制の整備により、「個に応じた指導」を学習者視点から整理した概念である「個別最適な学び」と、これまで重視されてきた「協働的な学び」とを一体的に充実することを目指している。

今回の「教師教育フォーラム」では、答申の内容を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現するために、教育現場にはどのような変化があるのか、また、教員を養成する大学はどのように対応すべきであるのか、これらのことについて、講演者、出席者がともに考えるフォーラムとして開催した。

##### ② 到達目標

オンライン開催となり、200名以上の出席者を目標に掲げた。

##### ③ 活動内容

日時：令和3年11月6日（土）9：30～15：30 於：大学教育棟 2014より配信  
テーマ：『令和の日本型学校教育』における『個別最適な学び』と『協働的な学び』の実現に向けて」

##### 【プログラム】

午前の部

○講演『『令和の日本型学校教育』の構築に向けた『個別最適な学び』、『協働的な学び』とは』

信州大学理事、前文部科学省大臣官房文部科学戦略官 高口 努 氏

○シンポジウム

- ・「東京型教育モデル」の実現に向けた教員の育成  
東京都教職員研修センター 研修部長 小寺 康裕 氏
- ・子どもの夢と未来をつなぐ学びの ICT 活用  
相模原市立谷口台小学校 校長 西山 俊彦 氏  
相模原市立谷口台小学校 教諭 佐藤 司明 氏
- ・「令和の日本型学校教育」の実現を目指した教員養成大学の方向性  
玉川大学教師教育リサーチセンター リサーチフェロー 教授 森山 賢一

【コーディネーター】玉川大学教師教育リサーチセンター  
客員教授 笠原 陽子

午後の部

○分科会:教職大学院

①国語教育 ②特別支援教育 ③算数教育 ④カリキュラム・マネジメント

④ 評価

“「令和の日本型学校教育」における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けて”をメインテーマに掲げ、午前の部では“「令和の日本型学校教育」の構築に向けた「個別最適な学び」、「協働的な学び」とは”と題した講演、続いて教育現場で取り組む「令和の日本型学校教育」の実現に向けた取り組みと、GIGA スクール構想を具現化する ICT を活用した取り組みについて、ご講演をいただいた。さらに、森山賢一教授より教員養成大学に求められる教員育成の方向性について報告があった。午後の部では、本学の教職大学院担当者による分科会を行い、国語教育・特別支援教育・算数教育、カリキュラム・マネジメントについて、シンポジウム、講演、演習等を行い、ご参集の皆様と考える機会を持つことができた。

新型コロナウイルス感染防止対応により、昨年度に引き続きオンライン開催となったが、近隣地域だけでなく、遠方の現職教員等学校関係者、教員養成に携わる大学教職員、教員志望学生、教育研究者、教育委員会関係の方々等、教育に携わるの方々にも参加して頂くことができたことは有益だった。

午前の部、午後の部を併せ、約 200 名の参加者を迎え、盛会のうちに終了した。

(2) 令和 3 年度教職課程 FD・SD 研修会

① 概要 (目的を含む)

昨今の急激な社会の変化に対応する学校教育の質向上のため、「令和の日本型学校教育」の構築に向け、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実現させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげることが重要な課題となっている。ICT 活用の推進と少人数学級の実現が必要とされ、児童生徒「1 人 1 台端末」の整備、活用が始まっている。これらのことから、教員養成大学にも、ICT 活用指導力の向上が求められており、令和 4 年度からは ICT 活用に関する新規科目も開設される。そこで、具体的な事例を含めた「教科の指導法」等における ICT 活用に焦点をあて、研修会を開催した。各学部長、学科主任、教務主任、教務担当、教職担当は原則出席とし、関係部署所属の教職員にも出席を促した。

## ② 到達目標

ここ数年のうちに課程認定申請、新たな科目「情報通信技術を活用した教育に関する理論および方法」(仮称)の開設など、社会の変化に伴って教職課程において、特に教員養成に関して様々な対応が求められている。特に ICT に関しては、どの項目においても重要なキーワードとなっていることから、教員養成大学として、ICT に関連したテーマを設定することで、これからの教育活動への意識を高める。

## ③ 活動内容

日 時： 令和 4 年 3 月 1 日 (火) 10:00~11:30

場 所： オンライン配信 (Zoom)

テーマ： 「実践的な指導における ICT の活用について」

大学院教育学研究科教職専攻(教職大学院) 教授 佐藤 修 氏

対 象： 大学教員、事務職員

内 容(目的)： 昨今の急激な社会の変化に対応する学校教育の質向上のため、「令和の日本型学校教育」の構築に向け、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実現させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげることが重要な課題となっている。ICT 活用の推進と少人数学級の実現が必要とされ、児童生徒「1人1台端末」の整備、活用が始まっている。これらのことから、教員養成大学にも、ICT 活用指導力の向上が求められており、令和 4 年度からは ICT 活用に関する新規科目も開設される。そこで、具体的な事例を含めた「教科の指導法」等における ICT 活用に焦点をあて、文部科学省の取り組み指針等の最新情報を提供する機会とする。

## ④ 評価

本研修を通して、「令和の日本型学校教育」の構築に向けた重要な課題となっている「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現と、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の現状を確認した。さらに、教育現場と新たに教師に求められる ICT 活用指導力について共有し、教員養成大学としての、これからの教育活動への意識を高める機会となった。また、教育活動中でのデジタルコンテンツの活用方法の具体的なイメージを持つことができ、今後の教員養成指導時に欠かせない知識を得ることができた。

## 4 昨年度(令和 2 年度)に提案された予定・課題の達成度について

令和 3 年度の「教師教育フォーラム」及び「教職課程 FD・SD 研修会」各 1 回を開催するように計画した。計画通り実施することができ、それぞれの目標も達成することができた。

## 5 今後(令和 4 年度以降)の予定・課題について

「教師教育フォーラム」及び「教職課程 FD・SD 研修会」各 1 回を開催するように計画したい。「教師教育フォーラム」は、引き続き「教職大学院」との共催により、大学全体としての教員養成への取組をふまえた内容で開催を予定している。

なお、独立行政法人教職員支援機構「玉川大学センター」としての研修等についても、今後は FD 活動として報告をしていきたい。

# 先生になろう

## 「理想の先生」への第一歩。

「先生」という存在は、子どもたちにとって大きな存在。  
だからこそ、「どんな先生になりたいか」目標をしっかりと持って、  
大学で「教育」について学ぶ必要があります。

「こんな先生になりたい!」と思った先生が、あなたにとっての理想の先生像。  
大学時代、どこに身を置くかで、その人の教育観は大きく変わります。  
先生になって何がしたいのか、そのためには何が必要なのか。  
そんなことを思い描きながらこの冊子を読みましょう。



# START BOOK

玉川大学「教員養成の玉川」ガイド 2023

## 先生になるには??



先生になりたい!…って思ったけれど  
そもそも先生ってどうしたらなれるのでしょうか??



先生になるためには教員免許状の取得や  
教員採用試験に合格する必要があります。  
まずは先生になるための仕組みを確認して  
みましょう。



### 「教育」を学んで?



教育学部には教員養成系と教育学系の  
2つがあります。同じ教育でも学ぶ内容  
は大きく異なるんですよ。

#### 学校の先生をめざしたい! 教員養成系

教科ごとの知識や指導方法など、実践的に学び、教員免許状の取得をめざします。

#### 教育を学問として学びたい! 教育学系

教育の本質や目的、制度や行政など、大きな観点から教育を理論的・学問的に追究しようとするもので、教育心理学、教育社会学、比較教育学などがあります。



### 先生になるためには 何が必要?



まずは「教員免許状」取得に必要な単位  
を大学で修得し、卒業と同時に教員免許状  
を取得することが最初のステップ!  
さらに、その後に「教員採用試験」に合格  
することが必要です。

ステップ1  
教員免許状<sup>※1</sup>を取得



ステップ2  
教員採用試験<sup>※2</sup>に合格

新任教員としてスタート!

※1 教育職員免許状→略して「教員免許状」といいます。

※2 公立学校教員採用候補者選考試験→略して「教員採用試験」といいます。

# 教員免許状や資格について ポイントを確認しましょう!

## 教員免許状には種類がある

教員免許状はいろいろな種類に分かれています

幼稚園、小学校、中学校、高等学校という学校種ごとに免許状があります。また、小学校は全教科共通ですが、中学校・高等学校は教科ごとに分かれています。さらに、同じ学校種でも「専修」「一種」「二種」の3種類があります(高等学校は「専修」「一種」の2種類)。

〔幼稚園教諭〕専修・一種・二種

〔中学校教諭〕専修・一種・二種

国語・社会・数学・理科・音楽・美術・  
保健体育・技術・家庭・外国語 など

〔小学校教諭〕専修・一種・二種

〔高等学校教諭〕専修・一種

国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・  
工芸・保健体育・情報・農業・工業・外国語 など

## 「専修」「一種」「二種」の違いって?

卒業する課程によって異なります

二種:短大卒 一種:大学卒 専修:大学院修了以上

教員免許状の種類は教員採用試験には影響しません。しかし、二種免許状しか取得していない人は、先生として勤務して数年経つと、一種免許状を取得する必要があります。

## 保育士という免許状はないの?

‘免許状’ではなく‘国家資格’です

大学・短期大学・専門学校などの指定保育士養成施設で必要単位を修得して卒業するか、保育士試験に合格して「保育士資格」を取得する必要があります。玉川大学の教育学部 乳幼児発達学科では4年間のカリキュラムの中で、幼稚園教諭一種免許状と保育士資格の両方が取得できます。

## 保育所と幼稚園って何が違うの?

管轄・対象の年齢・目的が異なります

保 育 所 : 厚生労働省(0歳~就学前:保育)  
幼 稚 園 : 文部科学省(3歳~就学前:幼児教育)  
認定こども園 : 内閣府(文部科学省・厚生労働省)  
[0歳~就学前:幼児教育・保育・子育て支援]

認定こども園は、就学前の教育・保育を一体的に行う、幼稚園と保育所の両方の良さを併せもった施設です。

- 認定こども園の先生になるには、原則として、保育士資格と幼稚園教諭免許状が必要です。

## 義務教育学校と中等教育学校って?

それぞれに導入の背景があります

義務教育学校 : 小学校 + 中学校  
中等教育学校 : 中学校 + 高等学校

義務教育学校は、学校教育上の課題となっている「中1ギャップ」に対応するために制度化されました。中等教育学校は、一つの学校として中高一貫教育を行う学校です。中高一貫教育の形態の一つで、心身の成長や変化の著しい多感な時期において、一人ひとりの能力・適性に応じた教育を進めるために導入されました。

- 義務教育学校の先生になるには、原則として、小学校と中学校の教員免許状が必要です。
- 中等教育学校の先生になるには、原則として、中学校と高等学校の教員免許状が必要です。

## 教員免許状・資格を取るには?

教員免許状・資格を取得できる学校を選ぶこと

取得したい免許状の教職課程のある大学、学部・学科を選ぶ必要があります。玉川大学のように、教育学部に限らず専門学部で学ぶことができる大学もありますので、よく調べてみましょう。



## 教員採用試験ってどんなもの？



先生になるために必要な2つめのステップ。それが教員採用試験です。  
教員免許状は全国共通で使うことができますが、教員として採用されるためには、  
教員採用試験に臨み、合格する必要があります。

教員採用試験の内容を見てみましょう！

### 公立学校の教員採用試験の一例

#### 1次試験

- 一般教養 — 高校生までに学ぶ教科から、一般常識や時事問題まで幅広く出題
- 教職教養 — 大学の教職課程で学ぶ、理論や法律について
- 専門試験 — 先生になった時に担当する教科についての知識・教養  
(小学校の先生は全科、中学校・高等学校の数学の先生は数学 など)

#### 2次試験

- 論作文 — 教育論や、生徒指導などのテーマについて、自分の意見を書く
- 適性検査 — 面接、討論、模擬授業などを行い、教員としての総合的な力が問われる

## CHECK

## 教員採用試験の疑問点を 解消しましょう！

### 公立学校と私立学校の試験に違いはある？

#### 試験の内容や求人タイミングが異なります

私立学校は、欠員補充のために採用される場合が多いため、希望する学校から常に求人があるとは限りません。  
また、独自に試験を実施するため学校によって時期や内容も異なります。

#### 公立学校

全国の都道府県か政令指定都市ごとに実施  
(幼稚園・保育所・認定こども園は市区町村が実施)

#### 私立学校

学校独自に実施  
(主に欠員補充のため、定期的な求人があるとは限らない)

### 試験の難易度は？

#### 地域や学校種によってさまざま

公立学校の教員採用試験は、実は地域や学校種、教科によって合格倍率に大きな差があります。一般的に筆記試験よりも面接試験が難関だと言われています。玉川大学では教師教育リサーチセンター(詳しくはP.9)が学校現場の意見や採用状況、出願傾向を分析しながら、より効果の高い対策講座や個別指導などで先生をめざす学生をサポートしています。



## 先生の仕事って？



先生の仕事は児童・生徒に授業をすることや、担任としてクラスを受け持つイメージが強いのではないのでしょうか。しかし、児童・生徒からは見えないさまざまな仕事があります。その一部を見てみましょう。

### 見える仕事

- | 朝の会・帰りの会
- | ホームルーム
- | クラブ活動の指導
- | 遠足・合宿などの引率
- | 授業
- | 生徒指導
- など

### 見えない仕事

- | 授業の準備・教材研究
- | テストの採点・学習評価
- | 指導計画の作成
- | 学校行事の計画や準備
- | 職員会議・研修会
- | 保護者の教育相談対応
- | 地域との連携
- | 校務分掌(学校の業務の分担) など



## 教職課程ってどんな勉強をする？



教職課程とは、先生になるために必要な資質・能力を身に付けるための授業科目の総称です。入学した学部・学科の勉強に加えて、先生をめざす人は希望を出して、それらの科目を修得します。

教職課程の内容を見てみましょう！

例：小学校の先生になる場合

### 教科及び教科の指導法に関する科目

国語、社会、算数、理科、生活、  
音楽、図工、家庭、体育、外国語(英語)  
各教科の指導法

### 大学が独自に設定する科目

全人教育論、教育学概論、教育インターンシップ など

### その他の科目 (免許法施行規則第66条の6に定める科目)

日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、  
数理、データ活用及び人工知能に関する科目、  
情報機器の操作 など

### 教育の基礎的理解に関する科目等

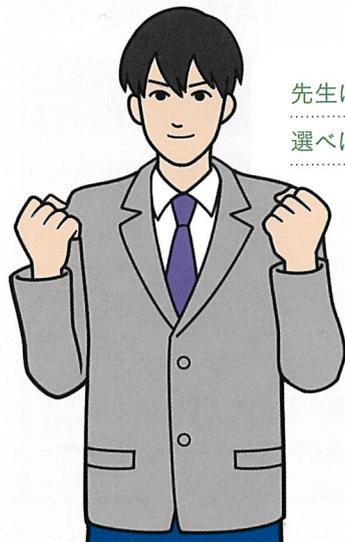
教職概論、教育原理、学習・発達論、特別支援教育、  
教育課程編成論、生徒・進路指導、  
教育相談、教育実習、教職実践演習 など

### 介護等の体験

特別支援学校や社会福祉施設での体験

## 玉川大学で先生になろう

### 教員養成の玉川



先生になるにはどのように進学先を  
選べばいいのでしょうか？

玉川大学では教職課程や試験を突破するための  
サポート体制をしっかり準備していますよ。  
「先生になる!」という夢と一緒に実現しましょう!



## 01 子どもたちに学びの魅力を 伝えられる先生になりたい!

### 専門学部で学ぶメリット

玉川大学では、教育学部の他にも、各学部で「国語」「数学」「理科」「音楽」「美術」「英語」など各教科の大切さ、面白さを自分自身で深く体感することで、それらを子どもたちにリアルに伝えられる先生をめざせるカリキュラムが組まれています。学科専門科目と教職に関する科目を両立することにより、「教育のプロフェッショナル」をめざすことができます。

実際に玉川大学で学ぶ学生の声をチェック ———▶ P.13

### 「教員養成」を行う専門学部・学科

- ・文学部 英語教育学科 英語教員養成コース  
国語教育学科 国語教員養成コース
- ・芸術学部 音楽学科 音楽教育コース  
アート・デザイン学科 美術教育コース
- ・農学部 生産農学科 理科教員養成プログラム
- ・工学部 数学教員養成プログラム

### CHECK

## 先生をめざす人に 玉川大学を勧める理由とは？

### 教職課程を受講しても負担が少なく、深く学べるから

玉川大学では、CAP制を採用し、履修登録の上限単位を半年間で16単位としています。そのため、ただ教員免許状を取得するためだけでなく、一つひとつの科目を深く学び、使える知識を修得したり、より多くの教育現場を体験したりすることができます。



所属学科の専攻科目に加えて教職科目を履修。全体で多くの単位を修得しなければいけません。



玉川大学の場合、卒業に必要な124単位の中で、免許状を取得するための学修ができます。



## 総合大学で先生をめざす意味は？



さまざまな学部にも所属する多くの学生が集まるワンキャンパスの玉川大学だからこそ、たくさんの刺激を受けて豊かな人間性を身に付けた先生をめざせます。

### さまざまな夢をもつ学生が集まる総合大学

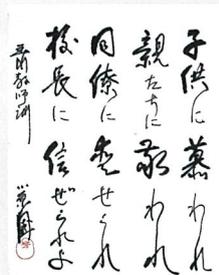
玉川大学では、文系学部・理系学部、合わせて8学部17学科の学生が、4年間、ワンキャンパスで学んでいます。同じ夢をもつ学生同士だけでなく、さまざまな目標をもつ仲間、さらには全国から集まる仲間と過ごすことで、さまざまな価値観を知り、刺激を受け、人間としての幅を広げることができるでしょう。



## 「先生」をめざす自分、「人」としての自分、どちらも成長したい！

### 玉川大学の教育理念 「人」を育てる

「教育は人なり」と言われ、教育は教員一人ひとりの力に負うところが大きいとされています。教員として重要なのは、子どもたちの模範となるような人間性。教育者だった創立者・小原國芳は、理想とする「ゆめの学校」を実現するために玉川学園を創設し、豊かな人間性と人格を育む「全人教育」を教育理念として独自の教育を始めました。玉川大学では、その理念のもと創立から現在まで、人間的にも優れた教員を全国の教育現場に送り出し続けています。



玉川教師訓

### 玉川教師訓

「子供に慕われ、親たちに敬われ、同僚に愛せられ、校長に信ぜられよ」。人間的にも優れ、周囲の人からも人望の厚い先生になってほしいという願いが込められています。



### 一画多い夢

「大きな夢をもってほしい」「一つでも多くの夢をもってほしい」という願いが込められています。

## 02 教育現場をいち早く体験したい!

### 参観実習 実施期間:1日

1年次に実施される参観実習は、幼稚園や小学校、中学校、高等学校などで実際の授業を参観するプログラムで、教職課程の土台となる実習です。入学後すぐに教育の現場に触れることで、教育という仕事に従事するためには大学で具体的に何を学ぶべきか、課題が明確になる機会でもあります。

### 「自分が教員になった時」をより明確に意識して学べるように

参観実習は、現在の教育がどのように進められているか、実際に見ることができる貴重な体験でした。各自がタブレットを用いて授業を受けていることを知り、また、討論する形式が多く用いられていることから生徒自身が授業を作っていると感じました。討論形式の利点だけでなく、抱えている課題についても教えていただき、大きな学びになりました。参観実習を通して「生徒の考えを引き出すことのできる教員になりたい」と思い、生徒が主体的に学ぶための授業展開や関係性の構築など、明確な目標をもって学修しています。

文学部 国語教育学科  
国語教員養成コース 2年

服部 凌吾さん

神奈川県 山手学院高等学校 出身

#### 1日のスケジュール

##### 中学校

- 9:00 学校到着  
校長先生から学校についての講話
- 2時間目の授業を見学  
(中学1年生・国語、中学3年生・国語)
- 3時間目の授業を見学  
(中学2年生・国語、中学1年生・英語)
- 4時間目の授業を見学  
(中学3年生・数学、中学2年生・国語)

## CHECK

## キャンパス内に教育の現場が存在します!

### 幼稚園・小学校・中学校・高等学校があるキャンパス

玉川大学のあるキャンパスには、幼稚部、小学部、中学部、高等部が併設されており、教育インターンシップの受け入れ先になっているだけでなく、日頃から子どもたちの様子を間近で感じることができる環境があるのも魅力のひとつです。

玉川学園は、子どもたちの心と身体の発達段階を踏まえ、幼稚部(年少～年長)、小学1～5年生、6～8年生(中学2年生)、9～12年生(中学3年生～高校3年生)という枠組みで教育活動を行っています。



幼稚園園舎 <年少～年長>



K-12 経塚校舎 <1～5年生>



K-12 東山校舎 <6～8年生>



K-12 中央校舎 <9～12年生>

# 子どもとたくさん触れ合いたい!

## 教育インターンシップ 実施期間: 学部により異なる

併設校である玉川学園や大学近隣の学校、幼稚園や保育所などで教育活動を体験するプログラム。教育実習より前に多くの経験を積めるだけでなく、各学生の体験談や疑問点などを共有し、多くの事例を知ることのできる機会です。教育学部の場合、1年次後期から始まり、週1日・約半年間、体験します。

### 個性を理解した保育者に。 「保幼小連携」も学びたい

「子どものことを知りたい!」と、幼稚園でのインターンシップに参加。一つの遊びでもそれぞれの想いがあったり、違う遊び方をしたりする姿を見て、改めて子どもの世界の面白さを実感しました。3年次では、遊ぶだけではない「保育者」としての関わり方を学ぶため保育所でのインターンシップへ。小学校か幼稚園で迷っていた進路でしたが、現在は幼稚園・小学校の免許状に加え、統一の国家試験で保育士資格も取得中です。卒業研究では「保幼小連携」について取り組もうと考えており、幅広い年齢の子どもたちに対してより適切な教育ができるよう、これからも学び続けます。

#### 1日のスケジュール

幼稚園 1年次 秋学期	保育所(0-2歳児クラス) 3年次 春学期
○ 出勤(8:20)	○ 出勤(9:00)
○ 園庭・保育室の準備(掃除など)	○ 子どもと触れ合う コーナー遊び 散歩、沐浴介助など
○ 園児登園・自由遊び	○ 昼食(給食)
○ 昼食(弁当)	○ 午睡補助
○ 自由遊び・クラス活動	○ 休憩
○ 園児降園	○ 自由遊び
○ 掃除	○ 退勤(17:00)
○ 退勤(15:00)	

教育学部 教育学科  
初等教育専攻 4年

若林 あかねさん  
神奈川県立大和西高等学校 出身



## 教育現場を体験するプログラム

教員免許状の取得にあたり必修の「教育実習」は、大学4年次で実施されることが一般的ですが、玉川大学では1年次から教育現場を体験する機会を豊富に用意しています。「参観実習」や「教育インターンシップ」では、“教える立場”で参加することにより、大学の授業で学ぶ理論が実際の教育現場でどういきるのか、身をもって知ることができます。また、「教育ボランティア」の紹介も行っており、たくさんの現場経験を積みながら、先生に必要な力を身に付けることができます。

## 1年次から教育の現場に行く理由

### Aさんの場合

教育学を学び始めてすぐに実際の現場を見ることで、必要になるスキルや知識を早い段階で確認できます。今の自分に足りないもの、伸ばしたいことを知り、具体的な目標を設定して授業に臨めるようになりますよ。



### Bさんの場合

将来働くことになる環境を実際に見たことで、自分に向いているのか向いていないのかを体感することができました。早い段階で本当に教師という仕事が自分に向いているのかを考える機会にもなるので、進路の再考もできますね。



# 03 4年間を通して 夢の実現をサポートしてほしい。

玉川大学はこれまで質の高い教員・保育士を数多く輩出してきました。  
社会から「教員養成の玉川」と呼ばれる実績をいかして4年間をフルサポート。  
独自の教育体制とプログラムで夢の実現を手助けします！

## 教師教育リサーチセンター 先生になりたい学生をフルサポート

「教師教育リサーチセンター」は「先生」になりたい学生の教育現場体験、就職をサポートしています。1年次から先生になるためのさまざまなプログラムが用意されています。

### CHECK

## こんなサポートがあります！

### 教育現場のプロが指導

小・中学校の元校長、元幼稚園・保育所長の経験豊かな教員(約30名)が支援にあたっています。面接や論作文の個別指導、模擬授業対策など、採用をする側の視点による指導を受けられます。また、教科の学習指導や学級経営などさまざまな疑問についてアドバイスを受けることもできます。



### 1年次から豊富なサポート

まだ将来に迷いのある1年次から教職課程はスタートします。だからこそ、初年度から安心のサポートと豊富なプログラムがあることで学生の不安を取り除きます。

参観実習

教育  
インターンシップ

教育  
ボランティア

教職課程  
受講者向け  
ガイダンス

### 教員採用試験対策

#### ● 教職講座

卒業生を招いての採用試験の概要解説や、傾向と対策、面接や論作文の個別指導、模擬授業指導といった2次試験対策が行われています。教職サポートルームの教員が自治体別にサポートします。

#### ● 各自治体の調査・分析に基づいた対策

教員採用試験の内容は受験する自治体により異なります。その分析結果に基づいた指導を受けられるのが強みです。

#### ● 教員・保育士採用試験対策模擬試験

自分の実力を試すため、採用試験の雰囲気慣れるため、年に数回学内で実施。模擬試験後には「模試結果解説・学修スタートガイダンス」も開催されるため、今後の課題が明確になります。

#### ● 自主学修会

受験地や教科ごとに組織された学生の自主学修会。教員・保育士をめざす仲間同士で、受験準備を通しての成果の発表、取り組みの相談、情報交換を行い、お互いを高め合います。

#### ● 教員採用等学内説明会

3年次には、教育委員会の担当者を招いた説明会を実施。各地域の特徴や望まれる教師像についての指導、採用試験や教師塾の説明をしていただきます。大学にいながらにして、複数の地域の話を直接聞き、比較・検討することができる貴重な機会です。

## 勉強に集中できる充実の施設

### ● 模擬授業室

黒板と椅子・机など、学校の‘教室’が再現されています。



### ● 教職サポートルーム (自主学習室)

教科書や指導書などの教材、各自治体(全国)の教員採用試験の参考書や過去問題集を自由に閲覧できます。



### ● ピアノの練習室

ピアノの練習室が、University Concert Hall 2016にあります。予約制、有料(50分100円)で、平常授業日は8時30分～21時まで利用可能です(音楽学科の学生は、1セメスター50分×50回まで無料)。また、より教育現場に必要な実践力を身に付けたいという3・4年生を対象に、レベルに合わせた対策講座を行っています(有料)。



## 教職課程で学ぶには、学費以外に費用がかかるの？

### ● 教職のための費用(2021年度参考)

幼稚園・小学校／中学校・高等学校の場合、約13万円です。(補足:教職課程受講料:117,800円、免許状の申請に関する経費:1件あたり4,700円) 別途、文学部・芸術学部・農学部・工学部で中学校・高等学校の免許状に加え、小学校二種免許状を取得する場合は約11万円、教育学部で小学校の免許状に加え、中学校二種免許状(英語)を取得する場合は約8万円が必要です。

## VOICE 利用した先輩の声

### 現場経験のある先生方の親身なアドバイス

教育実習の前や教員採用試験前の不安な時期に、教職に関するお話を現場経験のある先生から詳しく聞けることが、支えになりました。親身に話を聞いていただいたり、専門教科ごとの先生を直接訪ねて授業づくりの助言をいただいたり。また、教科書や教師用指導書、各自治体の過去問が揃い、教職に特化した場所なので、毎日のように通っていました。

### 質の高い論作文講座

大学2年生の頃から「論作文講座」を受け、定期的に論作文を書く機会を設けたことで、少しずつ書けるようになりました。この講座がなければ試験直前にバタバタしていたと感じます。書いて終わりではなく、サポートルームの先生が個別に添削指導してくださり、書き直した論作文も見えていただけるので、何に気をつけて書けばよいのか、回数を重ねるごとにコツを掴むことができました。

東京都立小学校 教員採用試験合格

小山内 佐和さん

教育学部 教育学科  
初等教育専攻 2022年3月卒業  
(宮城県宮城第一高等学校 出身)



### 「理論は大切に、でも、縛られず」 「現実と向き合い、でも、理想は高く」

「迷った時こそ困難な道を選ぶ、その勇気こそ道を拓くよ。」というアドバイスが心に残っています。そしてその困難な道のを応援してくれる存在として教師教育リサーチセンターの先生方がいつも寄り添ってくださったからこそ、大学4年間でいろんなことにチャレンジしてこられたと実感しています。学び続ける、学びを楽しむ姿勢はこれからの教師人生でも大切にし、学ぶことの楽しさを子どもたちに伝えていきたいです。そして、焦らずゆっくり、自分なりの教育を見つけていきたいと思います。私は玉川大学で「先生になる」夢を掴めたことに大きな誇りをもっています。玉川大学には素敵な学びや出会いが待っていますよ。

／まだまだあります／



# 「教員養成の玉川」 ならではの強み



## 大学推薦制度

教員採用試験の1次試験が免除(もしくは一部免除)される制度。2020年度は小学校・中学校・高等学校合計で37名(全学部・大学院)が大学推薦制度を利用しました。

### 2021年度 玉川大学で得た枠

#### <小学校枠のみ>

東京都、埼玉県、さいたま市、茨城県、長野県

#### <小・中学校、高等学校枠>

神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、千葉県、千葉市、山形県、浜松市、堺市、京都府、神戸市など

\*上記は2021年5月1日現在。各自治体により詳細の推薦要件あり。

## 大学院・専攻科

大学での実践的な4年間の学びを通して身に付けた力をさらに深め、能力を磨くための場所として大学院・専攻科が用意されています。めまぐるしく変わる世界の中で、教員の仕事も子どもたちに知識を教えることに加え、高学歴化した保護者や地域コミュニティなどからの要求に応えることまで拡大しています。そこで大学院・専攻科では、問題意識をもち、高度な専門的能力および優れた資質を有する、教育現場で求められる教員の育成をめざします。また、取得希望免許状の基礎となる一種免許状を有していることを原則として、専修免許状を取得することも可能です。

研究科

文学研究科 教育学研究科  
農学研究科 教職大学院  
工学研究科

専攻科

芸術専攻科



## 通信教育

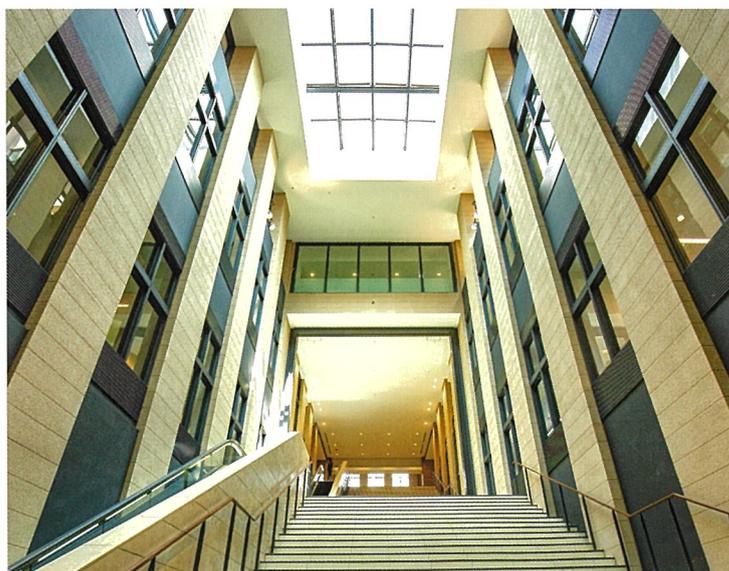
玉川大学の通信教育は、1950年に開設されて以来、学校教育において活躍できる人材を輩出してきました。幼稚園、小学校、中学校・高等学校教員といった教員養成はもちろんのこと、図書館司書、学芸員、社会教育主事(社会教育士)などの養成もあわせて行っています。高等学校を卒業すれば、誰でも通信教育課程で学ぶことができます。

## 教師塾

各自治体の教育方針に沿った教員養成をめざし、主に小学校教員希望者を対象に研修などを年間を通じて行います。修了者の教員採用試験は1次試験の実質免除、もしくは一部科目の免除となる(特別選考枠として試験が課せられる)制度です。

入塾するには、大学推薦型と公募型があり、東京教師養成塾には、玉川大学に25名の大学推薦枠がある他、自治体によっては高倍率となる公募型の教師塾(神奈川県、横浜市、相模原市、千葉県、千葉市等)でも多くの玉川大学生や卒業生が入塾しています。

\*各自治体により名称・参加条件が異なる。



採用実績のある  
大学で学びたい!



# 教員採用試験には どのくらい合格しているの?



## 抜群の教員採用実績

玉川大学から多くの学生が毎年全国で教員採用試験を突破し、新たに先生としての一步を踏み出しています。全国の教育機関で多くの玉川大学卒業生が同志として働いていることも心強いポイントです。みなさんが「先生」となってからも、先輩や上司として大きな力となってくれるでしょう。

### 抜群の教員採用実績

※2021年5月時点

教員・保育士等 就職希望者の就職率

**92.4%** ※非常勤含む

〈参考〉国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)の教員就職率64.4%  
(文部科学省HPより2020年3月卒業者の実績)

小学校教員 採用数

**186名** 全国8位  
関東私立2位

中学校教員 採用数

**57名** 全国6位  
私立6位

幼稚園教員 採用数

**28名** 関東私立8位

保育士 採用数

**46名**

朝日新聞出版「大学ランキング」2022年版より

### 教員養成の玉川

※2021年3月時点

全国で教員や保育士として活躍する卒業生。この実績は、「教員養成の玉川」として高く評価されています。

玉川出身の教員・保育士

**5,109名**

特別支援・各種学校

**3.3%**

幼稚園・保育所

**25.4%**

大学・短大・高専

**8.4%**



小学校 **41.1%**

中学校 **13.3%**

高等学校 **8.5%**

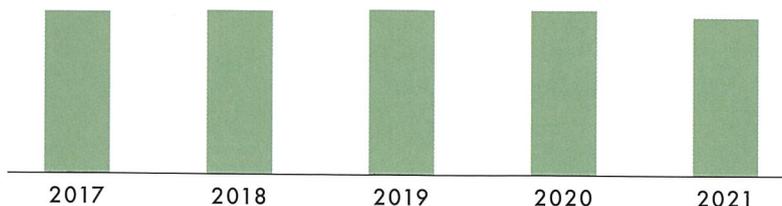
## 教職課程で学んだら、先生になる以外の就職はできないの?

教育を学ぶことで身に付くことは、コミュニケーション能力や主体性、向上心の高さなど、他の仕事にもいかせるものばかり。人に教える、人を育てるためのスキル、考え方は次世代のリーダーに必要になってきます。また、企業・公務員への就職をめざす学生のサポートは「キャリアセンター」で受けられます。教育の分野に限らず、さまざまな業種の求人があるのも、総合大学の強みです。

### 安定の就職決定率

※2021年3月時点

**97.5%** **97.9%** **98.9%** **98.6%** **96.3%**



就職決定率

玉川大学独自のキャリアサポートの成果は、全学部の高い就職決定率(就職決定者÷就職希望者)に表れています。

## 玉川大学の先輩の声

玉川大学で先生をめざす、学生の声をピックアップ



私と同じような理由で大学に入った人も  
いるのかなあ。



実際に学んでいる先輩たちは  
どんなことを考えているんだろう。

### VOICE 専門学部で学ぶ先輩たち

#### 海外留学と教職課程を両立できるカリキュラムが魅力

英会話を習っていたので、英語教育を研究し、子どもたちに英語の楽しさを伝えたいと考えていました。英語教員養成コースは海外留学を必修としながら教職課程を受講することができるため、両方のバランスをとりながら学びを深められる点に魅力を感じました。アイルランドの大学のオンライン授業では、英語を学ぶ学生と日本語を学ぶ現地の学生がペアとなって学びを深める「パディシステム」というユニークな取り組みが印象深いです。ゼミでは英語を母語としない日本人が英語を学ぶ際、どのように学ぶことがベストかを、教える立場になる者として真剣に研究しています。異文化理解に関する授業も多く、人間的にも成長できた面も、将来教員として大切にしたいです。

渡會 剛士さん 文学部 英語教育学科 英語教員養成コース 4年 / 北海道 市立函館高等学校 出身



英語



国語

佐藤 伯洋さん 文学部 国語教育学科 国語教員養成コース 2年 / 福島県立磐城高等学校 出身

#### 「教員養成の玉川」で、国語教員の力を身に付けたい

子どもの時から、日本語を読むことが好きで国語教員になることが夢でした。玉川大学は「教員養成の玉川」として知られており、国語教員としても高い専門性を身に付けられると感じ入学しました。「言語表現入門」という授業では、画像や文章を分析して、意見交換することを通じ、異なる着眼点や考え方を知り、視野が広がりました。「参観実習」も控えており、生徒一人ひとりへの対応など、実践的な知識や技術を学びたいです。専門的な科目に加え、「教育」そのものについても深く学べたことで、そこに新たな興味が生まれました。そのため、現在は教育者に必要な知識、教養を身に付けるために哲学やデザイン、経済など、さまざまな分野の本を読んでいます。

## 音楽の楽しさを、たくさんの子どもたちに伝えたい

音楽の楽しさを子どもたちに伝えたいと思い、音楽教育に興味をもちました。玉川大学はレッスン室が充実しており、教員採用試験に向けたサポートも手厚いので入学しました。ピアノや声楽に加え、教職科目の中でも「和楽器指導法」で成長を感じました。これまで日本音楽に触れてこなかった私でも、先生の工夫を凝らした授業により、楽しみながら積極的に取り組みました。指導方法の工夫次第で新しい分野でも、興味をもち得ることを知り、将来、指導する立場になった時にいかしたいと思いました。自分の技能を高め、音楽の楽しさを伝えられるようになるためにも、音楽レッスンの資格を取得するなどさまざまな場所で音楽に触れられるように努めています。



音楽

小倉 あかりさん 芸術学部 音楽学科 音楽教育コース 2年 / 福島県立白河高等学校 出身



美術  
工芸

望月 杏香さん

## 子どもの想いを大切にする、美術教員になりたい

中学校の美術の授業で描いた作品を先生や友達に褒められ、美術が本格的に好きになりました。また、「教育」にも興味をもち始めていたことから、その両者を学べる玉川大学へ進学しました。今はデザインを専攻していますが、絵画や彫刻、工芸など、それまで触れたことがなかった分野にも触れることができ、新たに興味が湧く機会が多くあったことも貴重な経験です。実習先の美術の授業では「直方体の木材で卵を作る」という課題に取り組みました。「ただ創るだけではなく、なぜそう創ったか」という意味や想いを考えながら制作してもらうことで、生徒たちも積極的に授業に臨んでくれました。教育実習を終えて、教員という職業への憧れを再認識しました。

芸術学部 芸術教育学科 美術・工芸コース 4年 / 長野県須坂高等学校 出身  
(現:アート・デザイン学科 美術教育コース)

## 理科に強い小学校の先生をめざしたい

生き物や自然が好きだったことから、子どもたちに理科の楽しさを伝えられる教員になりたいと思いました。ダブル免許プログラムの利用で、中高の教員免許状に加え小学校の免許状を取得でき、理科に強い小学校の教員をめざせることも魅力でした。学内には同じ目標をもつ仲間が多いため、学修の方法などを話し合い、時に励まし合えます。私が大きく成長できる機会になったのが「教育インターンシップ」。週に一度、小学校で支援員として授業のサポートをしており、座学だけでは分からない教育の現場を体験できています。実際に児童と関わり、指導方法を工夫する経験を通して、自分がどのような指導をしたいのか、教員像を具体的にイメージできるようになりました。



理科

黒田 樹さん 農学部 生産農学科 理科教員養成プログラム 4年 / 東京都 国立音楽大学附属高等学校 出身



数学

島袋 桃花さん

## 一人ひとりに寄り添う数学教員をめざして

高校生の時に数学の恩師と出会い、問題を解くことの楽しさを知り、数学教員を志しました。玉川大学は工学部の中に数学教員養成プログラムがあるため、教職科目だけではなく、プログラミングなどの専門知識を学べる点も入学の決め手になりました。ゼミの「数学研究室」では、数学の心理学、数学不安について研究しています。数学の奥深さや面白さを自分自身が感じ理解することで、生徒の数学に対する不安や苦手意識を取り除く指導ができるようになります。自分が理解したことを他の人に伝える難しさも知ることができました。今は教育ボランティアなどに積極的に参加し、経験を積むことで、一人ひとりに合わせた指導ができる数学の教員をめざしています。

工学部 マネジメントサイエンス学科 数学教員養成プログラム 4年 / 沖縄県 興南高等学校 出身

新宅 桃子さん 教育学部 教育学科 初等教育専攻 3年 / 北海道 北海高等学校 出身

小学校

## ひとりの人間として成長できる場所

私は小学生の頃から、先生の、児童を守る姿勢や、すべてを包み込む大きな優しさに惹かれていました。そして、いつか自分も当時の担任の先生のような小学校の先生をめざしたいと考えるようになりました。玉川大学は教育現場での実践的な学びが充実していること、1年次から始まる教職講座や定期的な模擬試験などの手厚いサポートがあることも魅力でした。そして何より、「全人教育」の理念のもと、学生の豊かな人格教育にも力を入れています。そのため、教員としての成長はもちろん、ひとりの人間として自己を成長させることができる大学であると考え、進学しました。



## 「児童心理」を総合的に学ぶ 時代に対応するICT教育も

私は児童の心理理解に力を入れたいと考えているため、「教育心理学」や「発達心理学」などを中心に履修しています。「児童心理」を総合的に学ぶことにより、児童の心理をいかした接し方や教育現場での効果的な活用法を模索し、実践できるようになりたいです。また、時代に対応するべく、プログラミングについても学び、ICT教育の基礎を修得することができました。今後も変化する教育に常に対応できる教員をめざします。

## 集団の中でも一人ひとりと 向き合えるように

現在アルバイトで個別塾の講師として小学生の指導を行っています。できないことができるようになった時の児童の笑顔がやりがいを感じる瞬間です。児童が心を開いてくれるような会話や雰囲気づくりに向けて日々試行錯誤しています。今後は集団授業にも挑戦したいです。集団授業は将来自身が教壇に立った姿そのもの。一人ひとりと向き合い尊重する姿勢を、学級という組織の中でもいかにしていけるようになりたいと考えています。

幼稚園  
保育士

西野 唯実さん 教育学部 乳幼児発達学科 4年 / 神奈川県立平塚中等教育学校 出身



## 保育に向き合うための場所

高校生の頃に参加した保育実習を通して、日々成長する子どもたちと関わる仕事のやりがいや楽しさを知り、保育に興味をもちました。玉川大学では幼稚園教諭の免許状と保育士資格の両方を取得でき、1年次から現場を体験できる参観実習やインターンシップがあります。子どもと4年間じっくり関わる機会がたくさん用意され、子どもの想いを尊重し寄り添うことを大切にされている先生方が多くいらっしゃることも魅力です。また、ラーニング・コモンズや食堂など友達と一緒に勉強できる場所や個人学修室もあり、学修方法に合わせて利用できる施設が充実しています。

## 子どもの気持ちになって 保育を考える

ゼミでは子どもの保健について学んでおり、オムツ替えや沐浴、アレルギー対応のお菓子作り、アナフィラキシーショックの対処といった演習を行っています。印象に残っている授業は、教授が私たちに絵本の読み聞かせをされたり、泥団子を作ったり、さまざまな遊びを通して子どもの頃を思い出し、理解する学修です。「子どもの気持ちになる」ことの重要性を体感し、子どもの気持ちに寄り添った保育を考えられるようになりました。

## 子どもの想いや笑顔を 大切にできる保育者に

今は日頃の課題以外にも、教材研究や、図書館や書店でたくさん絵本に触れる機会を増やしています。また、ゼミや実習を通して、栄養バランスへの興味が強くなったので、食育の学びも深めたいと考えています。将来はより子どもに寄り添った保育を目標に、大人になると忘れてしまう、子どもがどのようなことに興味をもち、遊びのどういったところに魅力を感じていたのかを理解できるようになりたいと思います。



# 卒業生の声

玉川大学を卒業し、実際に教育の現場で働く  
卒業生に大学時代を振り返っていただきました。



アルウィン学園保育センター こどもの木かげ 玉成幼稚園

伊藤 風香さん 教育学部 乳幼児発達学科 2019年卒業

## 「あそび」を大切にすることで 子どもたちのために!というゴールをめざす

幼稚園

現在、年中組の担任として日々子どもたちと過ごしています。思い切り園庭で体を動かしたり、積み木やブロックを使用して、子どもたちの頭の中で描かれているイメージを一緒に形にしたり、毎日洋服が泥んこになるまで遊んでいます。大学時代、ゼミの仲間との出会いが私の世界を広げました。発展途上国に行き現地の子どもたちと過ごす人、ダンスや歌を大勢の前で披露する人、子育て中の人などから、思いもよらない考えを聞き、衝撃を受けたとともに私の考えを柔軟にしてくれました。劇を作る活動では、子どもたちに喜んでほしい、子どもたちの笑顔が見たいという一つの目標に対して、皆で同じ方向を向くことの難しさと大切さを学びました。その経験があるからこそ、園でも多くの意見に耳を傾け、自分の意見も伝えながら、子どもたちのために!というゴールに向かって進めているのだと思います。遊びの中で、私が「あ!ここに穴を開けたらどう?」とスパイスを加えることがあります。子どもたちの表情が明るくなり、遊びがどんどん楽しいものに広がっていく様子を見ると、私も子どもの世界に入ることを認められたような気持ちになり、心躍ります。子どもの移り変わる気持ちや表情に気づき、寄り添うことのできる保育者に成長していきたいです。

社会福祉法人 東香会 しぜんの国保育園

柳澤 祐希さん 教育学部 乳幼児発達学科 2017年卒業

## 「来年も一緒にいたい!」と 言われる保育士に

保育所

子どもたちの「先生」になりたくて高校時代に進路を考えた時、一番記憶に残っている先生を思い返してみました。それが「私のもうひとりのお母さんである保育園の先生」でした。その先生のような保育士になりたくて、基礎からじっくり知識を身に付けられる4年制大学の中から進学先を探しました。最終的に玉川大学を選んだ理由は、「教員養成の玉川」と言われる、教育者を輩出する大学としての教育体制です。知識・経験ともに豊富な先生方に囲まれ、教育学部での4年間は本当に充実していました。テレビの教育番組にも出演されている大豆生田先生のゼミに所属し、いろんな保育園を研究することもできました。芸術活動も活発な保育園を調査研究したところ、その保育園のことがとても好きになり、「絵を描きたいと思う気持ちはどうやって生まれるのか」をテーマに卒業論文も書かせていただきました。その保育園が現在の就職先です。知識豊富で現場のことをよくご存じの先生方が、「教える方法」だけでなく、「自ら学ぶ方法」をたくさん教えてくださいました。そんな玉川大学の教育は卒業後の私に染み付いていて、今でも常に学び続けています。



※ 所属は取材時

深澤 隆史さん 教育学部 教育学科 2019年卒業

小学校

## 臨機応変に児童たちに 対応できる教員が理想です

教員となって1年目で、2年生を受けもちました。授業中でもさまざまなことに興味を示す、好奇心旺盛な児童たち。楽しく、集中して授業に臨んでもらうために、算数の九九をカルタ形式にしてみたりと、指導法にも自分なりの工夫を凝らしています。指導スタイルは経験を積み重ねて固まってくるものですが、毎年顔ぶれが変わる児童たちに臨機応変に対応できるように、多くの引き出しをもった教員になりたいと思っています。

参観実習や模擬授業など多くの実習を経験できる大学だったので、ゼミではあえて教育哲学を選択。ゼミで多くの文献を読みながら仲間と語り合った日々は何ものにも代えがたい思い出であり、コスモス祭でのゼミ発表では学部賞も受賞しました。指導のスキルに加え、「教育とは何か」といった部分から学ぶことができたと思います。また、社会に広く目を向け、学外で幅広く活動する同級生が多く、刺激を受けた私も小学校でのボランティアや、シンポジウムへの参加など、積極的に活動していました。教育環境研究部の活動では研究長として地方の小学校へ視察に行き、学習支援も経験。学生生活のすべてで教育に関わることができ、それが現在の自分の基礎になっています。これからもさまざまな研究会に参加して知識を吸収し、成長していきたいと思っています。



庄司 快さん 文学部 国語教育学科 国語教員養成コース 2021年卒業

中学校

## 多様な視点で現代社会の諸問題を 考える力を養った

現在は、学級担任と国語の授業、野球部の顧問などを受けもっています。生徒と接する際には、一人ひとりの環境や文化、考え方に対して、寄り添う意識を大切にしています。大学では、異文化や倫理など、現代社会の諸問題を考える講義が多くありました。自身の常識や感覚を見つめ直し、社会や他者との関わり方を多様な視点で考える対応力が身に付きました。生徒に自分の思いを伝えることは想像以上に難しいですが、生徒のことを心から思い、粘り強く働きかけることを意識しています。私の言葉が生徒の心に響いたと感じられる瞬間はとてうれしいです。今後も日々努力し、生徒と共に成長し続けたいです。



齋藤 圭さん 工学部 マネジメントサイエンス学科 卒業

高等  
学校

## 一人ひとり違う生徒に 自分の経験から寄り添いたい

現在、数学教員として、学級担任、進路指導も担当しており、充実感をもって日々生徒たちと過ごしています。生徒が学校生活を楽しいと言ってくれる笑顔、想いを共有できた時にやりがいを感じます。大学では、教員としてどうあるべきかという姿勢を学べました。グループ学修が多く、一緒に指導案を考えたり、模擬授業をしてアドバイスをし合ったり…「教員になりたい」という同じ志をもつ多くの仲間と出会えたことが、玉川大学に進学して良かったと思える一番の理由です。今、高校生に進路指導をする上で、「大学は、自分と同じ興味や関心、夢や目標をもった人と一緒に勉強できる場所だよ」ということを必ず伝えていきます。



# さあ! 先生になろう!

先生になるための  
仕組みや大切なことは  
これで理解できました!

玉川大学で教員を  
めざすのが夢への近道  
なのかもしれません!



今回、先生になることや教育に  
ついてを学んだことで、より明確に  
「先生になる」自分をイメージできる  
ようになったと思います!  
今の自分の気持ちを忘れないよう  
に、メモに残しましょう。あとで振り  
返った時に、自分の将来を考える  
ヒントになりますよ!

Think **1** 先生になりたいと思った時期ときっかけを  
思い返してみましょう。

小学校の担任の先生に憧れたのが  
きっかけだったな。



Think **2** 今の自分がめざす先生像をイメージ  
してみましょう。

体育の先生が厳しかったけど熱い先生で  
好きだったなあ。



Think **3** 先生になるために今の自分が取り組むべき  
ことを考えてみましょう。

「教える」ために必要な語彙力は  
今から鍛えておかなきゃ!



Think **4** 理想の大学生活の一日の流れを  
考えてみましょう。

(授業やゼミ、教職課程などの学修面とサークルやアルバイトなどの私生活面)

授業はもちろん大事だけど、  
自分の世界を広げる時間も大切だね。



Think **5** 玉川大学で教育を学ぶ意味やメリットを  
考えて、他大学と比較してみましょう。

比較することで自分に合っている  
かどうかわかるからね。



## 先生をめざす人のための入試制度があります

### 首都圏教員養成総合型入学審査

- 教員志望で東京・神奈川・千葉・埼玉の  
学校出身者対象!
- 現役生のみ
- 第一志望(専願)
- 書類審査(エッセイ、資格・検定取得記入書、  
志願者評価書、調査書)と面接試験



WEBサイトは  
こちら

### 地域創生教員養成入学試験(一般選抜)

- 教員志望で東京・神奈川・千葉・埼玉以外の  
学校出身者対象!
- 本選抜制度で入学し、教員免許状を取得したのちに地元  
で教員に採用または名簿登載された学生には、卒業時  
に地域創生奨励賞として奨励金30万円が授与される!
- 2科目受験
- 本学試験場のほか学外15会場で受験可能!



WEBサイトは  
こちら

# 玉川大学で取得可能な教育職員免許状

## 教育学部 教育学科 初等教育専攻

- 小学校一種 + 幼稚園一種
- 小学校一種 + 中学校二種(美術)<sup>※</sup>
- 小学校一種 + 中学校二種(国語)<sup>※</sup>
- 小学校一種 + 中学校二種(保健体育)
- 小学校一種 + 中学校二種(社会)
- 小学校一種 + 中学校二種(技術)<sup>※</sup>\*2
- 小学校一種 + 中学校二種(数学)<sup>※</sup>
- 小学校一種 + 中学校二種(英語)<sup>※</sup>
- 小学校一種 + 中学校二種(理科)<sup>※</sup>
- 小学校一種 + 高等学校一種(情報)<sup>※</sup>
- 小学校一種 + 中学校二種(音楽)<sup>※</sup>
- 幼稚園一種 + 小学校一種

## 教育学部 教育学科 社会科教育専攻

- 中学校一種(社会) + 高等学校一種(地理歴史) + 高等学校一種(公民)
- 中学校一種(社会) + 高等学校一種(地理歴史) + 小学校二種
- 中学校一種(社会) + 高等学校一種(公民) + 小学校二種

## 教育学部 教育学科 保健体育専攻

- 中学校一種(保健体育) + 高等学校一種(保健体育) + 小学校二種

## 教育学部 乳幼児発達学科

- 幼稚園一種 + 保育士(国家資格)

幼稚園と保育所を一体化して捉える国の流れに対応しています!

## 文学部 英語教育学科 英語教員養成コース

- 中学校一種(英語) + 高等学校一種(英語) + 小学校二種<sup>※</sup>

## 文学部 国語教育学科 国語教員養成コース

- 中学校一種(国語) + 高等学校一種(国語) + 小学校二種<sup>※</sup>

## 芸術学部 音楽学科 音楽教育コース

- 中学校一種(音楽) + 高等学校一種(音楽) + 小学校二種<sup>※</sup>

## 芸術学部 アート・デザイン学科 美術教育コース

- 中学校一種(美術) + 高等学校一種(美術) + 高等学校一種(工芸) + 小学校二種<sup>※</sup>

## 農学部 生産農学科 理科教員養成プログラム

- 中学校一種(理科) + 高等学校一種(理科) + 高等学校一種(農業) + 小学校二種<sup>※</sup>

## 工学部 デザインサイエンス学科<sup>★1</sup>

- 中学校一種(技術)\*2 + 高等学校一種(工業)\*2 + 小学校二種<sup>※</sup>
- 中学校一種(数学)\*2 + 中学校一種(技術)\*2 + 小学校二種<sup>※</sup>
- 中学校一種(数学)\*2 + 高等学校一種(数学)\*2 + 小学校二種<sup>※</sup>

## 工学部 情報通信工学科

- 中学校一種(数学) + 高等学校一種(数学) + 小学校二種<sup>※</sup>

- 高等学校一種(工業)

## 工学部 マネジメントサイエンス学科

- 中学校一種(数学) + 高等学校一種(数学) + 小学校二種<sup>※</sup>

## 工学部 ソフトウェアサイエンス学科

- 中学校一種(数学) + 高等学校一種(数学) + 高等学校一種(情報) + 小学校二種<sup>※</sup>

## 工学部 数学教員養成プログラム

入学手続き時にデザインサイエンス学科<sup>★1</sup>、情報通信工学科、マネジメントサイエンス学科、ソフトウェアサイエンス学科のうちからいずれに所属するかを選択します。取得できる教員免許状は上記参照。

\* 教職課程の受講には条件があります。また、別途費用がかかります。

※ ダブル免許プログラム受講により取得

★1 2023年4月開設予定【設置計画中】名称その他の計画に変更が生じることがあります。

★2 教職課程認定申請予定。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

大学在学中に2つの教員免許状を取得

## ダブル免許プログラム

文学部・芸術学部・農学部・工学部では、在学中に、中学校・高等学校の免許状に加え、小学校二種免許状<sup>※1</sup>も取得することができます。また、教育学部 教育学科 初等教育専攻では、小学校の免許状に加え、中学校二種免許状(国語・数学・理科・音楽・美術・技術<sup>★</sup>・英語<sup>※1</sup>)、高等学校一種免許状(情報)も取得可能。2020年度は、24名<sup>※2</sup>がダブル免許プログラムにより小学校の先生になりました。

※1 サマー・ウィンターセッションの受講による ※2 臨時的任用職員含む

★教職課程認定申請予定。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

## ダブル免許プログラムのメリットとは?

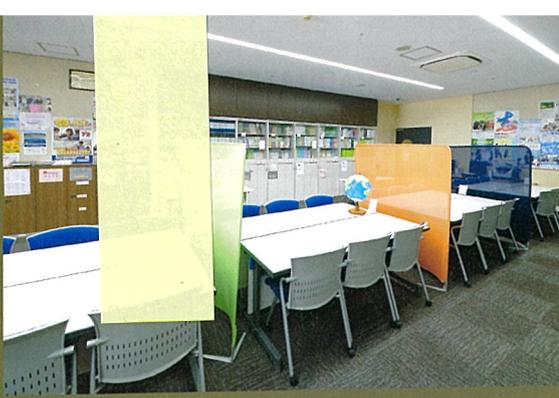
変わりゆく  
社会の流れに  
対応できる!

こんな夢を  
実現したい!

- ▶ 2022年度から小学校で「教科担任制」が導入されます
- ▶ 2020年度より小学校プログラミング教育の全面実施が始まりました  
教育学科 初等教育専攻: 小学校一種免許状+高等学校一種免許状(情報)が取得可能
- ▶ 2020年度より小学3年生から英語が必修になり、5・6年生では英語が正式な教科になりました  
教育学科 初等教育専攻: 小学校一種免許状+中学校二種免許状(英語)が取得可能  
英語教育学科 英語教員養成コース: 中学校一種免許状(英語)・高等学校一種免許状(英語)+小学校二種免許状を取得して、教科としての英語の知識をもった小学校の先生がめざせます
- ▶ 子どもの理科離れを何とかしたい!  
農学部 生産農学科 理科教員養成プログラム: 中学校一種免許状(理科)・高等学校一種免許状(理科)+小学校二種免許状を取得して、理科という教科の本質の面白さを伝えられる小学校の先生がめざせます

\* 教職課程の受講には条件があります。また、別途費用がかかります。

\* 本冊子の内容は2022年2月現在の2022年4月以降の予定です。感染症等の影響により、内容に変更が生じることがあります。



# 教師教育リサーチセンター

(経塚オフィス棟 1階)

- 元校長・元園長など経験豊かな教師陣がサポート
- 面接や論文などを採用する側の視点で指導
- 各自治体の調査・分析に基づいた対策を実施
- 教員や保育士の試験対策やボランティア情報を提供

## 教員養成の玉川～「人」を育てる～

# 先生になりたい！

「先生」という存在は、子どもたちにとって大きな存在。

だからこそ、「どんな先生になりたいか」目標をしっかりとって、大学で「教育」について学ぶ必要があります。

「こんな先生になりたい！」と思った先生が、あなたにとって理想の先生像。

先生になって何がしたいのか、そのためには何が必要なのか。

「理想の先生になる！」という夢の実現を教師教育リサーチセンターがサポートします。



そもそも、先生になりたいなら  
なぜ「玉川大学」なのですか？

**A** 教職課程受講の負担が少ないから  
だから、先生としてすぐ役立つ知識をきちんと身に付けられる！

玉川大学では、CAP制を採用し、履修登録の上限単位を半年間で16単位としています。そのため、ただ教員免許状を取得するためだけでなく、一つひとつの科目を深く学び、使える知識を修得することができます。

他大学では…



所属学科の専攻科目に加えて教職科目を履修。全体で多くの単位を修得しなければいけません。



玉川大学では…



通常授業  
(教職課程含む)

卒業に必要な124単位の中で、免許状を取得するための学修ができます。

時間にゆとりがあるから  
現場体験も  
できる！



**A** 専門学部で先生をめざせるから  
だから、より深く子どもたちに教えることができる！

玉川大学では、各学部で「国語」「数学」「理科」など各教科の大切さ、面白さを自身で深く体感し、それを子どもたちにリアルに伝えられる先生をめざすカリキュラムが組まれています。学科専門科目と教職科目を両立することで「教育のプロフェッショナル」をめざします。

### 「教員養成」を行う専門学部・学科

- **文学部** 英語教育学科 英語教員養成コース  
国語教育学科 国語教員養成コース
- **芸術学部** 音楽学科 音楽教育コース  
アート・デザイン学科 美術教育コース
- **農学部** 生産農学科 理科教員養成プログラム
- **工学部** 数学教員養成プログラム

深める  
専門的な学びを





## どんな先生の指導が受けられますか？

### A 教育現場のプロが指導しています

小・中学校の元校長、元幼稚園・保育所長の経験豊かな教員が指導にあたっています。面接や論文の個別指導、模擬授業対策など、採用をする側の視点による指導が受けられます。また、教科の学習指導や学級経営などさまざまな疑問についてアドバイスを受けることもできます。



## なぜ「人を育てる玉川」と言われているのですか？

### A 玉川大学の「全人教育」が、豊かな人間性を育むから

「教育は人なり」と言われ、教育は教員一人ひとりの力に負うところが大きいとされています。教員として重要なのは、子どもたちの模範となるような人間性。教育者だった創立者・小原國芳は、理想とする「ゆめの学校」を実現するために玉川学園を創設し、豊かな人間性と人格を育む「全人教育」を教育理念として独自の教育を始めました。玉川大学では、その理念のもと創立から現在まで、人間的にも優れた教員を全国の教育現場に送り出し続けています。

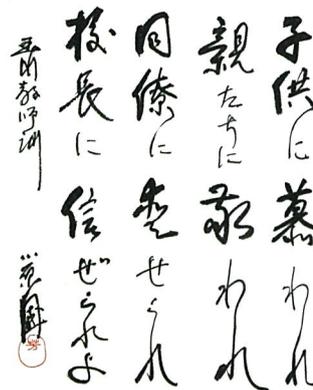


#### 一画多い夢

「大きな夢をもってほしい」「一つでも多くの夢をもってほしい」という願いが込められています。

#### 玉川教師訓

「子供に慕われ、親たちに敬われ、同僚に愛せられ、校長に信ぜられよ」。人間的にも優れ、周囲の人からも人望の厚い先生になってほしいという願いが込められています。



## 総合大学で先生をめざす意味は？

### A さまざまな夢をもつ仲間に出会えること

8学部17学科すべての学生が、ワンキャンパスで4年間学ぶ玉川大学では、全国から集まった、多くの目標をもつ仲間に出会えます。さまざまな価値観を知り、人間としての幅が広がるでしょう。たくさんの刺激を受けて豊かな人間性を身に付けた先生をめざせます。



多彩な価値観を知り、  
人としての幅を広げられます。



# 教師教育リサーチセンター

## 教員養成の玉川～「人」を育てる～



### 教育実習以外に 子どもと触れ合う機会がありますか？

#### A 1年次から始まる教育現場体験があります

##### 参観実習

実習期間 1日

1年次に実施される参観実習は、幼稚園や小学校、中学校、高等学校などで実際の授業を参観するプログラムで、教職課程の土台となる実習。入学後すぐに教育現場に触れることで、教育という仕事に従事するために大学で具体的に何を学ぶべきか、課題が明確になる機会になっています。



##### 教育インターンシップ

実習期間 学部により異なる

併設校の玉川学園や大学近隣の学校や幼稚園、保育所などで教育活動を体験するプログラム。教育実習より前に多くの経験を積むことができる機会です。教育学部の場合、1年次後期から始まり、週1日・約半年間、体験します。



### どんな教員採用試験対策がありますか？

#### A 年間を通して、さまざまな支援プログラムがあります

##### 教員・保育士採用試験対策模擬試験

自分の実力を試すため、採用試験の雰囲気慣れるため、年に数回学内で実施。模擬試験後には「模試結果解説・学修スタートガイダンス」も開催されるため、今後の課題が明確になります。

##### 自主学修会

受験地や教科ごとに組織された学生の自主学修会。教員・保育士をめざす仲間同士で、受験準備を通しての成果発表、取り組みの相談、情報交換を行い、お互いを高め合います。

##### 教員採用等学内説明会

3年次には、教育委員会の担当者を招き、各地域の特徴や望まれる教師像についての指導、採用試験や教師塾などの説明をしていただきます。複数の地域の話聞き、比較検討することができます。

##### 教職講座

卒業生を招いての採用試験の概要解説や、傾向と対策、面接や論文の個別指導、模擬授業指導といった2次試験対策が行われています。教職サポートルームの教員が自治体別にサポートします。

【その他のサポート】 ■最新動向ガイダンス ■就職直前ガイダンス ■活動フォローガイダンス ■個別相談 など



# 教師教育リサーチセンター

## 教員養成の玉川で歩む「理想の先生」への道

3人に1人が教員をめざしている玉川大学

多くの教員や保育士を輩出し、「教員養成の玉川」として評価されている玉川大学。小・中学校の元校長や、元幼稚園・保育所長など経験豊富なスタッフが指導を行う教師教育リサーチセンターを中心に、学生の夢の実現を手厚くサポートしています。



先輩が後輩へエールを送った寄せ書き

子どもたち一人ひとりに寄り添える先生になりたい!

幼稚部、小学部、中学部、高等部があるから日頃から子どもたちの様子を間近で感じることができるのも魅力!



幼稚部園舎 (年少～年長)



K-12 経塚校舎 (小学1～5年生)



K-12 東山校舎 (6～8年生 (小学6年生～中学2年生))



K-12 中央校舎 (9～12年生 (中学3年生～高校3年生))



1年次

早期に現場を経験 教養を身に付ける



2年次

実践的指導力の基礎を身に付ける



1 Semester

2 Semester

3 Semester

4 Semester

教育インターンシップ・教育ボランティア (近隣の学校や保育所などで教育活動体験)

教育現場体験プログラム

小・中・高 教員免許状  
幼稚園 教員免許状  
保育士 資格

教員免許状取得希望者向けガイダンス

参観実習 (教育学部)

参観実習 (教育学部以外)



教育実習園 開拓ガイダンス

教育実習校 開拓ガイダンス

保育士資格取得希望者ガイダンス

教職講座【教職課程基礎講座 他】

教職講座【論文文基礎 他】



筆記対策講座

最新動向ガイダンス

筆記対策講座

最新動向ガイダンス

筆記対策講座

自主学会 (教職サポートルームを利用した個人・集団学修)

模試

模試結果解説・学修スタートガイダンス

模試

模試

模試結果解説・学修スタートガイダンス

模試

個別相談 (カウンセリング) 随時

### 大学推薦制度

教員採用試験の1次試験が免除（もしくは一部免除）される制度。2020年度は小学校・中学校・高等学校合計で37名（全学部・大学院）が大学推薦制度を利用しました。  
\*各自治体により詳細な推薦要件あり。

### 教師塾

各自治体の教育方針に沿った教員養成をめざし、主に小学校教員希望者を対象に研修などを年間を通じて行います。修了者の教員採用試験は実質免除、もしくは一部科目の免除となる（特別選考枠として試験が課せられる）制度です。  
\*各自治体により名称・参加条件が異なる。



模擬授業室  
〈教職サポートルーム〉



ピアノ練習室  
〈University Concert Hall 2016〉

困ったときは個別にじっくり相談できる!

採用試験まであと少し! 苦手な面接対策を再度確認

ここはまだスタート地点! 理想の先生になれるよう頑張ろう!

採用試験合格!!

卒業

3年次  
教育現場で学ぶ  
教員採用試験に備える

4年次  
採用に向けての準備をする

卒業後も成長し続ける  
先輩たちからのエール  
P.135



5セメスター



7セメスター



8セメスター

介護等体験事前指導

教育実習事前指導

教育実習直前ガイダンス

教育実習  
(3~4週間)

教育実習  
事後指導

サブ免(W含む)  
教育実習(3~4週間)

教育実習  
事後指導

介護等体験

\*小・中学校教員免許状取得希望者のみ  
特別支援学校 2日間 / 社会福祉施設 5日間

教育実習事前指導

教育実習直前  
ガイダンス

教育実習I  
(2週間)

中間指導

教育実習II  
(2週間)

教育実習  
事後指導

保育実習I(保育所)  
事前指導

保育実習I  
保育所

保育実習I(保育所)  
事後指導  
保育実習I(施設)事前指導

保育実習I  
施設

保育実習I(施設)事後指導  
保育実習II・III事前指導

保育実習II・III  
保育所または施設



保育実習II・III事後指導

教職講座  
【卒業生体験談】

教職講座【論作文・面接 実践 他】

教職講座【直前1次・2次対策】  
\*幼・保は2・3年次参加可

教職講座【名簿登載者指導】

最新動向ガイダンス  
県別学修相談会  
過去問分析ワークショップ

教員採用試験学内説明会(近隣教育委員会)

私立就職ガイダンス  
(幼・保・施)  
直前対策講座

活動フォロー  
ガイダンス



模試

模試結果解説・  
学修スタートガイダンス

模試

模試

模試

模試

模試

## 卒業生インタビュー

成長し続ける先輩たちからのエール



## 座間市立東原小学校

深澤 隆史さん 教育学部 教育学科 / 2019年3月卒業

## 共に学んだ仲間たちから刺激を受け、視野が広がった

好奇心旺盛な児童たちと関わるには、広い視野が欠かせません。大学では参観実習や模擬授業など実習の機会が多かったため、ゼミはあえて教育哲学を選択しました。指導のスキルに加え、「教育とは何か」といった深い部分も学ぶことができたと思います。また、社会に広く目を向け、学外で幅広く活動する同級生が多く、大いに刺激を受けました。私自身も、小学校でのボランティアやシンポジウムへの参加など積極的に活動しました。その習慣は今も続いています。これからもさまざまな活動や研究会に参加して知識を吸収し、子どもたちと共に成長していきたいです。

## 鎌倉市立手広中学校

庄司 快さん 文学部 国語教育学科 国語教員養成コース / 2021年3月卒業

## 現代の諸問題を多様な視点で考える力を養った

今、教員として国語の授業や学級担任、野球部の顧問などを受けもっています。生徒と接する際には、一人ひとりの環境や考え方に寄り添う意識をもつことが大切です。大学での講義やゼミ活動を通じて身に付いた、多様な視点での対応力が役立っています。特に、異文化や倫理など現代の諸問題について考える講義では、自分の世界を広げて常識や感覚を見つめ直し、社会や他者との関わり方を深く考えました。生徒に自分の思いを伝えることは想像以上に難しいですが、私の言葉が響いたと感じられる瞬間がとてうれしいです。



## 劇団四季(四季株式会社) 社会事業部

田邊 幸さん 芸術学部 パフォーミング・アーツ学科(現:演劇・舞踊学科) / 2008年3月卒業

## 総合大学だからこそ、幅広い視点で教養を深められた

学生時代は同級生や先輩後輩と一緒に舞台制作を行い、公演前は夜遅くまで練習や議論を重ねていました。このように試行錯誤した経験は、今の仕事の中でいきています。また、実習に加えて演劇史や舞踊史などの講義、他学科の学生と一緒に学んだ語学など、総合大学として幅広い視点で教養を深められたことが私の強みになっていることを、社会に出てから実感しました。現在は、小学生を劇場に招待する社会事業「こころの劇場」を担当しています。舞台を通して幅広く人と社会をつなげるこの仕事に誇りややりがいを感じています。



## 豊橋信用金庫

牧野 啓太さん 経営学部 国際経営学科 / 2015年3月卒業

## お客様の課題解決につながる力が身に付いた

大学では簿記やマーケティング、環境経営など、それまで知らなかった経済と経営について学びました。特に簿記の知識は、現在の仕事上必須なので、非常に役立っています。私の仕事は、預金や融資などで個人・法人のお客様の課題を解決する金融サービスのご提案。簿記を学んだおかげでお客様の決算書をより深く読み解くことができ、的確な提案につながっていると感じます。社会情勢が大きく変わり、お客様の課題も多様化する中、大学で学んだ幅広い知識をいかし、金融を通して出身地域の方々への恩返しをしたいです。





## 株式会社ホテル小田急 料飲サービス課 カフェ

白石 亜美さん 観光学部 観光学科 / 2018年3月卒業

### 英語力をいかし、お客様に最高のサービスを

観光学部では1年間の留学とTOEIC®L&R700点以上の取得が卒業要件※であったため、英語を中心に学んだ4年間でした。そのおかげで、ホテルで働く今、外国人のお客様とのコミュニケーションがとてもスムーズです。仲良くなったお客様もいて、「たまにしか来日しない私の好みを把握して、最高のホテル暮らしを提供してくれる」と褒めていただいた時は、この仕事をやって良かったと思いました。さらに経験を積んで周りのメンバーをとりまとめる立場となり、お客様にはより居心地の良い時間を提供するとともに、スタッフにとって働きやすい環境づくりをしたいと思います。

※2022年4月以降は、入学するコースにより卒業要件のスコアが異なります。詳しくはP.87～をご確認ください。

## 五洋建設株式会社

植田 匡紀さん リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科 / 2015年3月卒業

### 多様な感性の友人たちに触発され、考えて行動する力を蓄えた

リベラルアーツ学部では、一つの分野にとらわれない幅広い学びがありました。何かに興味をもち、知りたい、学びたいと声を上げると、それに応じてヒントをくださる先生方がたくさんいらしたので、課題解決に向け自ら行動する力が身に付きました。また、私にはない発想や考察力をもつ友人に囲まれ、刺激的な学生生活を送りながら、卒にとらわれず将来を考えることができました。現在は、総合建設会社(ゼネコン)で建築案件受注に向けた営業をしています。学生時代と同様に人との出会いや学びの意識を大切にしながら、仕事に向き合っています。



## 株式会社サカタのタネ 物流管理部

山崎 太陽さん 農学部 生物資源学科(現:生産農学科) / 2013年3月卒業

### 学ぶ意欲を後押しする大学の姿勢が、成長につながった

玉川大学には、学ぶ意欲のある学生を支援する体制が整っています。私は、農学部で養蜂学を中心に学んでいましたが、在学中にビジネスに関する学問にも興味をもち、学部の垣根を越えて経営学部で聴講を受け入れていただきました。また、簿記などの資格も取得できました。卒業した今でも幅広い分野を学びたいという意欲をもてるのは、学生時代に自由に学ぶ楽しさを知ったからだと思います。現在は種子の流通を管理する仕事をしています。世界の食料事情に直結し、最先端の技術も数多く導入されているスケールの大きなグローバルビジネスに触れられることがこの仕事の醍醐味です。



## 株式会社タチエス 生産技術部 設備設計課

尾登 裕太さん 工学部 機械情報システム学科(2023年度よりデザインサイエンス学科※) / 2016年3月卒業

### 大学で学んだことのすべてが、今の仕事にいきている

在学中に学んだ設備設計の要となる4力学(機械・熱・材料・流体)、卒業研究で身に付けたCADの操作などは、現在の仕事にも直結しています。また、所属していたTSCP(Tamagawa Sustainable Chemistry-powered-vehicle Project)では、車の構造を学べただけでなく、仕事に欠かせないチームワークや協調性も身に付けることができました。現在は、自動車用のシートの商品企画から生産までを一貫して行う会社で、部品の加工や溶接を行うための装置の設計を担当。さまざまな設計・開発を経験し、信頼される技術者をめざしています。

※2023年4月開設予定【設置計画】名称その他の計画に変更が生じることがあります。



令和3(2021)年度

---

## 就職状況のまとめ

玉川大学 キャリア・就職指導委員会



# 教員採用試験の現状

## 公立学校 — 人物重視（質の高い教員の確保のため採用が多様化） —

令和4年度（令和3年夏実施）の「公立学校教員採用選考試験実施状況」では、受験者総数は12万4619名で、前年度と比較し9648名（7.2%）の減少。最多人数だった平成24年度の18万902名から10年で約3分の1に相当する5万6000名（31.1%）の減少という結果となりました。

また採用者総数は3万5846名で、前年度と比較し779名（0.2%）の増加。競争率（倍率）は3.5倍で、6年連続減少です。

学校種別で見ると、小学校で0.2ポイント減の2.4倍、中学校で0.4ポイント減の4.0倍、高等学校は0.7ポイント減の5.9倍です。小学校では千葉県・市（1.8倍）を含む24の自治体が1倍台になるなど、「受験者減、採用増」の傾向が顕著です（首都圏は東京都2.4倍、神奈川県2.6倍、川崎市2.1倍、相模原市2.1倍、埼玉県2.1倍、さいたま市2.6倍）。

上記の数字だけを見れば、公立学校の教員採用傾向は、新任教員の大量採用とそれに伴う競争率の低下で、教員就職の需要は高く、特に小学校における採用試験の倍率は2～3倍とさほど高くないため、教員志望者にとってはますます追い風が吹いているように見えますが、現実には合格者の6割強は臨時任用教員など既卒者です。新卒者は低倍率を鶴呑みにはできません。現場は即戦力を求めており、少なからず現場経験を積んだ者が有利になる傾向にあります。

中学校・高等学校はさらに難関となります。まず募集自体が少ないこと、さらに科目の専門性を高く保つことを要するため、国立の教員養成系大学も含めライバルが多い状況にあります。

公立学校教員採用選考試験の内容としては、採用権者は教員としての資質・能力を見極めるため、さまざまな採用方法を始めています。

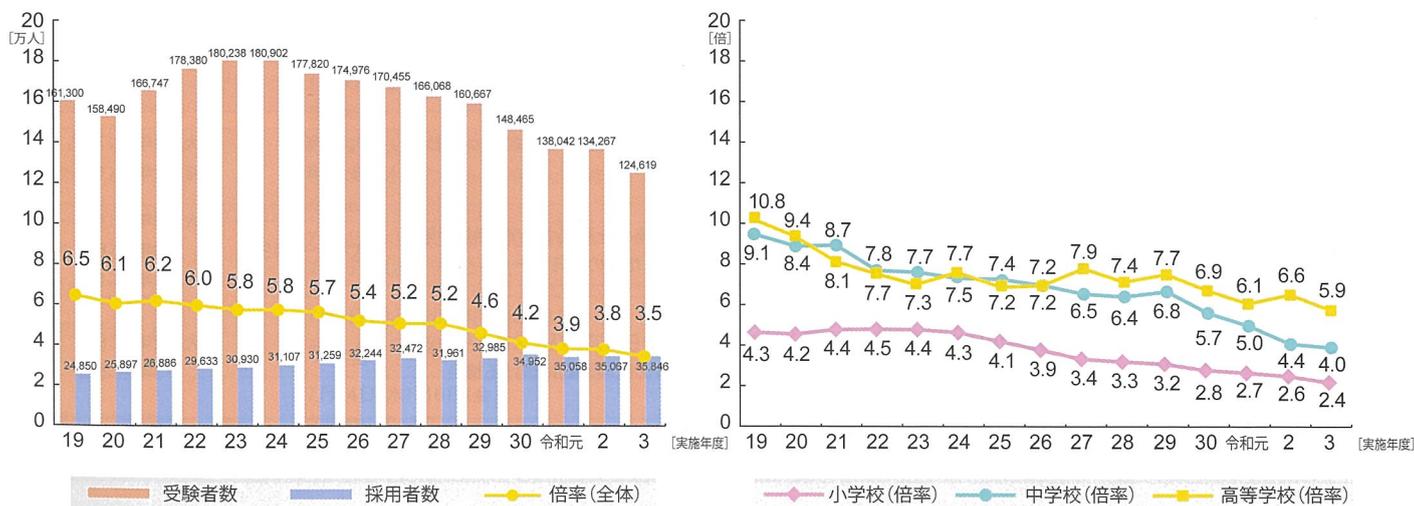
1つは2次試験の強化であり、個人面接、模擬授業、場面指導、集団討議を課すところが増えています（ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の自治体ではこれらの試験形態を見送るところもあります）。これまでも人物重視と言われていましたが、特別選考や特例試験などの試験形態の多様化をはじめ、すべての自治体で人物を重視する選考となっています。2つめが、特別選考の拡大です。社会人経験者、非常勤・代用教員などの教職経験者、教職大学院修了者を含む大学推薦者、教師塾修了者への1次試験免除が実施されています。

一方、地方では人口の減少と財政難から採用数が伸びない自治体も多く、中には新卒者の採用がほとんど見込まれない地域もあり、地方から都市部を受験する傾向にあります。都市部では優秀な教員確保のために、地方試験や一定期間の勤務により地元に戻って教員を続けられる制度を導入したところも出てきました。

また、公立幼稚園については数も少なく、都市部に集中していることに加え、教員の労働流動率が低く、多くが欠員補充での採用であり、地域によっては募集のない年度もあり、きわめて狭き門となっています。

## 公立学校における採用者数の推移

令和3年夏に「公立学校教員採用選考試験」を実施したのは、47都道府県、20政令指定都市（そのうち、千葉市は千葉県、広島市は広島県と、それぞれ共同で実施）ならびに大阪府豊能地区の計66都道府県・指定都市です。受験者数、採用者数、選考倍率の推移、ならびに校種別最終選考倍率の推移は下のグラフのとおり。



文部科学省：「公立学校教員採用選考試験の実施状況について」より。  
令和3年度は「教員養成セミナー2022年1月号（時事通信社）」より引用。

## 私立学校 - 募集のピークは10月過ぎ -

私立学校の教員採用傾向は、公立ほど顕著な傾向は見られませんが、公立学校の採用がまだまだ多いため、人員確保に苦戦する学校が増えています。縁故を利用した採用には限界があり、私立学校が集中する都市部では、Web等を使って公募する学校や合同説明会に参加する学校など、求人がオープンになってきています。そのため、情報をいかに早く入手できるかが重要な決め手となります。ただし、1名の求人に対して100名以上の応募があるような人気校がある一方、一度に複数の教員が退職したり、大規模校でないにもかかわらず毎年のように求人を出す学校もあり、働く環境として注意が必要な学校も少なからず見受けられます。その学校の「建学の精神」と自身の教育観のマッチングは当然のことながら、労働環境にも注視したいところです。また私学の場合は、基本的には非常勤や期限付き採用であり、新卒者が専任で採用されるケースは稀です。初年から数年間の任用期間を経て、正規採用される仕組みが一般的です。

幼稚園については、全園児の8割が通園している私立が主流となっていますが、小規模法人が多いため、ほとんどが欠員補充です。ただし、幼稚園の場合、労働流動率が比較的高く、特に都市部では毎年、数百名の新規採用があります。

私立の幼稚園、小・中・高等学校の場合、教員の欠員を把握してからの採用募集となるため、毎年度10月過ぎが募集のピークとなっています。

## 就職活動モデル（教員・保育士関係）

当然のことながら、教員採用試験に何の対策も講じずに合格することは至難の業です。試験へ向けて効率的な学習プランを立て、入念な準備をしなければなりません。それとともに、受験しようとする自治体の過去問を入手し出題傾向をつかむことはもちろん、競争率を確認し、志望する自治体の研究（求める教師像など）を十分にして、受験先を決定する必要があります。

また、現状の学習状況を把握するためにも、教師教育リサーチセンターで開催する教員・保育士採用模擬試験を毎回受験し活用することを推奨しています。

なお、模擬試験については、平成25(2013)年度入学生より各学年で徴収している教職課程受講料の一部を受験料に充てています。

3年													
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
就職ガイダンス	公開模擬試験	5月 論文文・実践講座	学習スタートガイダンス	学外教職講座 △有料▽	秋期集中講座 △有料▽ 模擬試験	最新動向ガイダンス 個別学習相談会	面接・実践講座 11月	(秋季)教育委員会による学内説明会		教員・保育士対策講座(集中)	就職直前ガイダンス 受験地希望調査	教員・保育士対策講座	
4年													
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
出願開始	私立就職ガイダンス(小中高活動開始) (春期)教育委員会による学内説明会・模擬試験	直前指導(教員・保育士)	第一次合否・二次対策 第一次選考開始(教員)	私立就職ガイダンス(幼保実施 教員・保育士対策講座)	私学適性検査 第一次選考	臨時的任用ガイダンス	合格者ガイダンス(小中高) 第二次合否・名簿登録	教職特別講座① 候補者向け説明会(各教育委員会)	合格者ガイダンス(幼保)	採用前研修(各自自治体等)	教職特別講座②	各学校紹介	勤務開始
実 習													

\* 対策講座・教育委員会による学内説明会等への参加は、1・2・3年次より可能。

\* 詳細は、各学部 UNITAMA 掲示等にて随時確認することができる。

# 私立学校・幼稚園・保育所・福祉施設からの求人状況

## 私立学校・幼稚園教員の近年の募集傾向

私立学校は公立に比べ学校数も少なく、また教員の労働流動率も低く、多くの場合欠員補充であることから求人数も極めて少ない現状にあります。また近年では、大学充てに求人票を提出せず、一般公募にて募集する学校が目立ちます（各学校ホームページのトップページや新聞に求人情報を掲載など）。

大学で受理する求人数の減少は、このような公募による募集方法の増加が要因の1つとも考えられます。そのため教師教育リサーチセンターでは、各協会による私学適性検査・求人斡旋（履歴書委託制度）等の活用や各協会・学校と連携を図っている、有効な求人サイトを紹介しています。

引き続き、比較的到学校数の多い中・高等学校を中心に、労働条件に注意を向けながら積極的に求人開拓を行っていきたいと考えています。

私立幼稚園教員の場合は、希望者を越える求人がありますが、各幼稚園とも1～2名といった採用枠に対して応募者が多く、採用試験では教員としての資質・実力を図る試験が行われています。

保育士の場合は、昨今の経済情勢の影響等から、需要が高くなっています。また、私立の社会福祉法人だけでなく、他の業種・事業所内保育などの児童福祉施設に限らず、求人募集があります。

また、地方出身者が郷里で教員・保育士に就職できるように、学生と各担当教員、教師教育リサーチセンター教員就職担当が密に連絡をとったうえで支援をしているため、効果を上げています。

各学科担当教員・教職サポートルーム教員・教師教育リサーチセンターの連携による「教員採用試験対策講座」や「ガイダンス」等の効果により、学生の実力や意識は全学的に高められています。

平成23年度より、学年（大学1年次から）に応じた教員・保育士就職支援体制を構築し、4年間を通じた有効なプログラムを実施しています。年々変化する教員採用方法の情報収集を積極的に行い、学校や教育行政での現場経験のある教職サポートルーム教員と連携を取りながら、校種や受験地に応じた内容の支援が継続的・効果的に行われています。

# 教員・保育士における合格状況

## 公立学校・幼稚園（合格状況）

区分	本学からの受験者数		名簿登載者数	備考			
小学校・幼稚園 名簿登載者	令和	3(2021)年度	208名	116名	小学校110名 幼稚園5名	小中音楽1名	
		2(2020)年度	200名	117名	小学校114名 小中理科1名	小中音楽1名 幼稚園1名	
	元	(2019)年度	220名	136名	小学校128名	小中美術1名 幼稚園7名	
	平成	30(2018)年度	237名	126名	小学校117名 小中音楽1名	小(音楽)1名 幼稚園7名	
中学・高等学校 名簿登載者	令和	3(2021)年度	155名	41名	中学社会2名 高校英語3名 高校数学1名 高校国語4名	中学保体1名 中学理科6名 中学音楽5名 中学美術3名	中学英語7名 中学数学7名 中学国語2名
		2(2020)年度	126名	46名	中学社会3名 高校英語4名 中高数学3名 中学国語7名	中学保体1名 中学理科4名 中学音楽3名 中高国語3名	中学英語8名 中学数学6名 中高音楽2名 中学美術2名
	元	(2019)年度	114名	37名	中学社会3名 高校英語3名 中学数学10名 中学美術1名	中学保体1名 中学理科7名 中学音楽4名	中学英語3名 高校農業1名 中学国語4名
	平成	30(2018)年度	144名	41名	中学社会2名 高校英語3名 中学数学10名 中学国語4名	中学保体2名 中学理科1名 高校数学1名 中学美術3名	中学英語6名 高校農業1名 中学音楽8名

※合格状況には、教職大学院を含まず。

## 私立学校・幼稚園（就職状況）

区分	就職状況（推移）		備考				
幼稚園*	令和	3(2021)年度	28名				
		2(2020)年度	24名				
	元	(2019)年度	25名				
	平成	30(2018)年度	33名				
小学校*	令和	3(2021)年度	8名				
		2(2020)年度	3名				
	元	(2019)年度	3名				
	平成	30(2018)年度	11名				
中学校・高等学校*	令和	3(2021)年度	17名	中学数学3名 高校理科1名	高校数学1名 高校保体1名	高校国語6名 高校英語4名	高校公民1名
		2(2020)年度	19名	中学数学3名 高校英語3名 高校保体1名	中学英語1名 高校音楽1名	中学保体1名 高校数学6名	高校国語2名 高校理科1名
	元	(2019)年度	9名	中学理科1名 高校理科2名	中学英語2名 高校数学1名	高校保体1名 高校情報1名	高校英語1名
	平成	30(2018)年度	14名	中学理科2名 高校国語3名	中学数学2名 高等専修学校:理科1名	中学保体2名	高校英語4名

※「幼稚園\*」「小学校\*」「中学校・高等学校\*」には、海外の日本人学校教員、日本のインターナショナルスクール教員を含む。

## 保育所・福祉施設等（合格状況）

### ■ 公立保育所合格状況 < 4カ年推移 >

区分	名簿登載者数（最終試験）	
	年度	人数
公立保育所 名簿登載者	令和 3(2021)年度	13名
	2(2020)年度	12名
	元(2019)年度	15名
	平成 30(2018)年度	15名

[人数：延べ数]

※公立保育士1次試験～最終試験（4次等）までに、他の自治体に就職先が決定した場合は、その時点にて辞退を行う。

### ■ 公立保育所合格状況 < 令和3(2021)年度 >

区分	人数
東京都 世田谷区	5名
東京都 江東区	1名
神奈川県 横浜市	4名
神奈川県 座間市	1名
神奈川県 藤沢市	2名
合計	13名

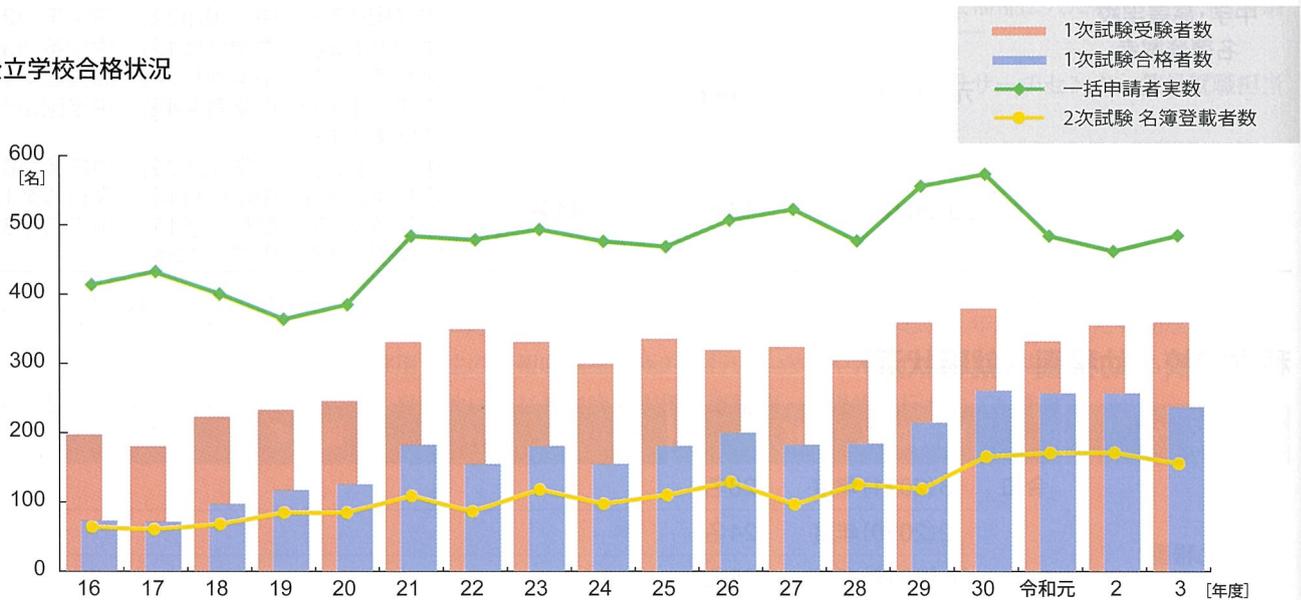
※名簿登載者数を記載。

### ■ 私立保育所・福祉施設等就職状況 < 4カ年推移 >

区分	就職者数	
	年度	人数
私立保育所 ・福祉施設等	令和 3(2021)年度	33名
	2(2020)年度	41名
	元(2019)年度	45名
	平成 30(2018)年度	46名

[人数：実数]

### ■ 公立学校合格状況



### ■ 名簿登載率



■ 公立、私立学校・幼稚園教員合格状況（内訳） \*大学・大学専攻科・大学院計

	一括申請者実数	公立・私立計	公立					私立							計
			大学・大学専攻科・大学院				名簿登載者数	大学・大学専攻科・大学院							
			幼	小	中*	高*		幼**	小**	中**	高	大学・短大	専修学校	高等専門学校	
令和3年度	488	215	5	111	32	9	157	31	8	4	14	1	0	0	58
令和2年度	463	210	1	116	34	12	163	24	3	5	14	0	1	0	47
令和元年度	485	211	7	129	33	4	173	25	3	3	6	1	0	0	38
30年度	550	215	4	103	39	5	151	33	11	6	7	6	0	1	64

注1：大学・大学院・専攻科計を表記。大学院等は出願のあった免許教科のみを記載。教職大学院は含まず。

注2：公立校種区分\*には、「特別支援学校」就職者を含む。

注3：「幼稚園、小学校、中学校」の\*\*には、海外の日本人学校教員、日本のインターナショナルスクール教員を含む。

注4：公立・私立保育士については、別途42ページに記載。

## 合格率向上を目指し1年次から教員養成支援

本学では、教職課程の受講を強く希望して入学してくる学生が多くおります。教職に就こうという大学入学時のモチベーションを持続させるためには、1年次からの教職課程支援が必要不可欠と考え、大学4年間を通じた教職課程受講支援プログラムを構築・実践しております。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座内容を変更して実施しました。

令和3（2021）年度1年次生を対象に実施した講座等を下記に示します。

### 令和3（2021）年度に実施した1年次生教職課程受講支援プログラム

実施日	講座名
5月27日	教職講座1「教職を目指す学生たちへ～教員に求められる資質能力～」
7月1日	教職講座2「学習スタートガイダンス」 「トライアル模擬試験【一般教養のみ】」(時事通信出版局)
7月8日	教職講座3「夏休みの課題－教職関連トピックを書く－」
5月13日・9月30日	「Web参観実習事前指導」(教育学部と文・農・工・芸術学部と計2回)
6月22日・11月17日～18日	「参観実習」
1月13日	教職講座4「最新動向ガイダンス」
2月4日	2021年模擬試験(一般教養試験)



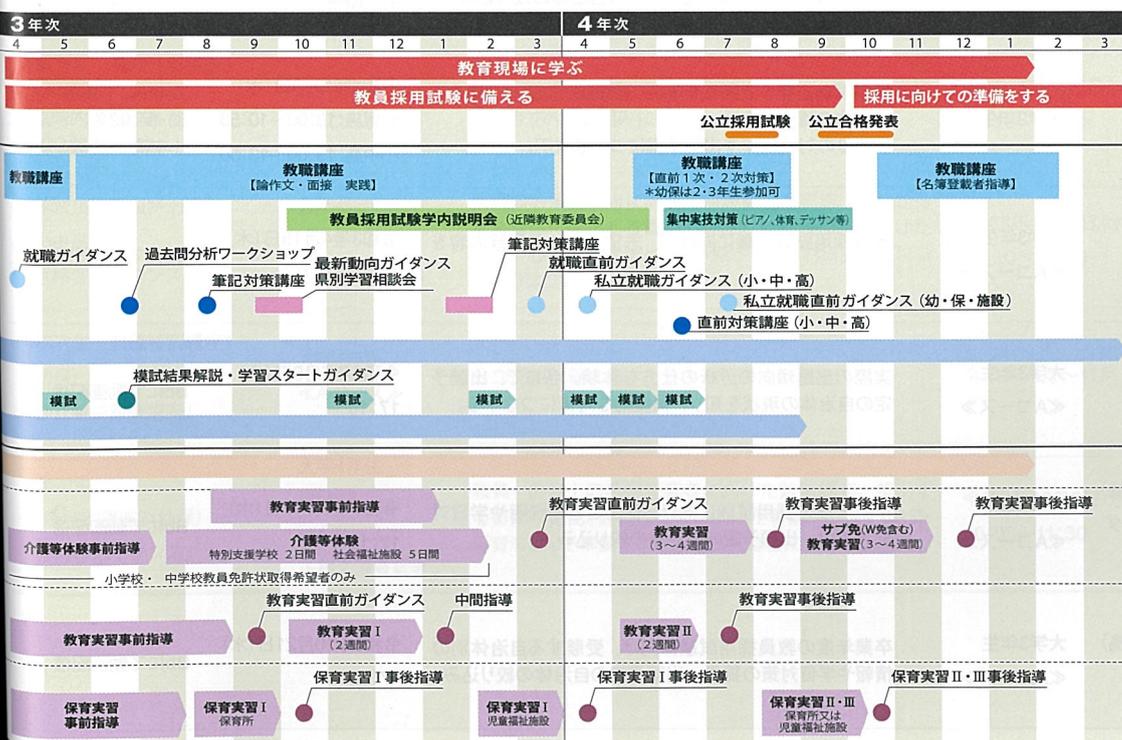
## 専門スタッフによる個別相談

小・中学校・高等学校の校長経験者、幼稚園や保育所の園長経験者など 31 名で教職サポートルームを構成し、公立学校教員・保育士採用試験の筆記対策に加えて、面接、論作文、模擬授業などの対策について個別に相談・指導を行っています。試験対策のみならず、個別面接では授業の方法や学級運営など教職への悩みに対して、現場での経験に基づいた具体的で細かいアドバイスをしています。

## 充実した教職課程受講支援プログラム

平成 23 (2011) 年度より、学年ごとの段階に応じて「教員・保育士採用試験対策講座（春期集中・春学期・秋学期）」や「ガイダンス」等の取り組みを実施し、大学 1 年次生から 4 年間を通じたプログラムを推進しています。この支援プログラムの実施にあたっては、各学科担当教員・教職サポートルーム教員・教師教育リサーチセンターの連携による教員・保育士就職支援体制を構築しました。

教師教育リサーチセンターでは年々変化する教員採用試験の情報を積極的に収集し、学校や教育行政での豊富な現場経験をもつ教職サポートルーム教員と連携をとりながら、校種や受験地の特性をふまえた指導を継続的・効果的に行うことにより、学生の実力や意識を高めることを意図しています。



# 【教員・保育士】令和3(2021)年度 就職支援イベント一覧

教職講座				
講座・ガイダンス名	対象	内容	開催日時	実施方式
1年次生 教職講座1 「教職を目指す学生たちへ」	大学1年生	教師・保育者を目指す学生を対象に実施。教員・保育士になるために必要な教員としての資質・能力、日本語力について講義を実施	令和3年5月27日(木) 17:10～	Bbにて動画配信
1年次生 教職講座2 「学習スタートガイダンス」	大学1年生	教員採用試験受験に向けて、これからの4年間の学習計画について、説明。模擬試験を実施し、各自の弱点科目・分野を分析。各自が補強すべきプログラムについて、冊子を配布。各学年でどの科目を重点的に準備すべきか確認。	令和3年7月1日(木) 17:10～	Bbにて動画配信
1年次生 教職講座3 「夏休みの課題 —教職関連トピックを書こう—」	大学1年生	社会状況を踏まえ、教員・保育士を目指す学生に対して、教育改革をはじめとする社会の動きについてしっかりと意識・理解をうながす。	令和3年7月8日(木) 17:10～	Bbにて動画配信
1年次生 教職講座4 「最新動向ガイダンス」	大学1年生	2021年夏の採用試験情報を踏まえ、頻出の「教育法規」や「教育時事」についての概要を把握し、今後の対策へつなげる。	令和4年1月13日(木) 17:10～	Bbにて動画配信
2年次生 教職講座1 「学習スタートガイダンス」	大学2年生	教員採用試験受験に向けて、採用試験受験までの残り2年間の学習計画について、説明。模擬試験を実施し、各自の弱点科目・分野を分析する。各自が補強すべきプログラムについて、冊子を配布。各学年でどの科目を重点的に準備すべきか確認。	令和3年4月8日(木) 17:10～	Bbにて動画配信
2年次生 教職講座2 「夏休みの課題-教師・保育士 に求められる資質・能力—」	大学2年生	社会状況を踏まえ、教員を目指す学生に対して、教育改革をはじめとする社会の動きについてしっかりと意識・理解をうながす。	令和3年7月15日(木) 17:10～	Bbにて動画配信
2年次生 教職講座3 「県別学習ガイダンス」	大学2年生	卒業年度の教員採用試験に向け、志望する自治体別情報や学習対策の提供。出願予定の自治体の絞り込み。	令和3年10月21日(木) 17:10～	Bbにて動画配信
2年次生 教職講座4 「校種別ガイダンス」	大学2年生	採用試験出願まで残り1年余りとなり、校種や志望する自治体の確認。 次年度の対策講座や出願準備について説明。	令和4年2月3日(木) 幼保施:10:00～10:50 小中高:13:00～13:50	Zoomにて実施 幼・保:92名 小中高:429名
3年次生 教職講座1 「スタートガイダンス」	大学3年生 《Aコース》	教員採用試験受験に向けて、志望自治体の試験内容を把握。	令和3年4月15日(木) 17:10～	Bbにて動画配信
3年次生 教職講座2 「過去問分析ガイダンス」	大学3年生 《Aコース》	実際の出題傾向の分析の仕方を体験。各自で、出願予定の自治体の現状を知り、具体的な対策につなげる。	令和3年5月6日(木) 17:10～	Bbにて動画配信
3年次生 教職講座3(幼保施) 「幼稚園・保育所・施設ガイ ダンス」	大学3年生 《Aコース》	卒業年度の採用試験に向け、区分ごとの説明や学習対策の提供。出願予定の自治体の絞り込み。	令和3年10月7日(木) 17:10～	Bbにて動画配信
3年次生 教職講座3(小中高) 「県別学習ガイダンス」	大学3年生 《Aコース》	卒業年度の教員採用試験に向け、受験する自治体別の情報や学習対策の提供。出願予定の自治体の絞り込み。	令和3年10月21日(木) 17:10～	Bbにて動画配信

講座・ガイダンス名	対象	内容	開催日時	実施方式
3年次生 教職講座4(小中高) 「最新動向ガイダンス」	大学3年生 《Aコース》	2021年夏の採用試験を踏まえ、頻出の「教育法規」や「教育時事」についての概要を把握し、今後の対策へつなげる。	令和3年10月28日(木) 17:10～	Bbにて動画配信
3年次生 教職講座4(幼保施) 「教育課程と幼稚園教育要領」	大学3年生 《Aコース》	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の中核について理解を深める。	令和4年1月20日(木) 17:10～18:50	Zoomにて実施
3年次生 教職講座5(小中高) 「教員就職直前ガイダンス」	大学3年生 《Aコース》	2022年夏の教員採用試験の直前対策として、教育時事を中心に主要な教育トピックを確認。教育時事の必出ポイント、重要ポイントを整理し、第1次、第2次の面接試験への準備を合わせてすすめる。	令和4年3月17日(木) 17:10～	Bbにて動画配信
3年次生 教職講座5(幼保施) 「保育・教育に関する 関連法規と専門科目全般」	大学3年生 《Aコース》	保育・教育に関する関連法規の重要性について、説明。	令和4年1月27日(木) 17:10～18:50	Zoomにて実施
4年次生 教職講座1 「教員就職直前ガイダンス」	大学4年生 《Aコース》	2021年夏の教員採用試験の直前対策として、教育時事を中心に主要な教育トピックを確認。教育時事の必出ポイント、重要ポイントを整理し、第1次、第2次の面接試験への準備を合わせてすすめる。	令和3年4月22日(木) 17:10～	Bbにて動画配信
4年次生 教職講座2 「教師・保育者になる学生に 向けて①」	大学4年生 《Aコース》 希望者対象	文部科学省の答申をもとに、『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)』が意味するものについて、説明。	令和3年11月11日(木) 17:10～18:50	Zoomにて実施 4年生:186名
4年次生 教職講座3 「教師・保育者になる学生に 向けて②」	大学4年生 《Aコース》 希望者対象	特別講師として、玉川大学卒業生の現役学校教員による講義を実施。 児童・生徒に対する授業の仕方や指導方法、保護者対応など、教育現場に出るにあたっての不安を解消。	令和4年1月13日(木) 17:10～18:50	Zoomにて実施 4年生:162名
4年次生 教職特別講座1 (小中高) 「公立学校1次試験対策講座」	大学4年生 《Aコース》	【事前申込み制】第1志望の自治体のみへの対策。 1次試験に集団面接・集団討議等の実施がある自治体を第1志望としている受験者を対象に、試験前に集団対策講座。	令和3年6月30日(水) ～7月8日(木)	経塚オフィス棟にて実施 4年生:24名
4年次生 教職特別講座2 (小中高) 「公立学校2次試験対策講座」	大学4年生 《Aコース》 1次試験合格者	【事前申込み制】第1志望の自治体のみへの対策。 1次試験合格者を対象に、2次試験に個人面接、集団面接、集団討議等の実施がある自治体の対策講座を実施。	令和3年7月28日(水) ～9月9日(木)	Zoomにて実施 4年生:256名
4年次生 教職特別講座3 (小中高) 「臨時的任用教員ガイダンス (不合格者向け)」	大学4年生 《Aコース》	臨時的任用教員に関する説明会を開催。臨探の仕組み、今すべき取組みについて、確認と説明。	令和3年11月18日(木) 17:10～18:00	Zoomにて実施 4年生:49名
4年次生 教職特別講座4 (小中高) 「合格者ガイダンス」	大学4年生 《Aコース》 正規名簿登載者	教員の名簿登載者に向けた対策講座を実施。これから各自自治体に提出する書類の確認。赴任校面接に向けた準備や心構え、教員として準備すべき教材研究などについての確認。	令和3年11月4日(木) 17:10～18:30	大学教育棟にて実施 4年生:134名
4年次生 教職特別講座1 (幼保) 「公立集中対策講座」	大学4年生 《Aコース》	公立採用試験に向けた集中対策講座の実施。	令和3年4月～11月	Zoomにて実施 4年生:10名
4年次生 教職特別講座2(幼保) 「合格者ガイダンス」	大学4年生 (幼保施) 《Aコース》 正規名簿登載者	教員・保育士の名簿登載者に向けた対策講座。提出する書類の確認。赴任校面接に向けた準備や心構え、教師・保育者として準備すべき教材研究などについての確認。	令和3年12月8日(水) 10:00～11:30	Zoomにて実施 4年生:14名

## 論作文対策講座

講座・ガイダンス名	対象	内容	開催日時	実施方式
2年次生 第1回論作文基礎講座	大学2年生	3回の講座をとおして、論作文執筆のためのルール、書き方の基本事項を学習し、出題されたテーマに沿って執筆を行う。 第1回は、講義「論作文の書き方①」を実施。	令和3年12月2日(木) 17:10～	Bblにて動画配信
2年次生 第2回論作文基礎講座	大学2年生	論作文執筆のためのルール、書き方の基本事項を学習し、出題されたテーマに沿って執筆を行う。 第2回は、講義「論作文の書き方②」+執筆①に取り組む。執筆1は、赤字添削・評価を行い、後日返却を行う。	令和3年12月9日(木) 17:10～	Bblにて動画配信
2年次生 第3回論作文基礎講座	大学2年生	論作文執筆のためのルール、書き方の基本事項を学習し、出題されたテーマに沿って執筆を行う。 第3回は、講義「論作文の書き方③」+執筆②に取り組む。執筆2は、赤字添削・評価を行い、後日返却を行う。	令和4年1月6日(木) 17:10～	Bblにて動画配信
3年次生 第1回論作文実践講座	大学3年生 《Aコース》	2年次の基礎講座で習得した論作文の書き方を復習。「論作文の書き方①+執筆①」を実施。「執筆①」は各指導教員より、個別指導を実施。	令和3年5月13日(木) 17:10～18:50	Bblにて動画配信
3年次生 第2回論作文実践講座	大学3年生 《Aコース》	前回の講義等を踏まえ、「論作文の書き方①」の復習。新たな課題について、「論作文の書き方②+執筆②」を実施。「執筆②」は各指導教員より、個別指導を実施。	令和3年6月24日(木) 17:10～18:50	Bblにて動画配信
3年次生 第3回論作文実践講座	大学3年生 《Aコース》	志望する自治体の字数・制限時間に応じた講座を実施。「(自治体ごとの) 論作文の書き方①+執筆①」を実施。「執筆①」は自治体・校種に応じた指導教員による個別指導を実施。	令和3年9月16日(木) 17:10～18:50	Zoomにて実施
3年次生 第4回論作文実践講座	大学3年生 《Aコース》	志望する自治体の字数・制限時間に応じた講座を実施。「(自治体ごとの) 論作文の書き方②+執筆②」を実施。「執筆②」は自治体・校種に応じた指導教員による個別指導を実施。	令和3年11月11日(木) 17:10～18:50	Zoomにて実施
3年次生 第5回論作文実践講座	大学3年生 《Aコース》	志望する自治体の字数・制限時間に応じた講座を実施。「(自治体ごとの) 論作文の書き方③+執筆③」を実施。「執筆③」は自治体・校種に応じた指導教員による個別指導を実施。	令和3年12月16日(木) 17:10～18:50	Zoomにて実施
3年次生 第6回論作文実践講座	大学3年生 《Aコース》	志望する自治体の字数・制限時間に応じた講座を実施。「(自治体ごとの) 論作文の書き方④+執筆④」を実施。「執筆④」は自治体・校種に応じた指導教員による個別指導を実施。	幼保施: 令和4年1月27日(木) 17:10～18:50 小中高: 令和4年2月2日(水) 10:00～11:50	Zoomにて実施

## 面接対策講座

講座・ガイダンス名	対象	内容	開催日時	実施方式
3年次生 第1回面接実践講座	大学3年生 《Aコース》	面接実践講座として3回の演習を通して、面接試験における面接票の書き方、面接の基本動作、心構えを学ぶ。第1回目は個人面接を中心に演習の実施。	小中高: 令和3年11月25日(木) 17:10～18:50 幼保施: 令和3年11月11日(木) 17:10～18:50	Zoomにて実施
3年次生 第2回面接実践講座	大学3年生 《Aコース》	前回の対策実施時に回収した面接票の返却・指導。改めて、基本である個人面接を中心に演習を實踐。	令和3年12月23日(木) 17:10～18:50	Zoomにて実施
3年次生 第3回面接実践講座	大学3年生 《Aコース》	総仕上げとして、これまでの演習内容を振り返る。個人面接の総仕上げを目標に実施。また、集団討論・集団面接等の実践に触れる。	小中高: 令和4年2月2日(水) 13:00～14:50 幼保施: 令和4年1月29日(土) 9:30～16:30	Zoomにて実施

## 教員採用試験模擬試験

講座・ガイダンス名	対象	内容	開催日時	実施方式
【有料】公立保育士就職模擬試験 実務教育出版	大学1~4年生 大学院生	公立の保育所、幼保園、幼稚園での就職を希望する学生向けの模擬試験を実施	令和3年4月17日(土)	自宅受験 4年生:8名 3年生:15名
1年次生 トライアル模擬試験 【一般教養】	大学1年生	教職講座2「学習スタートガイダンス」内にて、【一般教養】の導入として、模擬試験を実施	令和3年7月1日(木)	自宅受験 1年生:555名
1年次生 2021年模擬試験 【一般教養】	大学1年生	教員採用試験に向けた採用試験模擬試験の実施【一般教養】の模試を通して、学習成果を図る	令和4年2月4日(金)	自宅受験 1年生:555名
2年次生 トライアル模擬試験 【教職教養】	大学2年生	教職講座1「学習スタートガイダンス」内にて、【教職教養】の導入として、模擬試験を実施	令和3年4月8日(木)	自宅受験 2年生:593名
2年次生 2021年模擬試験 【一般・教職教養】	大学2年生	教員採用試験に向けた模擬試験。 【一般教養】【教職教養】の模試を通して、学習成果を図る	令和3年6月14日(月)	自宅受験 2年生:593名
3年次生 2021年模擬試験 【一般・教職・専門教養】	大学3年生 ≪Aコース≫	教員採用試験に向けた模擬試験。 【一般教養】【教職教養】【専門教養】より、出願する自治体の傾向に合わせた科目選択を学生が行い、実施。	令和3年4月17日(土)	自宅受験 3年生:353名
3年次生 プレ模試 【一般・教職・専門教養】	大学3年生 ≪Aコース≫	教員採用試験に向けた模擬試験。 【一般教養】【教職教養】【専門教養】より、出願する自治体の傾向に合わせた科目選択を学生が行い、実施。	令和3年9月25日(土)	自宅受験 3年生:309名
4年次生 2021年模擬試験 【一般・教職・専門教養】	大学4年生 ≪Aコース≫	教員採用試験直前の模擬試験。 【一般教養】【教職教養】【専門教養】より、出願する自治体の傾向に合わせた科目選択を学生が行い、実施。	令和3年4月17日(土)	自宅受験 4年生:262名

## 教育委員会等による学内説明会

講座・ガイダンス名	対象	内容	開催日時	実施方式
私立学校(小中高)ガイダンス 株式会社ブレインアカデミー	大学1~4年生 大学院生	私立学校(小中高)での教員就職を目指す学生を対象に、求人への仕組みや確認方法、公立学校・私立学校の違いについて、説明。	令和3年4月23日(金) 17:10~18:10	Zoomにて実施 4年生:19名 3年生:6名 2年生:12名 院生:3名
学内説明会・かながわ ティーチャーズカレッジ 神奈川県教育委員会	大学1~3年生	当年度入塾予定の「かながわティーチャーズカレッジ」採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。実施要項の配布。最新情報・試験内容等の説明。出願の注意事項を確認する。	令和3年4月21日(水) 17:10~18:10	Zoomにて実施 3年生:14名 2年生:4名
春季学内説明会 東京都教育委員会	大学1~4年生 大学院生 通信教育課程	当年度実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。実施要項の配布・最新募集情報・採用試験内容の発表、詳細の説明。願書受理、出願時の注意事項等を確認する。	令和3年4月5日(月) 17:10~17:40	Zoomにて実施 4年生:33名 院生:1名 通信:4名
春季学内説明会 神奈川県教育委員会	大学1~4年生 大学院生 通信教育課程	当年度実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。実施要項の配布・最新募集情報・採用試験内容の発表、詳細の説明。願書受理、出願時の注意事項等を確認する。	令和3年4月14日(水) 17:10~18:10	Zoomにて実施 4年生:22名 3年生:30名 2年生:8名
春季学内説明会 横浜市教育委員会	大学1~4年生 大学院生 通信教育課程	当年度実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。実施要項の配布・最新募集情報・採用試験内容の発表、詳細の説明。願書受理、出願時の注意事項等を確認する。	令和3年4月7日(水) 17:10~18:10	Zoomにて実施 4年生:30名 3年生:22名 2年生:8名

講座・ガイダンス名	対 象	内 容	開催日時	実施方式
春季学内説明会 川崎市教育委員会	大学1～4年生 大学院生 通信教育課程	当年度実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。実施要項の配布・最新募集情報・採用試験内容の発表、詳細の説明。願書受理、出願時の注意事項を確認する。	令和3年4月16日(金) 17:10～18:10	Zoomにて実施 4年生:7名 3年生:4名 2年生:2名 院生:1名
春季学内説明会 相模原市教育委員会	大学1～4年生 大学院生 通信教育課程	当年度実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。実施要項の配布・最新募集情報・採用試験内容の発表、詳細の説明。願書受理、出願時の注意事項を確認する。	令和3年4月19日(月) 17:10～18:10	Zoomにて実施 4年生:9名 3年生:12名 2年生:1名
春季学内説明会 千葉県・千葉市教育委員会	大学1～4年生 大学院生 通信教育課程	当年度実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。実施要項の配布・最新募集情報・採用試験内容の発表、詳細の説明。願書受理、出願時の注意事項を確認する。	令和3年4月6日(火) 17:10～18:10	Zoomにて実施 4年生:13名 3年生:2名 2年生:3名
春季学内説明会 埼玉県教育委員会	大学1～4年生 大学院生 通信教育課程	当年度実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。実施要項の配布・最新募集情報・採用試験内容の発表、詳細の説明。願書受理、出願時の注意事項を確認する。	令和3年4月13日(火) 17:10～18:10	Zoomにて実施 4年生:6名 3年生:5名 2年生:7名
春季学内説明会 さいたま市教育委員会	大学1～4年生 大学院生 通信教育課程	当年度実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。実施要項の配布・最新募集情報・採用試験内容の発表、詳細の説明。願書受理、出願時の注意事項を確認する。	令和3年4月12日(月) 17:10～18:10	Zoomにて実施 4年生:4名 3年生:3名 2年生:3名
春季学内説明会 茨城県教育委員会	大学1～4年生 大学院生 通信教育課程	当年度実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。実施要項の配布・最新募集情報・採用試験内容の発表、詳細の説明。願書受理、出願時の注意事項を確認する。	令和3年4月20日(火) 17:10～18:00	Zoomにて実施 4年生:13名 3年生:1名 2年生:3名
秋季学内説明会 東京都教育委員会	大学1～4年生 大学院生 通信教育課程	当年度7月実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。当年度採用試験結果について、また次年度に関する最新情報の提供等。卒業予定者は、臨採に関する情報、自治体によっては、面接を実施。	令和3年11月26日(金) 17:10～18:00	Zoomにて実施 4年生:4名 3年生:31名 2年生:27名 1年生:10名
秋季学内説明会 神奈川県教育委員会	大学1～4年生 大学院生 通信教育課程	当年度7月実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。当年度採用試験結果について、また次年度に関する最新情報の提供等。卒業予定者は、臨採に関する情報、自治体によっては、面接を実施。	令和3年12月15日(水) 17:10～18:30	Zoomにて実施 4年生:5名 3年生:41名 2年生:25名 1年生:17名 通信 8名
秋季学内説明会 横浜市教育委員会	大学1～4年生 大学院生 通信教育課程	当年度7月実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。当年度採用試験結果について、また次年度に関する最新情報の提供等。卒業予定者は、臨採に関する情報、自治体によっては、面接を実施。	令和3年11月24日(水) 17:10～18:30	Zoomにて実施 4年生:6名 3年生:25名 2年生:13名 1年生:9名 通信 7名
秋季学内説明会 川崎市教育委員会	大学1～4年生 大学院生 通信教育課程	当年度7月実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。当年度採用試験結果について、また次年度に関する最新情報の提供等。卒業予定者は、臨採に関する情報、自治体によっては、面接を実施。	令和3年11月29日(月) 17:10～18:30	Zoomにて実施 4年生:2名 3年生:5名 2年生:9名 1年生:6名
秋季学内説明会 相模原市教育委員会	大学1～4年生 大学院生 通信教育課程	当年度7月実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。当年度採用試験結果について、また次年度に関する最新情報の提供等。卒業予定者は、臨採に関する情報、自治体によっては、面接を実施。	令和3年11月19日(金) 17:10～18:30	Zoomにて実施 3年生:7名 2年生:3名 通信:1名
秋季学内説明会 埼玉県教育委員会	大学1～4年生 大学院生 通信教育課程	当年度7月実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。当年度採用試験結果について、また次年度に関する最新情報の提供等。卒業予定者は、臨採に関する情報、自治体によっては、面接を実施。	令和4年1月7日(金) 17:10～18:30	Zoomにて実施 4年生:1名 3年生:7名 2年生:5名 1年生:4名 通信:2名
秋季学内説明会 さいたま市教育委員会	大学1～4年生 大学院生 通信教育課程	当年度7月実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。当年度採用試験結果について、また次年度に関する最新情報の提供等。卒業予定者は、臨採に関する情報、自治体によっては、面接を実施。	令和3年12月17日(金) 17:10～18:30	Zoomにて実施 4年生:1名 3年生:8名 2年生:4名 1年生:2名 通信:1名
秋季学内説明会 千葉県教育委員会	大学1～4年生 大学院生 通信教育課程	当年度7月実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。当年度採用試験結果について、また次年度に関する最新情報の提供等。卒業予定者は、臨採に関する情報、自治体によっては、面接を実施。	令和3年12月10日(金) 17:10～18:30	Zoomにて実施 4年生:1名 3年生:12名 2年生:6名 1年生:4名 通信:5名

秋季学内説明会 茨城県教育委員会	大学1~4年生 大学院生 通信教育課程	当年度7月実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。当年度採用試験結果について、また次年度に関する最新情報の提供等。卒業予定者は、臨採に関する情報、自治体によっては、面接を実施。	令和4年1月12日(水) 17:10~18:30	Zoomにて実施 4年生:1名 3年生:4名 2年生:3名 1年生:2名
秋季学内説明会 浜松市教育委員会	大学1~4年生 大学院生 通信教育課程	当年度7月実施・教員採用試験について、教育委員会による学内説明会の実施。当年度採用試験結果について、また次年度に関する最新情報の提供等。卒業予定者は、臨採に関する情報、自治体によっては、面接を実施。	令和3年12月3日(金) 17:10~18:30	Zoomにて実施 3年生:4名 1年生:1名
秋季学内説明会 特別区人事・厚生事務組合	大学1~4年生	教員採用試験について、学内説明会を実施。「特別区とは」や採用選考方法の説明を中心に、説明。	令和4年1月~3月	Bbにて動画配信

## その他プログラム

講座・ガイダンス名	対象	内容	開催日時	実施方式
学外教職講座 『じぶんゼミ@一般教養講座』	大学1~3年生 大学院生	効果的な教材の活用・取り組みにて知識の定着を図る。 領域: 国語・英語・社会・数学・理科・芸術・家庭・保体・時事・環境・情報	(有料) 自主学習教材	3年生:8名 2年生:11名 1年生:50名
学外教職講座 『じぶんゼミ@教職教養講座』	大学2,3年生 大学院生	『教職教養講座』では、教職教養の頻出・必出領域である「教育心理」「教育原理」「教育時事」「教育法規」「教育史」について、外部の各教科の専門講師によるオンライン講義と自学自習との組み合わせた講座を実施。	(有料) 講義配信 & 自主学習教材	3年生:24名 2年生:17名 院生1名
学外教職講座 『じぶんゼミ@専門教養講座 (小学校)』	大学1~3年生 大学院生	効果的な教材の活用・取り組みにて実践力を磨く。 知識を整理してインプット、問題演習でアウトプットを繰り返しながら確実に実力アップを図り、効率よく学習を進める。	(有料) 自主学習教材	3年生:9名 2年生:10名 1年生:22名
学外教職講座 『じぶんゼミ@専門教養講座 (中高国語)』	大学1~3年生 大学院生	効果的な教材の活用・取り組みにて実践力を磨く。 知識を整理してインプット、問題演習でアウトプットを繰り返しながら確実に実力アップを図り、効率よく学習を進める。	(有料) 自主学習教材	2年生:2名 1年生:5名
学外教職講座 『じぶんゼミ@専門教養講座 (中高社会)』	大学1~3年生 大学院生	効果的な教材の活用・取り組みにて実践力を磨く。 知識を整理してインプット、問題演習でアウトプットを繰り返しながら確実に実力アップを図り、効率よく学習を進める。	(有料) 自主学習教材	3年生:1名 1年生:5名
学外教職講座 『じぶんゼミ@専門教養講座 (中高英語)』	大学1~3年生 大学院生	効果的な教材の活用・取り組みにて実践力を磨く。 知識を整理してインプット、問題演習でアウトプットを繰り返しながら確実に実力アップを図り、効率よく学習を進める。	(有料) 自主学習教材	3年生:4名 1年生:8名
学外教職講座 『じぶんゼミ@専門教養講座 (中高保健体育)』	大学1~3年生 大学院生	効果的な教材の活用・取り組みにて実践力を磨く。 知識を整理してインプット、問題演習でアウトプットを繰り返しながら確実に実力アップを図り、効率よく学習を進める。	(有料) 自主学習教材	3年生:2名 1年生:1名
第1回日本語検定 《準会場実施》(2~4級)	大学1~4年生 大学院生	教員・保育士を目指す学生を中心とし、全学部の希望者を対象に実施。	令和3年6月11日(金) 17:10~18:30	2級 7名 3級 14名
第2回日本語検定 《一般会場のみ実施》 (1~4級)	大学1~4年生 大学院生	教員・保育士を目指す学生を中心とし、全学部の希望者を対象に実施。	令和3年11月13日(土)	1級 1名 2級 6名 3級 2名

2024年度版

コレ一冊で完璧！

必出テーマで  
押さえる



教員採用試験のための

# 論文 & 面接対策

合格答案 & 合格回答

〈課題の観点〉 〈質問一覧〉

付き



幼稚園教員、  
保育士対策  
も充実！

玉川大学教師教育リサーチセンター編

近年の教員採用試験では「人物重視」が進んでいます。  
論作文と面接対策が合否のカギを握ります。対策の根幹は一つ。  
本書で「教師の資質・能力」「いじめ」「個別最適な学び」  
など教育トピックの理解を深めてください。

巻頭特集の「**これまで、そしてこれからの学校教育を考えよう**」では  
これからの時代の「**学力**」についての考え方（「**学力観**」）を、  
巻末特集では **学習指導要領の改訂のポイント** 及び **学習評価**、  
中央教育審議会答申「**令和の日本型学校教育**」のポイントについて  
まとめました。これらを文章で書けば論作文の「合格答案」に。  
意見としてまとめれば面接の「合格回答」に。  
一冊で、論作文・面接対策は完璧です！

時事通信社

# 私立大学の特色ある教職課程事例集 V

2021年10月

一般社団法人全国私立大学教職課程協会

## 教職課程受講1年生全員への参観実習の導入

玉川大学

参観実習は、1年次教職課程受講者（例年約650名）を対象に、教育ボランティア、教育インターンシップ、3年次での教育実習事前指導、4年次での教育実習に先立ち、教える立場、教師の目線から、学校の日を体験することで、学生の教育現場への理解を深め、教職に対する自覚を促すとともに、進路選択の機会を与えることを目的に実施している。その概要を報告し、今年度は例年の方法で実施することができなかつたため、Webによる参観実習を実施したことについても、併せて報告する。

### 1. 本学の教員養成の特徴

本学の教員養成における特徴は、次の3点があげられる。一つは、教員養成における単位の実質化への取り組みとして、半期履修単位16単位CAP制度の中で全学教職課程カリキュラムを展開していること。二つ目は、4年間を通した教職課程指導・支援体制により教員養成が行われていること。三つ目は、教員養成の質向上に向けた教職課程の全学体制による組織の運営（教師教育リサーチセンターによる全学学生支援と研究活動の推進）がなされていることである。

教職課程の全学体制による組織の運営では「質の高い教員養成」と「教師教育学の研究活動の推進」のため、教師教育リサーチセンターを設置し、全学の教員養成に関する学生支援、研究活動支援を行っている。研究活動支援においては、研究活動のみならず、教育委員会との連携対応、教員免許状更新講習、紀要・年報の発行、教師教育フォーラムの開催など、多岐にわたる活動が展開されている。学生支援においては、教育実習、保育実習、介護等体験などの手続きを始め、教員免許状の一括申請等の申請業務のほか、キャリア支援、教員就職支援や教員採用試験対策講座等を行っている。

4年間を通した教職課程指導・支援体制における学生支援について、「質の高い教員養成」のためには1年次の教職課程支援が必要不可欠である。現在本学では約2300名の学生が1年次から教職課程受講支援プログラムのもとで学んでおり、大学のカリキュラムのほか、教育現場体験プログラムと教員採用試験対策プログラムが行われている。

### 2. 教職課程受講支援プログラムの中での参観実習の位置づけ

本学の教員養成の特徴の一つである4年間を通した教職課程指導・支援体制において必要不可欠なものが、教職課程受講支援プログラムである。このプログラムは教職キャリアプランに沿って4年間を通した内容で構成されている。

本学の教職課程を履修する学生の大多数は、「教師になりたい」「ぜひ教員免許状を取得したい」との強い意志を持って大学を選択した。この教職に就こうというモチベーションを持続させるためには、1年次からの教職課程支援が重要であり、大学4年間でのトータル的な教職課程受講支援プログラムの実践が重要であるとの考えに基づき、4年間を通した教職課程受講支援プログラムを構築した。

このうち1年次のプログラムの概要は次のとおりである。

- ・教職の意義と基礎理論を学び、教養を身に付ける
- ・教職課程の受講に関する4年間の流れを理解して教員になるための動機づけを行う
- ・教職課程ガイダンスの実施、模擬試験（一般教養を中心に）等
- ・参観実習

参観実習は、1年次教職課程受講者全員（令和元年度は約630名）を対象に、教育ボランティア、教育インターンシップ、3年次の教育実習事前指導、4年次の教育実習に先立ち、教える立場、教師の目線から、学校の1日を体験することで、学生の現場への理解を深め、教職に対する自覚を促すとともに、進路選択の機会を与えることを目的に実施している。

教員養成にとって重要な実践的指導力を身に付けるための第一歩であり、また、教員の目線で学校現場を見ることは、職業としての教員の仕事を理解することにもなり、教員という仕事と自分の適性を見つめなおすよい機会となる。

### 3. 参観実習の概要

参観実習は、近隣の市教育委員会に依頼し、その管轄下の公立小学校・中学校で受け入れをしていただき、1校当たり5～10名の学生が配当され、11月中旬（教育学部は6月下旬）に行われる。

参観実習の流れの概略は、以下のとおりである。

#### ・事前指導（計3回）

訪問する学校の地域の特徴、教育内容、学校の特色並びに参観実習にあたって注意すべき点について講話を行う。また、教師教育リサーチセンター職員が、参観実習の趣旨、参加にあたっての心構え、概要、事前準備、諸注意事項について説明する。

#### ・プロフィール文書作成（後に記入見本を掲載）

学生各自で自己紹介、教職への志望動機、参観実習での課題、さらには、受け入れ校への質問内容を作成する。このプロフィール文書は、引率教員の添削後に教師教育リサーチセンターより参観実習受け入れ校へまとめて送付する。

#### ・参観実習受け入れ校との事前打ち合わせ

学生の代表者（班長）が受け入れ校を事前に訪問し、参観実習の事前打ち合わせを行う。なお、班長は受け入れ校との打ち合わせの内容をもとにして、参観実習計画書を作成し、引率教員ならびに班員に配布する。

#### ・参観実習当日

学生は、8時に実習校に集合し、校長先生、教頭先生による学校紹介および講話を聴く。終了後、児童・生徒への紹介を行い、午前中は授業参観、昼食（給食）、昼休み、午後は総括指導（質疑応答を含む）という流れで各学校において進められる。ただし、学校によって若干の違いはある。

### ★スケジュール例

時間	
8:00	実習校に集合
8:30～8:45	児童・生徒への実習生の紹介等
8:45～9:30	校長先生、教頭・副校長先生等より学校の紹介及び講話
9:30～12:00	2・3・4校時、授業の参観実習
昼食（給食・弁当）	
13:00～15:00	総括指導（質疑応答含む）

※各学生は2～4校時を通して特定の学年・クラスに入り参観する

#### ・報告書の作成

実際の教育活動、教師の任務、児童・生徒の様子、学校の雰囲気、環境、今後この参観実習をどう生かすかなどについて記載し、プロフィールの文書作成と同様に、引率教員の添削後、教師教育リサーチセンターより受け入れ校にまとめて送付する。

また、班長は、引率教員に指導を受けて、参観実習終了後1週間以内に実習校の校長先生宛にお礼の手紙（封書・手書き）を送付している。

#### 【その他の対応】

#### ・麻疹・風疹予防接種の抗体確認

参加にあたり、麻疹・風疹の抗体を確認し、抗体価が不足している場合は、予防接種を実施している。これは参観実習をきっかけとしているが、今後様々な教育現場や社会福祉施設等で教育活動を行うにあたり、活動先・実習先の方々への感染症に対する配慮と、自らの感染による教育活動の中止等の事態を避けるための対策としている。

#### ・賠償責任保険

学生が参観実習中またはその往復時に、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したこと等による損害賠償責任を負担することによって被る損害賠償に備え保険に加入している。また、本人がケガをした場合の保険は、入学時に加入している。

このような1日の参観実習は、実習校、教育委員会との連携によって実現するが、4年一貫した教職課程の試みとしては、重要な要素となっている。受け入れ校からも、実習校と学生が継続したかわりを持つきっかけとなっているとか、1年次からの教職に目的をもって取り組めるよい機会である、といった非常に良い評価を得ている。

## 4. 令和2年度のWeb参観実習

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して、実際に現場を訪問することができないことから、形式を変更し、Webによる実施とした。地元である町田市教育委員会のご協力により、小学校、中学校の1日をビデオ撮影させていただき、その映像を視聴することとした。ここでは実施概要について説明する。

#### 【Web参観実習当日の流れ】

- ・9:30～10:40 「教員の1日（小学校編）」（小学校校長経験者による解説、質疑応答あり）
- ・10:50～12:00 「教員の1日（中学校編）」（中学校校長経験者による解説、質疑応答あり）

- ・ 13:00～13:50 東京都教職員研修センターの講話
- ・ 14:00～15:00 学部・学科教職担当教員による質疑応答・総括指導

例年は現場に伺えるものの、それぞれ訪問した校種しか見ることができないが、小学校・中学校両方の1日の活動を見ることができ、特に小学校・中学校の複数免許を取得する学生にとって、貴重な体験となった。

## 5. 今後の課題

事前指導における指導内容のさらなる検討、参観実習校との連携方法の検討などがあげられる。

また、参観実習のあとに続く実践（学校ボランティア、教育インターンシップ、教育実習等の現場体験活動）の促進において、同一の学校での対応が可能となるような流れが整えられれば、実践的指導力の向上が望めるのではないかと考えている。しかしながら、大学の授業との関係から、空き時間の確保が厳しいこともあり、授業と現場体験とのバランスをとることが課題とも言える。

### 【参考】

#### 参観実習生プロフィール【記入例・記入上の注意】

参観実習校名: ●●●市立 ●●●中or高●●●学校		令和 元 年 月 日記	
文 学部 国語教育 1年5組10番	フリガナ タマダイ タロウ 氏名 玉大 太郎	学籍番号 193110001	平成 9 年 4 月 8 日生(19歳)
〒 194-0041 東京都町田市玉川学園6-1-1 コーポ玉川学園301 連絡先(携帯電話): 090 - 1234 - 5678		写真貼付 縦4cm×横3cm (スナップ写真は厳禁) (服装は第1装とする) 男子は上着ネクタイ着用 女子は男子に準じる	
取得希望免許状: <b>※自分が参観実習へ行く校種(主免)の免許状を記入す</b> 小学校…小学校教諭一種免許状 中・高等学校…中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(公民)			
興味・関心のある科目: 特別支援教育、近代史(日本)、安全教育等 自分の専攻や教職に関係する科目を明記する		特技: 剣道(2段) 水泳	
大学、もしくは高等学校までのクラブ活動: 大学の場合…体育会男子バスケットボール部、文化会吹奏楽団 高校までの場合…硬式野球部、女子バスケットボール部 等			
ボランティア活動経験等: 町田市立第〇小学校(2019年4月～) ※ない場合はなしと記入			
教職志望動機: 数ある職業の中から教職を志望する理由やきっかけ どのような教師になりたいか等 4行目までは記入すること。記入したら必ず読み返すこと。			
今回の参観実習での課題 参観実習を通して、教師としての視点で特に学びたい、 誓いたい点について 4行目までは記入すること。記入したら必ず読み返すこと。			
質問事項 自分が教職を目指すうえで先生方に聞きたい項目を 3～5つ程度記入する。 ・ 教師を目指す理由やそのために努力したこと ・ 学校や学校経営をしていく上で工夫していること			
備考 参観実習先に家族が関係している場合などがあれば記入する。何もない場合、なしと記入。 アレルギーがある場合も記入すること。			

※ 本書類に記入されている個人情報は、参観実習の内容に関し、その目的達成に必要な範囲内で利用することとし、その範囲を超えての利用はいたしません。

# 私立大学の特色ある教職課程事例集Ⅲ

2017年9月

一般社団法人 全国私立大学教職課程協会

# 実践的指導力の向上を目指した 「教育実習指導に関する協議会」の実施

玉川大学

玉川大学では、教育実習を円滑かつ効果的に実施するため、町田市をはじめとして、多くの学生を教育実習でお引き受けいただいている地区の、校長会の代表の先生方との協議会を実施している。この協議会では、教育実習内容や指導方法、教育実習生に求められる資質能力などの共通理解を図り、教育実習生の指導において不十分な点の改善にいかしている。本稿では、全学体制における教職課程運営の一つとして、教師教育リサーチセンターが主管として実施した「教育実習指導に関する協議会」の概要を報告する。

## 1. 本学の教職課程と支援体制

平成28年度入学生における本学の教職課程認定は、6学部12学科および通信教育部が認定されており、教職課程受講学生（平成28年5月現在）は、1年生667名、2年生637名、3年生543名、4年生473名、合計2,320名（通学課程）、通信教育課程では約4,000名となっている。教員免許状について、文学部、農学部、工学部、芸術学部、リベラルアーツ学部では、学部教育の特徴を生かした中学校、高等学校の教員免許状を取得することができる。教育学部では、幼稚園、小学校、中学校（社会、保健体育）、高等学校（公民、保健体育）の教員免許状を取得することができ、乳幼児発達学科においては、幼稚園の教員免許状の他に、保育士の資格を取得することも可能となっている。また、文学部、農学部、工学部、芸術学部、リベラルアーツ学部では、小学校教諭2種免許状を取得することも可能なプログラムを実施しており、中学校・高等学校教諭1種免許状に加えて、卒業と同時に小学校教諭2種免許状を取得することも可能となっている。

教職課程受講学生への支援体制は、4年間一貫した教職課程受講支援プログラムに基づき、質の高い教員養成に向けた全学体制による支援を行っており、教師教育リサーチセンターはその担当部署としての責務を担っている。

以下で具体的に説明をする「教育実習指導に関する協議会」においても、日程調整、出席者への連絡、資料作成等も教師教育リサーチセンターが担当している。

## 2. 教育実習と「教育実習指導に関する協議会」の概要

本学では、近隣の小学校、中学校、高等学校の協力のもと、教職課程履修学生の教育実習を行っている。一通りの実習が終了した時点で、教育実習を受け入れていただいた学校に、教育実習の状況と諸課題を把握することを目的として、「玉川大学教育実習に関するアンケート」（資料1参照）を実施している。

アンケート集計結果をもとに、各地区の校長会の先生方と本学の教職担当教員等とによる「教育実習指導に関する協議会」を開催し、教育現場での学生の実態と、大学における教職指導についての合致点、不足の部分等を探り、次の教育実習への準備、研鑽の機会としている。

◆「玉川大学教育実習に関するアンケート」質問項目

1. 今年度本学の実習生を引き受けられて感じられた、大学側に指導を充実あるいは改善して欲しい事柄についてお書きください。
2. 実習生を受け入れるにあたり大学側に対応ならびに改善して欲しい事柄についてお書きください。
3. 玉川大学の教育実習指導で、何かお気づきの点がございましたらご自由にお書きください。

(資料1)

玉川大学教師教育リサーチセンター 行き	FAX:042-739-8857
<b>平成 28 年度 玉川大学 教育実習に関するアンケート</b>	
<b>&lt;調査用紙&gt;</b>	
玉川大学の学生が教育実習で大変お世話になりましたこと、御礼申し上げます。	
学校名：《学校名》	連絡先：《連絡先》
月がナ ご芳名	ご役職・職名
<p>さて、玉川大学として今年度の教育実習に関する諸問題を洗い出し、次年度の教育実習の改善に繋げたい所存でございます。</p> <p>つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、下記のアンケートにご協力くださいますようお願いいたします。誠に勝手ながら、平成 28 年●●月●●日(●)までに FAX にてご回答をお願い申し上げます。</p> <p>※ご記入頂きました内容は、次年度の教育実習の改善等に利用させていただきますので、忌憚のないご意見・ご提言等をご回答くださいますようお願い申し上げます。</p>	
<b>&lt;&lt;&lt; アンケート調査内容 &gt;&gt;&gt;</b>	
<p>1. 今年度本学の実習生を引き受けられて感じられた、大学側に指導を充実あるいは改善して欲しい事柄についてお書きください。</p>	
<p>2. 実習生を受け入れるにあたり大学側に対応ならびに改善して欲しい事柄についてお書きください。</p>	
<p>3. 玉川大学の教育実習指導で、何かお気づきの点がございましたらご自由にお書きください。</p>	
<p>※ 特に記載事項がない場合でも、調査用紙をご返送くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>※ アンケート調査について、ご協力ありがとうございました。</p>	

### 3. 平成28年度の「教育実習指導に関する協議会」実施状況

平成28年度は以下の4市との協議会を実施した。

#### 1) 相模原市

【日 時】平成28年11月29日（火）15：00～16：30

【出席者】小学校校長会 1名、中学校校長会 2名

玉川大学就職担当等教員 5名、教師教育リサーチセンター事務職員 4名

#### 2) 川崎市

【日 時】平成28年11月30日（水）10：00～11：30

【出席者】小学校校長会 3名、中学校校長会 2名

玉川大学就職担当等教員 8名、教師教育リサーチセンター事務職員 4名

#### 3) 横浜市

【日 時】平成28年12月5日（月）10：00～11：30

【出席者】小学校校長会 2名、中学校校長会 2名

玉川大学就職担当等教員 6名、教師教育リサーチセンター事務職員 3名

#### 4) 町田市

【日 時】平成28年12月5日（月）17：30～19：00

【出席者】小学校校長会 3名、中学校校長会 2名

玉川大学就職担当等教員 7名、教師教育リサーチセンター事務職員 4名

協議会の内容としては、本学の教員養成（教育実習指導内容を中心として）に関する取り組みと、その支援体制を報告し、該当年度の教育実習実施状況（教育実習受け入れ校と実施人数）と次年度の予定についても報告している。続いて、各受入校からのご意見として、アンケート集計結果について報告し、その後協議を行っている。

### 4. 「教育実習指導に関する協議会」でのご意見と改善

#### 1) 協議会での意見内容

アンケート集計結果および協議の中でいただいたご意見では、おおむね教育実習事前指導が徹底され、問題なく実施されたとの評価をいただいている。しかしながら、教育実習生に対する指導、教育実習に臨む態度・姿勢、大学への要望等、一部の学生の状況に関して下記のような意見があった（一部を抜粋）。

- ・教員になるという意欲を強く持って、教育実習に臨んでほしい。
- ・学校ボランティアにもっと積極的に参加してほしい（特に宿泊を伴う行事への参加）。
- ・社会人としてのマナーや挨拶、服装等の指導をお願いしたい。
- ・教育実習先の指導教官や他の教員からのアドバイスや助言を謙虚に受け止める姿勢を持ってほしい。
- ・コミュニケーション能力を身につけてから教育実習に臨んでほしい。
- ・特別支援的な配慮を念頭に置いて教育実習を行ってほしい。
- ・教育実習日誌の記入欄について、検討していただけないか（担当教員の負担感の軽減）。
- ・SNSの取り扱いについて、事前指導で徹底してほしい。
- ・生徒とのかかわりを持つことは重要なことだが、かかわりすぎないよう慎重な行動を心が

けてほしい。

等、大学の事前指導や実習中の指導などにおいて、貴重なご意見をいただいた。

一方、教育実習生受け入れの学校から、下記の発言もあった。

- ・指導担当教員も大変良い勉強になっている。
- ・教育実習生の指導担当教員について、年齢や教員としての経験年数等を配慮したいが、若い教員が担当せざるを得ない場合もある。

## 2) 協議会での意見を受けての改善施策

例年行っている本協議会において、常に課題として挙げられた項目に、学校ボランティアへの積極的参加がある。特に宿泊を伴う行事への参加を強く望む意見が多かった。

中央教育審議会の答申において『単位の実質化』が示され、多くの大学において授業回数の確保や出席日数の厳密化が進み、宿泊等を伴うボランティアに学生が参加しにくい状況が生じている。しかしながら、学生自身の学びとして非常に効果的であることから、学生から参加に伴う欠席相談も年々増え、本学としても対応に憂慮していた。

このため、下記の施策を実施することとした。

### ◆「教育ボランティアに伴う欠席届」の運用（平成27年度後期より）

宿泊等を伴うボランティアへの参加による授業の欠席について、Semester（学期）期間中1回のみ、欠席配慮の対応（レポートの提出、課題による代替え措置、小テスト等）を行う。このため、少しでも多くの学生が宿泊を伴う学校ボランティアへの参加をしやすい環境の改善を図った。

## 5. 今後に向けて

質の高い教員養成を推進するためには、実践的指導力の養成が不可欠である。その中でも、教育実習については、最も重視すべきものととらえている。重要な教育実習が、どのような状況で行われているのか、課題は何か、大学において改善できることはあるのか等、収集すべき情報は多岐にわたる。このことから、「教育実習指導に関する協議会」の継続は必須である。協議会において得られた課題を一つ一つ解決することは、実践的指導力の向上にもつながり、質の高い教員養成につながっていくことになる。

今後は、協議会実施地域増加の必要性を検討する必要がある。その際には、各教育委員会が実施する教員育成協議会との関連もふまえる必要もあろう。